

令和6年度 第2回鴨川市子ども・子育て会議次第

日時：令和6年11月19日（火） 午後3時

場所：鴨川市総合保健福祉会館 2階研修室

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議件

(1) 令和6年度ニーズ調査の報告について

(2) 鴨川市こども計画骨子案について

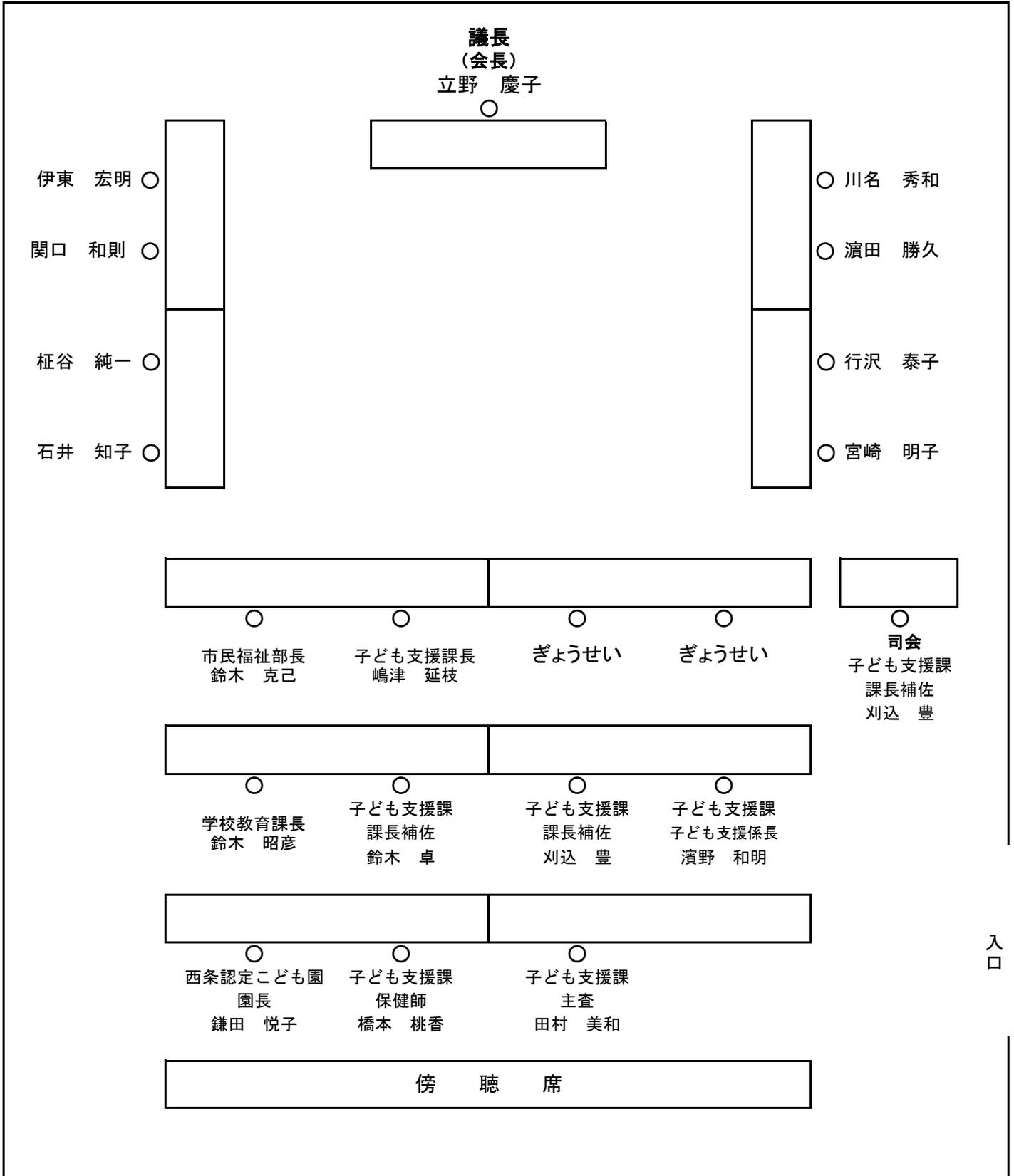
(3) その他

4. その他

5. 閉 会

令和6年度 第2回鴨川市子ども・子育て会議 座席表

会場 鴨川市総合保健福祉会館 2階研修室



鴨川市子ども・子育て会議委員名簿

No.	氏 名	選 出 区 分	備 考	
1	宮 崎 明 子	子 ども の 保 護 者	認定こども園保護者	
2	楠 清 美		小学校保護者	
3	立 野 慶 子	子ども・子育て支援に 関する事業に従事する者	主任児童委員	
4	行 沢 泰 子		学童保育指導員	
5	濱 田 勝 久		子ども会育成連盟会長	
6	川 名 秀 和		私立認定こども園事務長	
7	伊 東 宏 明		小児科医	
8	関 口 和 則		その他の関係機関及び団 体を代表する者	校長会会長
9	梶 谷 純 一			土曜スクール関係者
10	石 井 知 子	識 見 を 有 す る 者	公募	

鴨川市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
報告書

令和6年10月

鴨川市

目次

I	はじめに	1
1	調査目的	1
2	調査方法等	1
3	留意点	2
II-1	保護者アンケートの調査結果概要	3
1	就学前児童保護者	3
1. 1	回答者の基本的属性について	3
1. 2	保護者の就労状況について	5
1. 3	平日の「定期的な教育・保育事業」の利用状況、利用希望について	6
1. 4	学童の利用希望	8
1. 5	子どもの育ちをめぐる環境について	9
1. 6	理想の子どもの人数について	12
1. 7	鴨川市の子育て環境について	14
2	小学生児童保護者	16
2. 1	回答者の基本的属性について	16
2. 2	保護者の就労状況について	19
2. 3	学童の利用状況と利用希望	20
2. 4	子どもの育ちをめぐる環境について	22
2. 5	理想の子どもの人数について	26
2. 6	地域の子育て支援について	28
II-2	保護者アンケートの自由意見	30
1	就学前児童保護者の自由意見	30
1. 1	自由意見の傾向	30
1. 2	内容別自由意見	31
2	小学生児童保護者の自由意見	38
2. 1	自由意見の傾向	38
2. 2	内容別自由意見	39
II-3	保護者アンケートの単純集計結果	45
1	就学前児童保護者	45
1. 1	回答者の基本的属性について	45
2	小学生児童保護者	81
1. 1	回答者の基本的属性について	81
III	小中学生アンケートの結果	101
1	回答者の属性【小5】【中2】	101
2	回答者の日常生活について【小5】【中2】	104
	勉強や学習の環境	104

勉強時間.....	105
授業の理解度.....	106
課外活動.....	107
学校日以外の過ごし方.....	108
食生活.....	109
相談相手.....	111
家事や家族の世話をしているか.....	112
3 自己肯定感・自分の居場所について【小5】【中2】.....	114
自己肯定感.....	114
自分の居場所.....	116
支援・相談場所の利用経験.....	117
4 課外活動について【小5】【中2】.....	118
運動やスポーツの習い事の種類.....	118
運動やスポーツ以外の習い事の種類.....	119
学外の多様な経験.....	120
5 鴨川市について【小5】【中2】.....	121
鴨川市が好きか.....	121
鴨川市にあってほしいもの.....	121
6 生活の満足度・将来の夢【小5】【中2】.....	123
生活の満足度.....	123
将来の夢の有無.....	124
7 自由意見（大人への意見や住みたいまちなど）【小5】【中2】.....	125
大人への意見や住みたいまち.....	125

I はじめに

1 調査目的

令和6年度で鴨川市子ども・子育て支援事業計画(第2期計画)の期間が最終年度を迎えることから、計画の見直しに向けて、市民の皆様の子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するため、未就学児と小学生の保護者の方を対象にアンケート調査を実施しました。

同時に、国のこども大綱に基づき、各都道府県及び市町村はそれぞれのこども計画の策定が求められています。市町村版こども計画の策定においては、こどもの意見聴取が求められており、今回小学5年生と中学2年生にアンケートを実施しました。

本報告書は、これら4つの調査をとりまとめたものとなっています。なお、この報告書では、未就学児保護者調査と小学生保護者調査が同類の調査、小学5年生と中学2年生調査が同類の調査であるため、大きく2つのパートに分けて掲載しています。

2 調査方法等

子育てをめぐる様々な状況や保護者の意見等を把握するため、以下の保護者を対象としアンケートを実施しました。調査方法等は以下の通りです。

調査対象	配布数	調査方法		有効回収※票数 と有効回収率	調査期間
		配布	回収		
就学前児童のいる世帯	739票	郵送	郵送またはウェブサイト	356票 48.2%	令和6年 3月11日~22日
小学1~6年生のいる世帯	619票	郵送	郵送またはウェブサイト	247票 39.9%	

※有効回収とは、集計対象にできた回収分のこと。

また、こどもの意見を聴取する目的で、以下の小学生と中学生を対象として、アンケートを実施しました。調査方法等は以下の通りです。

調査対象	配布数	調査方法		有効回収※票数 と有効回収率	調査期間
		配布	回収		
市内小学校の5年生	169票	学校で用紙配布	ウェブサイト	161票 95.3%	令和6年 8月26日~9月20日
市内中学校の2年生	180票	学校で用紙配布	ウェブサイト	143票 79.4%	

※有効回収とは、集計対象にできた回収分のこと。

3 留意点

- ①設問のなかには前問に答えた人のみが回答する「限定設問」があり、その設問においては表中の回答者数が全体より少なくなっています。
- ②設問には1つのみ答える単数回答（SA）と、複数回答（MA）があり、複数回答の設問では表記の割合の合計が100%を超えます。また、数値で回答する設問には（数値回答）と付記しています。
- ③割合は選択肢ごとに小数第二位で四捨五入しているため、表によってはその割合の合計が100%にならないものがあります。
- ④複数回答における無回答の選択肢については、一部表記を省略しています。
- ⑤設問の文言は表記上の制約により、一部簡略化して表記しています。
- ⑥本文中の表記「母親」「父親」「祖父母」は、お子さんからみた続柄です。

Ⅱ-1 保護者アンケートの調査結果概要

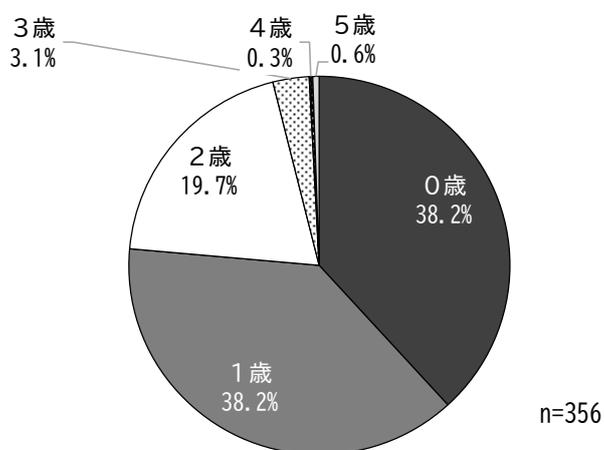
1 就学前児童保護者

1. 1 回答者の基本的属性について

調査対象者の年齢

【問2】(SA)

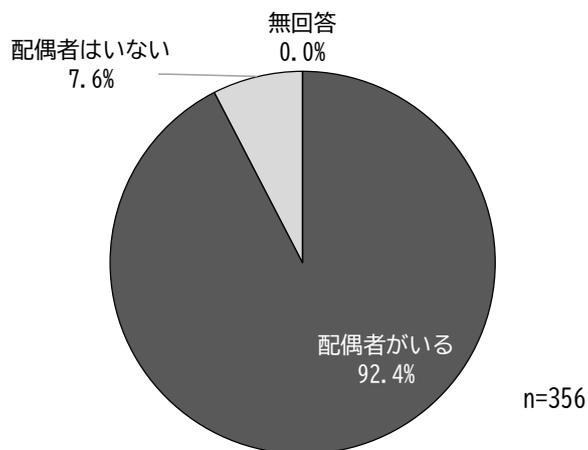
子どもの年齢については、生年月をたずねており、これを令和5年4月を基準にして年齢に換算しています。年齢の分布は以下のとおりです。



配偶者の有無

【問5】(SA)

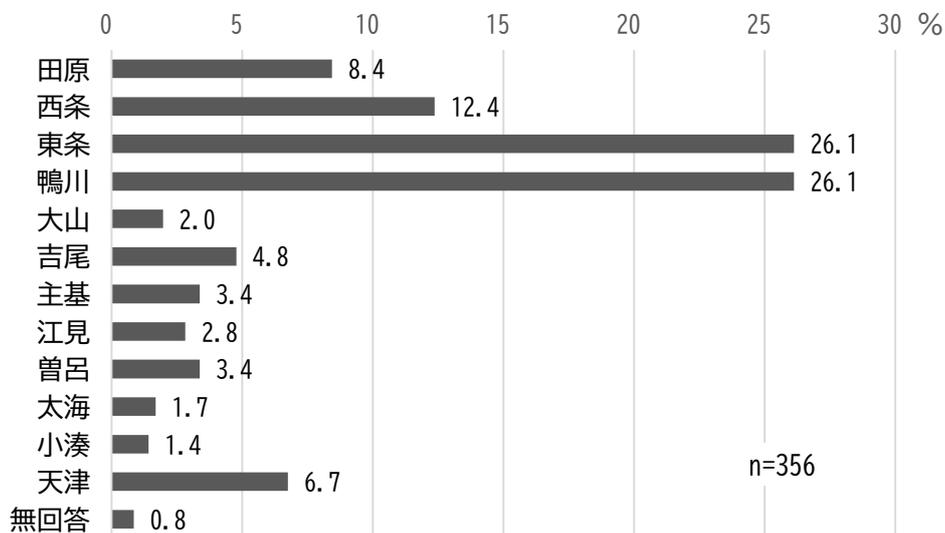
配偶者のいる割合は92.4%、いない割合は7.6%となっています。



居住地域

【問1】(SA)

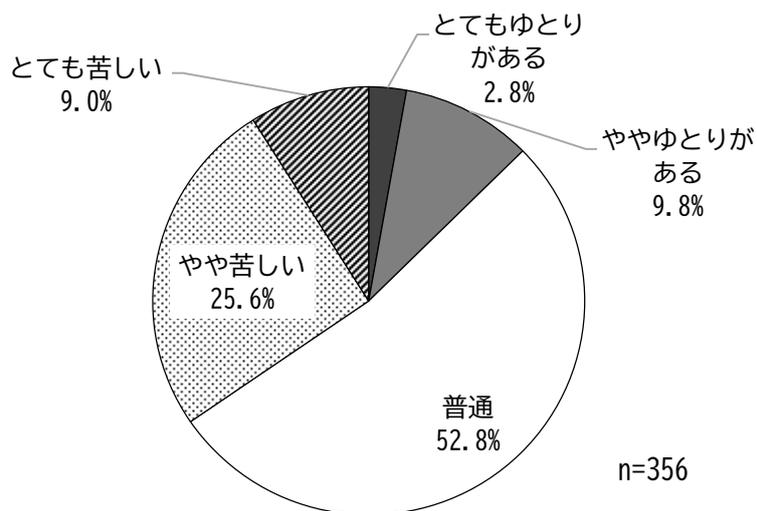
居住している地区は、東条と鴨川が最も多く26.1%、次いで西条が12.4%、田原8.4%、天津6.7%と続いでいきます。



経済的状況

【問8】(SA)

経済的な状況については、「普通」の割合が最も高く52.8%、「とてもゆとりがある」と「ややゆとりがある」の合計が12.6%、「やや苦しい」と「とても苦しい」の合計が34.6%となっています。



1. 2 保護者の就労状況について

母親と父親の就労状況

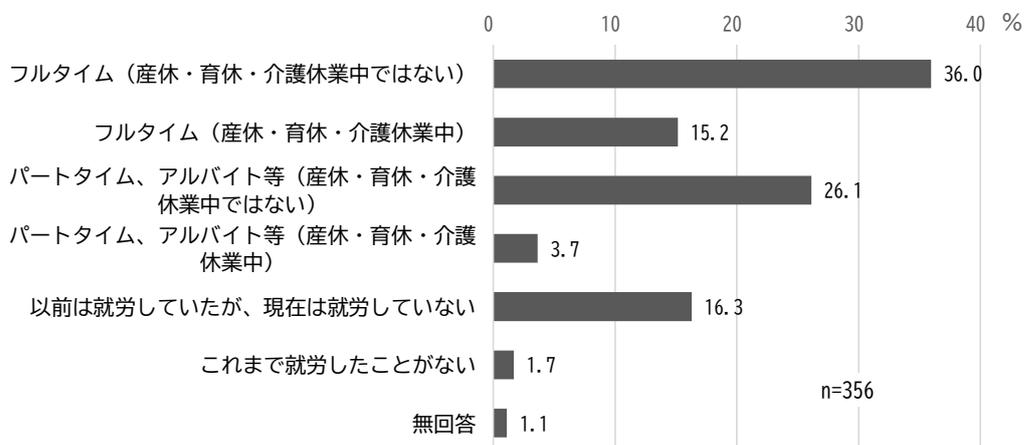
【問 17】 (SA)

母親のうち「フルタイム（産休・育休・介護休業中ではない）」の割合が 36.0%であるのに対し、父親の場合は 90.7%と高くなっています。また、母親の「フルタイム（産休・育休・介護休業中）」の割合は 15.2%であるのに対し、父親のそれは 2.0%と低くなっています。

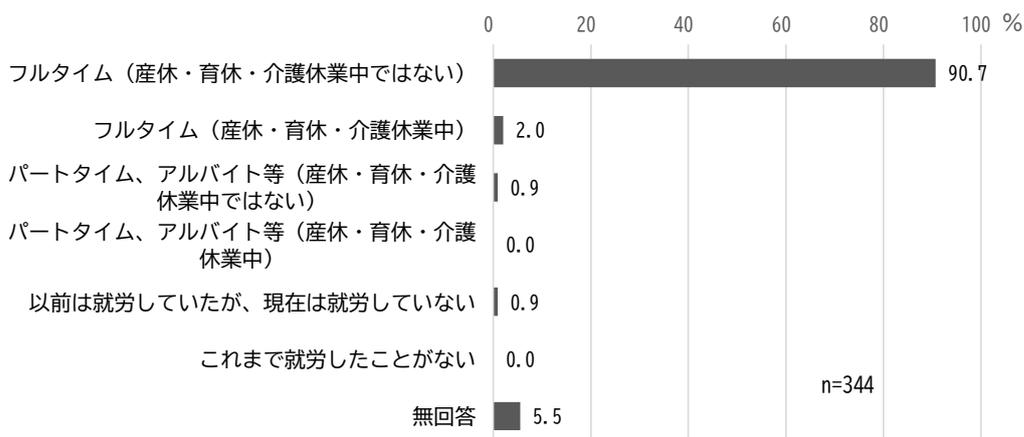
「パートタイム、アルバイト等（産休・育休・介護休業中ではない）」については、母親で 26.1%、父親で 0.9%と母親が高くなっています。

「以前は就労していたが、現在は就労していない」については、母親で 16.3%、父親で 0.9%と母親の方が高くなっています。

母親の就労状況【問 17(1)】 (SA)



父親の就労状況【問 17(2)】 (SA)



※父親の就労状況は、母子家庭の場合非該当となるため、全体数が少なくなっています。

1. 3 平日の「定期的な教育・保育事業」の利用状況、利用希望について

教育・保育事業の現在の利用状況・利用希望

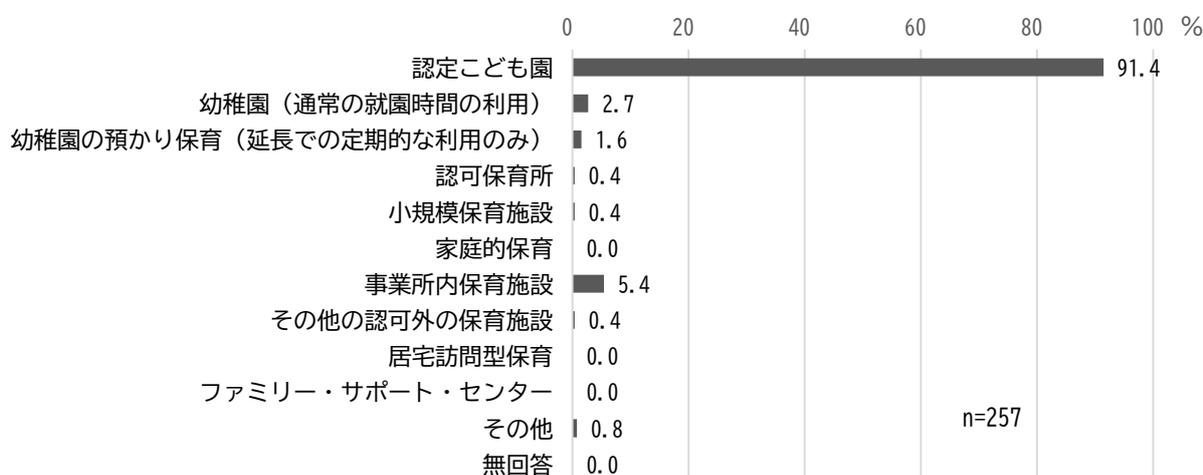
【問 20(1)、問 21】 (MA)

平日日中の、教育・保育事業の現在の利用状況では「認定こども園」の割合が最も高く 91.4%、次いで「事業所内保育施設」5.4%と続いています。

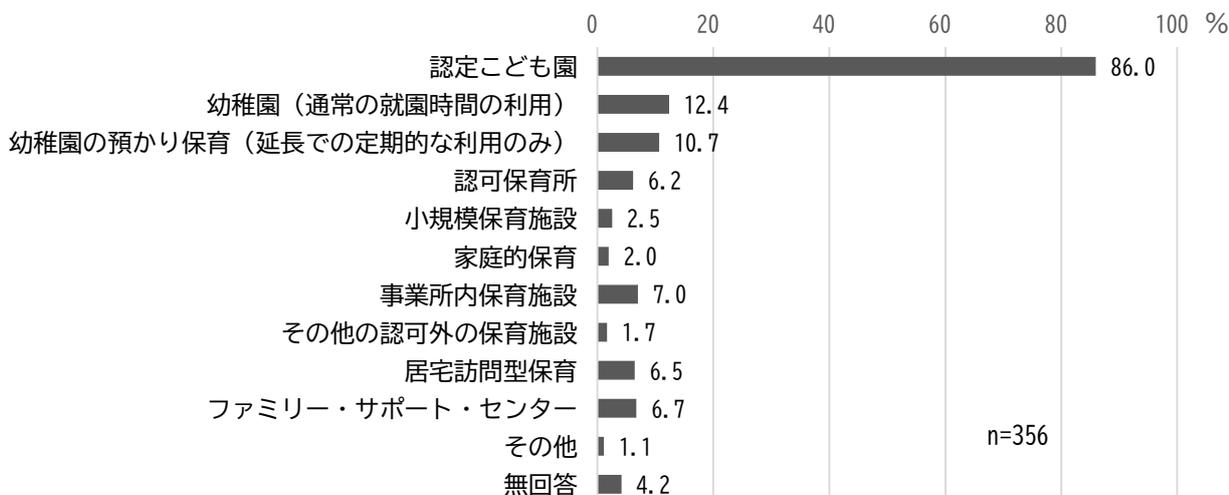
利用希望では、「認定こども園」が 86.0%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」12.4%と続いています。

現在の利用状況と利用希望を比較すると、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が最も差があり、現在の利用状況よりも利用希望のほうが 9.7 ポイント高くなっています。次いで差が大きいのは幼稚園の預かり保育（延長での定期的な利用のみ）で、利用希望のほうが 9.1 ポイント高くなっています。

現在の利用状況【問 20(1)】 (MA)



利用希望【問 21】 (MA)

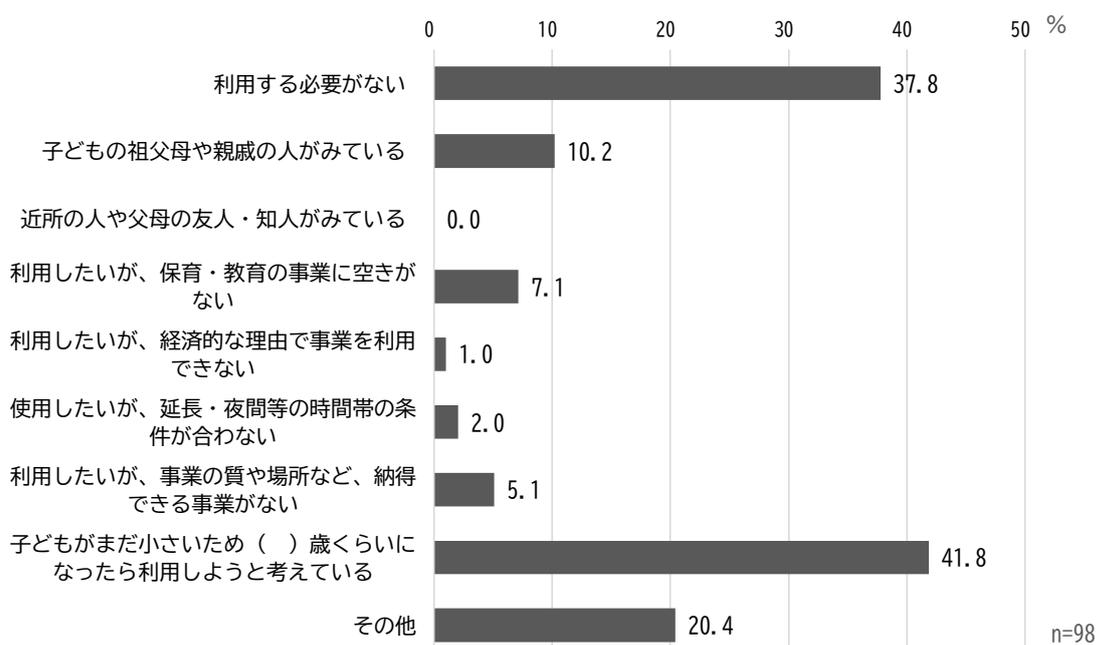


教育・保育事業を利用していない理由

【問 20-4】 (MA)

定期的な教育・保育事業を利用していない方に、利用していない理由を尋ねたところ、「子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が最も高く 41.8%、次いで「利用する必要がない」で 37.8%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が 10.2%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が 7.1%となっています。

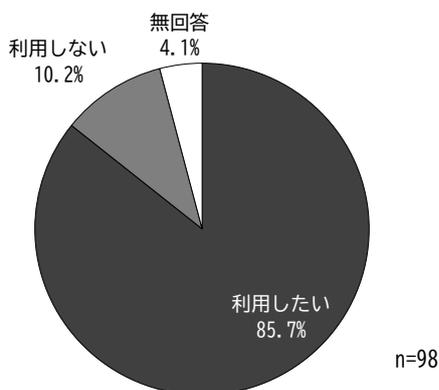
なお、「子どもがまだ小さいため、（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている」については、「0歳」が 4.9%、「1歳」が 29.3%、「2歳」が 24.4%、「3歳」が 34.1%、「4歳」が 7.3%となっています（グラフ省略）。



こども誰でも通園制度（仮称）の利用希望

【問 20-5】 (SA)

定期的な教育・保育事業を利用していない方に、こども誰でも通園制度（仮称）の利用希望を尋ねたところ、「利用したい」が 85.7%、「利用しない」が 10.2%となっています。



1. 4 学童の利用希望

学童の利用希望（希望利用日数、希望学年）

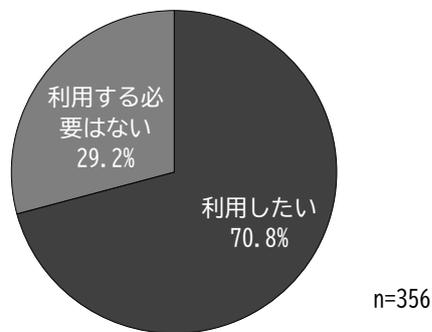
【問 31、問 31-1、問 31-2】

学童の利用希望については、「利用したい」が 70.8%、「利用する必要はない」が 29.2%となっています。

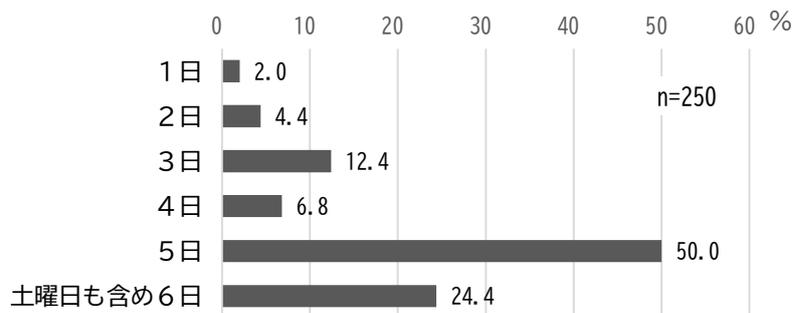
利用希望者のうち、学童の利用希望日数は、「5日」の割合が最も高く 50.0%、次いで「土曜日も含め6日」が 24.4%となっています。

何年生まで利用したいか、という利用希望学年は、「6年生」が 46.0%、次いで「3年生」が 23.2%となっています。

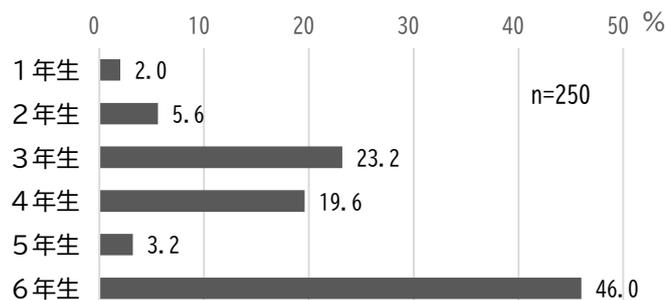
学童の利用希望【問 31】（SA）



学童の利用希望日数【問 31-1】（SA）



学童の利用希望学年【問 31-2】（SA）

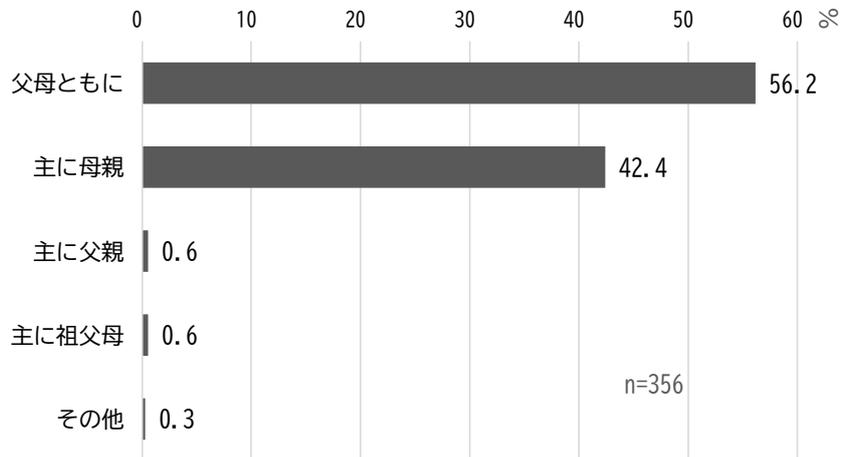


1. 5 子どもの育ちをめぐる環境について

主な子育ての担い手

【問6】(SA)

子育てを主に行っているのは「父母ともに」の割合が最も高く 56.2%、次いで「主に母親」で 42.4% となっています。

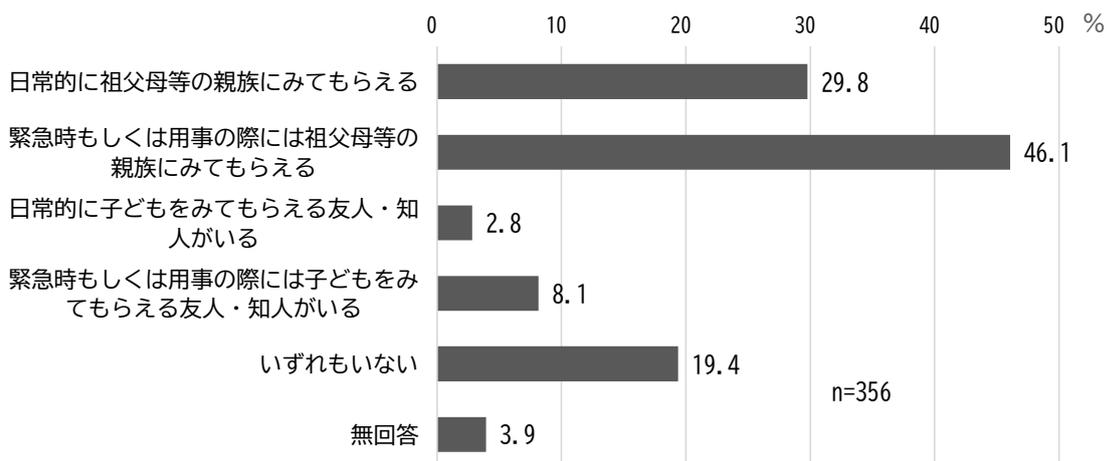


子どもをみてもらえる親族・知人の有無

【問13】(MA)

日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますかと尋ねたところ、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が最も高く 46.1%、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 29.8%と続きます。

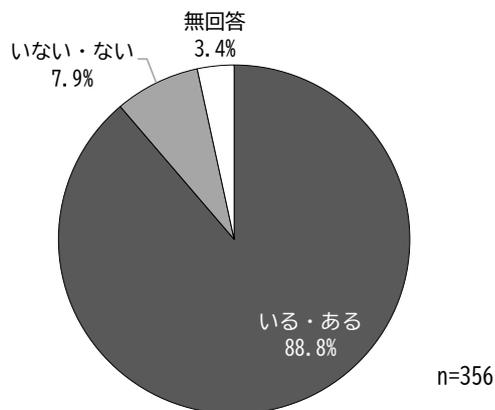
一方、「いずれもない」は 19.4%となっています。



気軽に相談できる人の有無

【問 15】 (SA)

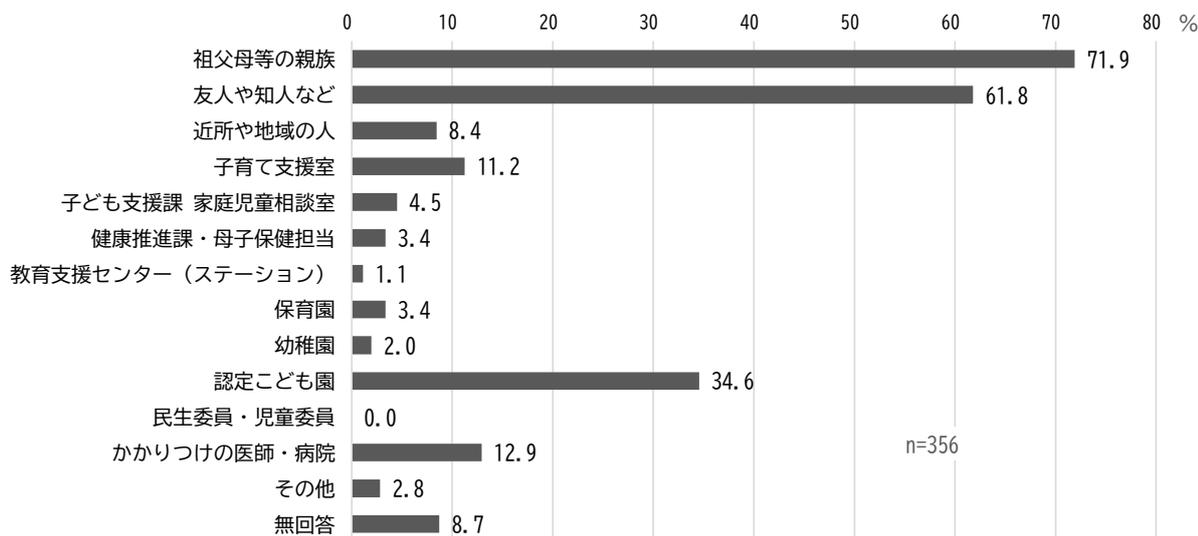
子育て（教育を含む）をする上で気軽に相談できる人の有無については、「いる・ある」は 88.8% となっています。



気軽に相談できる人・施設

【問 15-1】 (MA)

気軽に相談できる人・施設については、「祖父母等の親族」の割合が最も高く 71.9%、次いで「友人や知人など」61.8%、「認定こども園」34.6%と続いています。

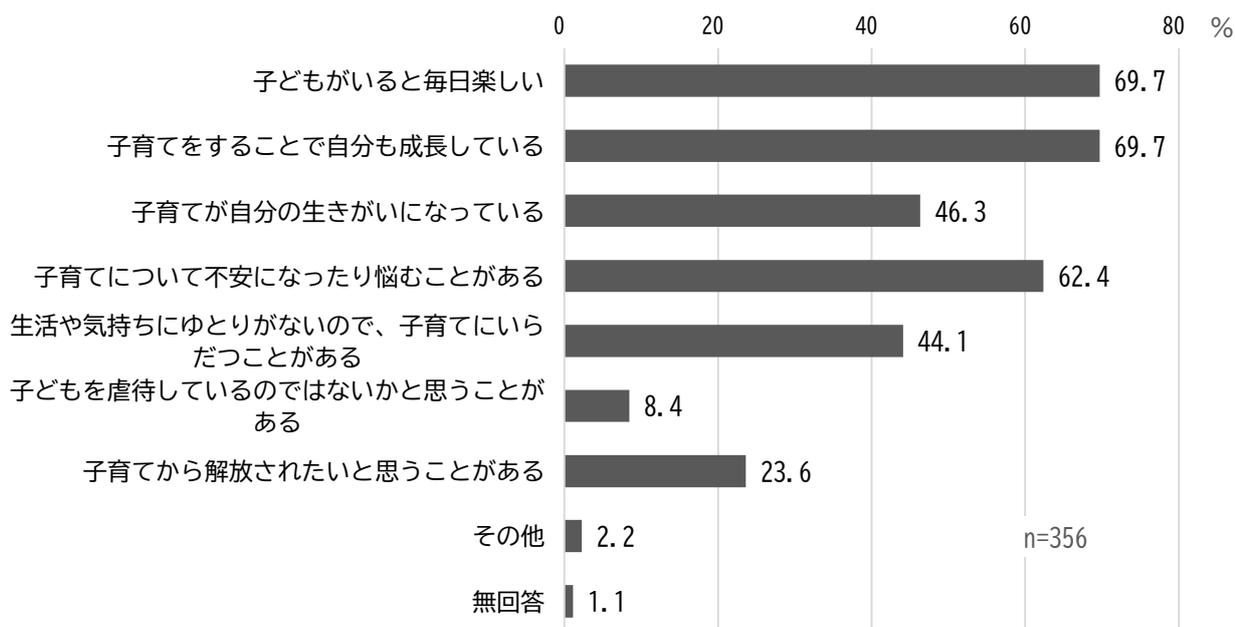


子育てに対する気持ち

【問 14】 (MA)

子どもを育てている気持ちについてたずねたところ、心理的に肯定的あるいはプラスの意見としては、「子どもがいると毎日楽しい」と「子育てをすることで自分も成長している」の割合が最も高く、それぞれ 69.7%、次いで「子育てが自分の生きがいになっている」46.3%となっています。

一方、心理的に負担のある、あるいはマイナスの意見としては「子育てについて不安になったり悩むことがある」の割合が最も高く 62.4%、次いで「生活や気持ちにゆとりがないので、子育てにいらだつことがある」44.1%となっています。

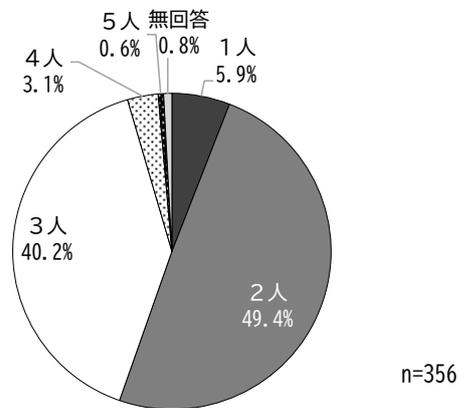


1. 6 理想の子どもの人数について

理想の子どもの人数

【問9】(SA)

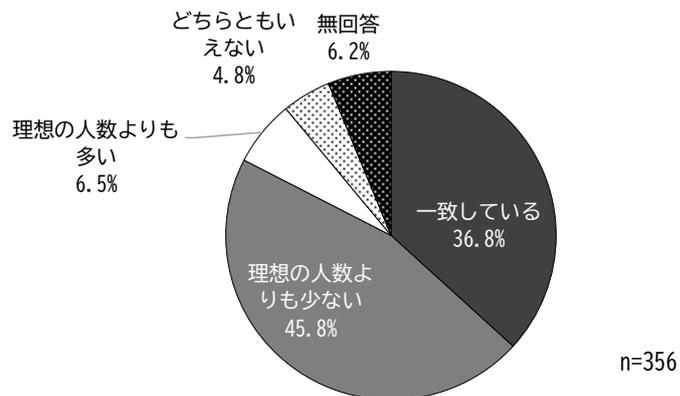
理想の子どもの人数は、「2人」の割合が最も高く 49.4%、次いで「3人」で 40.2%、「1人」5.9%と続きます。



理想と実際の子どもの人数の差

【問10】(SA)

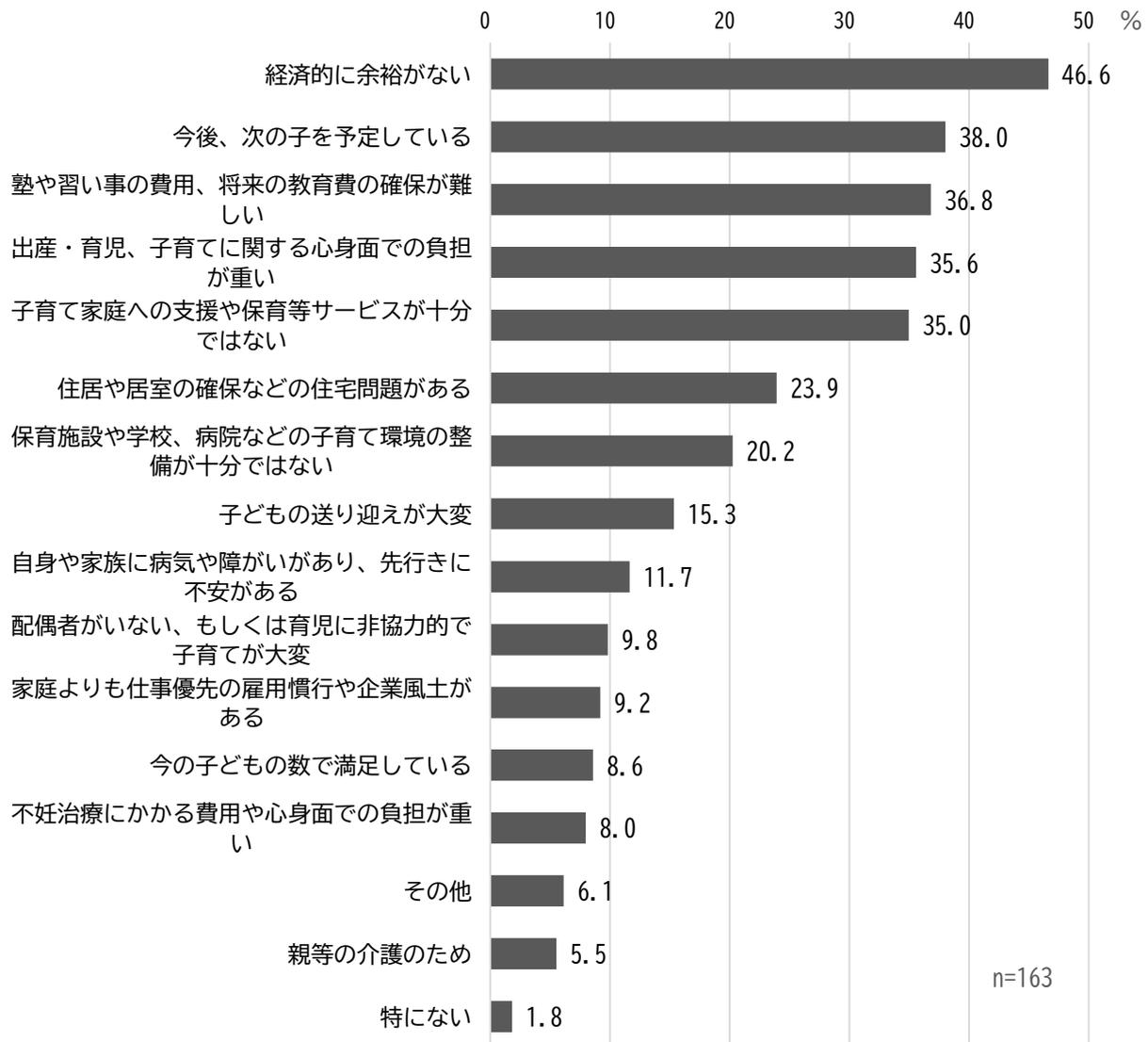
理想の子どもの人数と、実際の子どもの人数が一致しているか差があるのか尋ねたところ、「理想の人数よりも少ない」の割合が最も高く 45.8%、次いで「一致している」が 36.8%となっています。



理想の子ども的人数より少ない理由

【問 10-1】 (MA)

子ども的人数が理想より少ない理由については、「経済的に余裕がない」の割合が最も高く 46.6%、次いで「今後、次の子を予定している」が 38.0%、「塾や習い事の費用、将来の教育費の確保が難しい」が 36.8%、「出産・育児、子育てに関する心身面での負担が重い」が 35.6%、「子育て家庭への支援や保育等サービスが十分ではない」が 35.0%となっています。

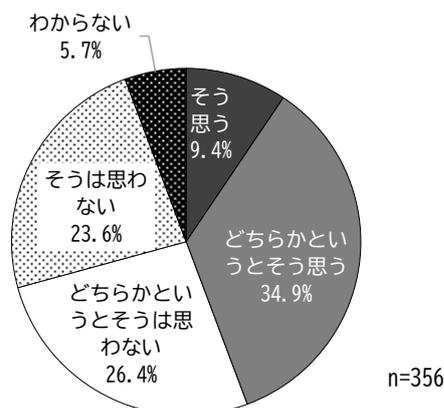


1. 7 鴨川市の子育て環境について

鴨川市の子育てしやすさ

【問 34】 (SA)

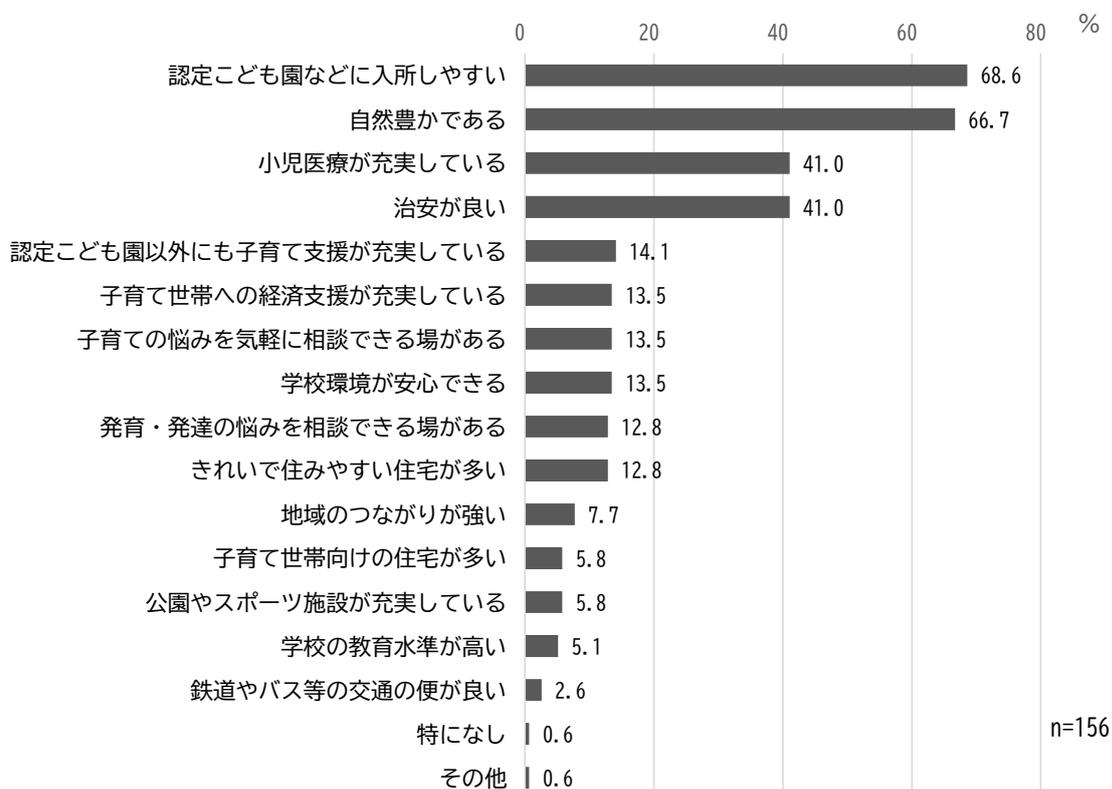
鴨川市は子育てしやすいまちだと思うかを尋ねたところ、「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計は 44.3%、「どちらかというとは思わない」と「そうは思わない」の合計は 50.0%となっています。



鴨川市が子育てしやすい理由

【問 34-1】 (MA)

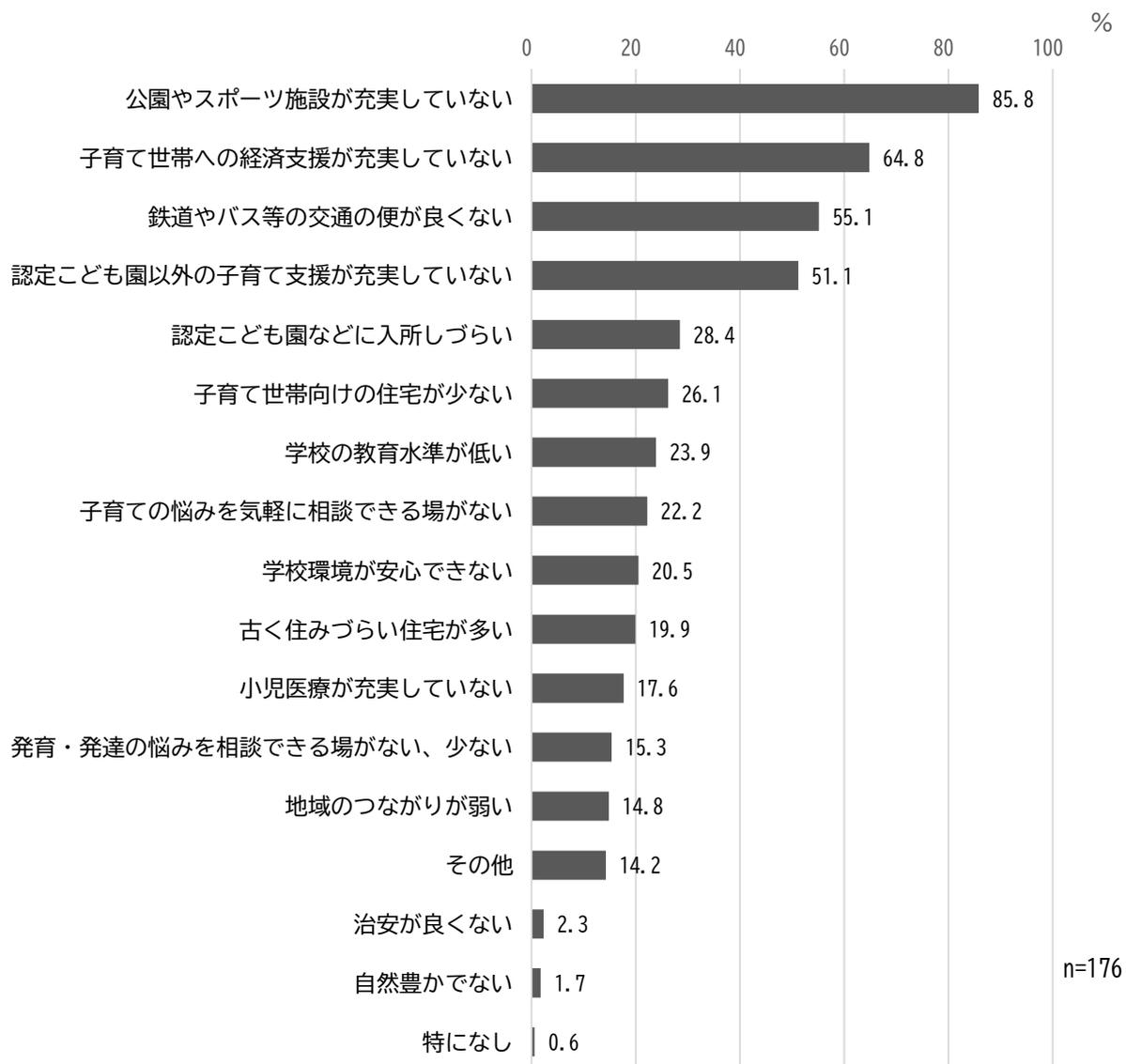
子育てしやすい理由としては、「認定こども園などに入所しやすい」の割合が最も高く 68.6%、次いで「自然豊かである」が 66.7%、「小児医療が充実している」と「治安が良い」がそれぞれ 41.0%と続きます。



鴨川市が子育てしやすくない理由

【問 34-2】 (MA)

子育てしやすくない理由としては、「公園やスポーツ施設が充実していない」の割合が最も高く 85.8%、次いで「子育て世帯への経済支援が充実していない」が 64.8%、「鉄道やバス等の交通の便が良くない」55.1%、「認定こども園以外の子育て支援が充実していない」が 51.1%となっています。



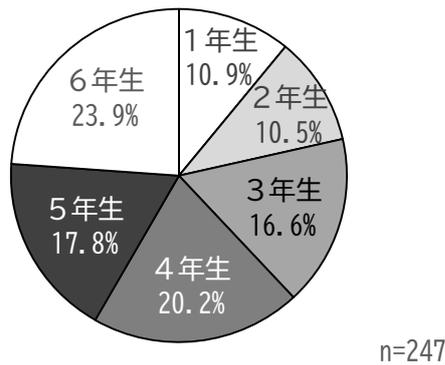
2 小学生児童保護者

2. 1 回答者の基本的属性について

子どもの学年

【問7】(SA)

子どもの学年については令和5年度の学年を尋ねており、以下の通りです。

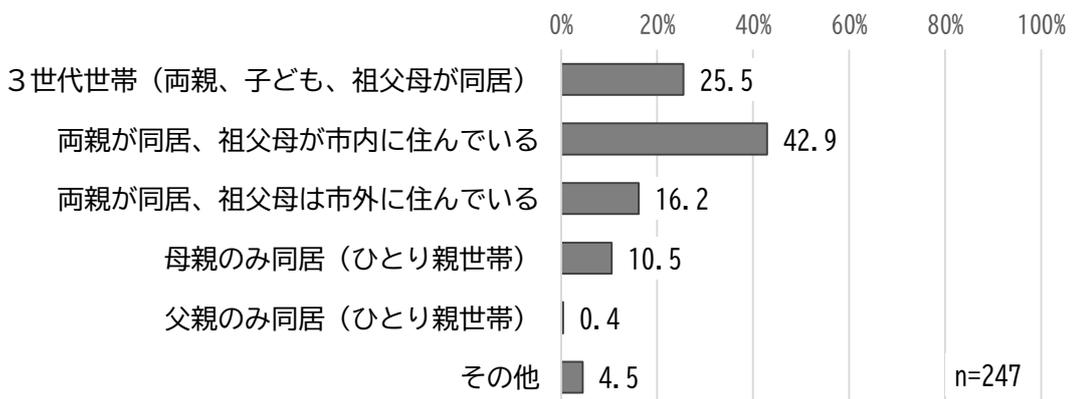


同居家族

【問2】(SA)

同居している家族について尋ねたところ、「両親が同居、祖父母が市内に住んでいる」の割合が最も高く42.9%、次いで「3世代世帯（両親、子ども、祖父母が同居）」が25.5%となっています。

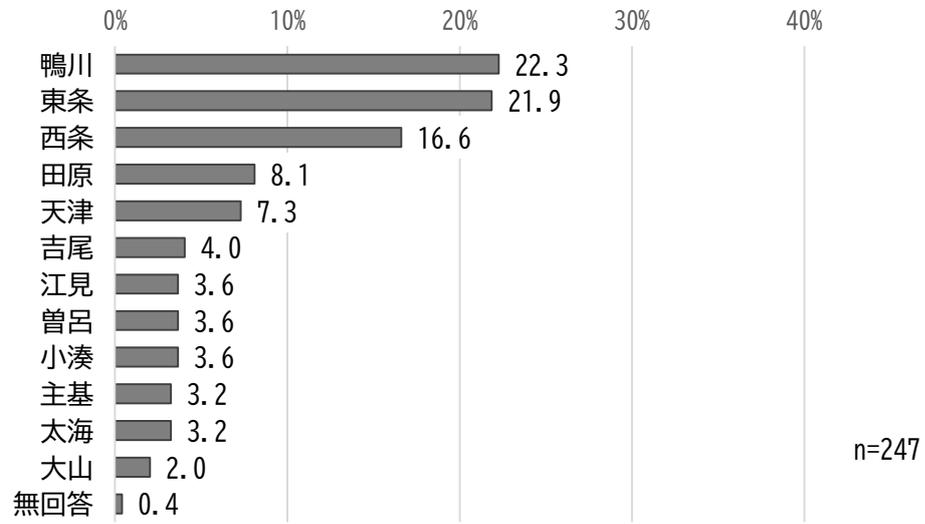
母親のみのひとり親世帯は10.5%、父親のみのひとり親世帯は0.4%となっています。



居住地域

【問4】(SA)

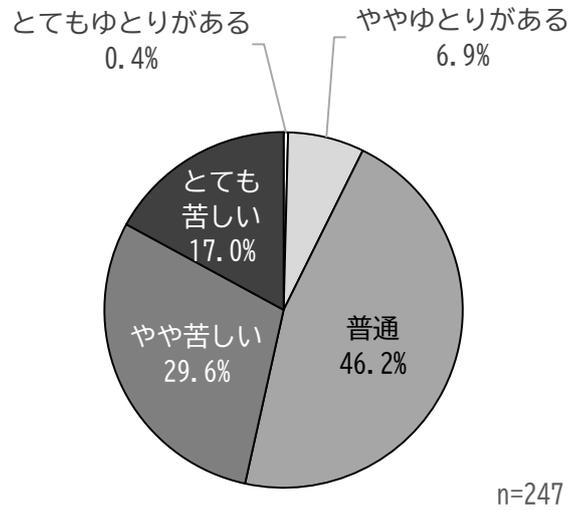
居住している地域は、鴨川の割合が最も高く 22.3%、次いで東条が 21.9%、西条が 16.6%と続きます。



経済的状況

【問6】(SA)

経済的な状況については、「普通」の割合が最も高く46.2%、「とてもゆとりがある」と「ややゆとりがある」の合計が7.3%、「やや苦しい」と「とても苦しい」の合計が46.6%となっています。



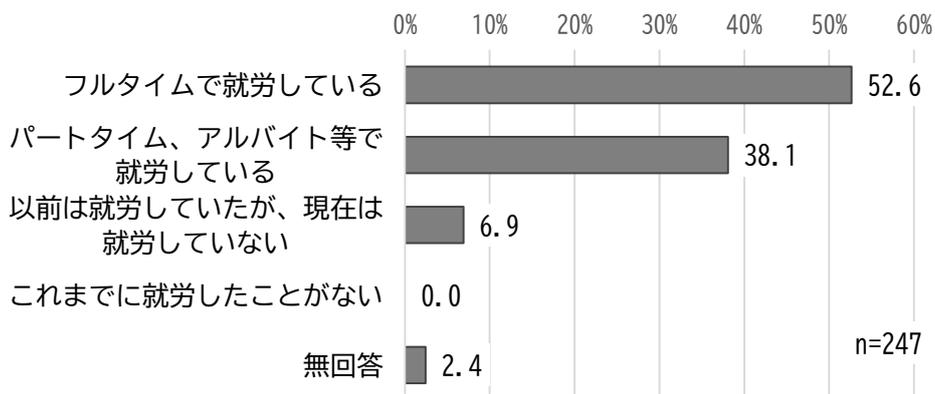
2. 2 保護者の就労状況について

母親と父親の就労状況

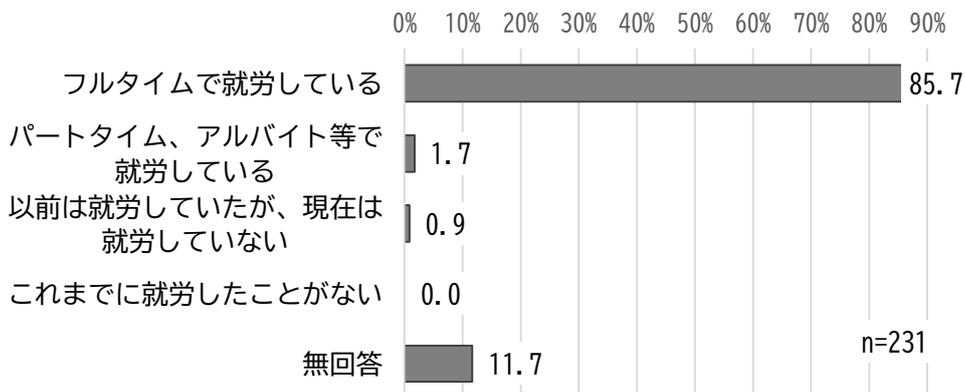
母親のうち「フルタイムで就労している」の割合が 52.6%であるのに対し、父親の場合は 85.7%と高くなっています。

また、母親の「パートタイム、アルバイト等で就労している」の割合は 38.1%であるのに対し、父親のそれは 1.7%と低くなっています。

母親の就労状況【問3(1)】(SA)



父親の就労状況【問3(2)】(SA)



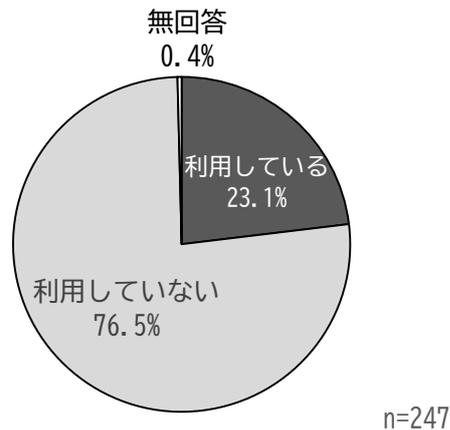
※父親の就労状況は、母子家庭の場合非該当となるため、全体数が少なくなっています。

2. 3 学童の利用状況と利用希望

学童の利用状況

【問 15】 (SA)

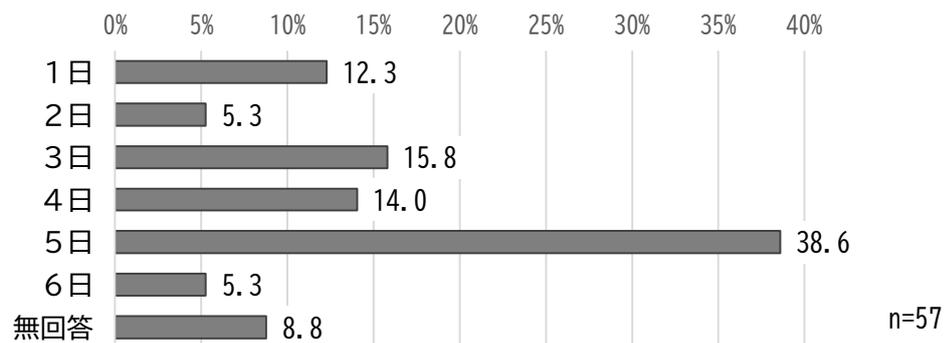
現在の学童の利用の有無については、「利用している」が 23.1%、「利用していない」が 76.5%となっています。



学童の利用日数 (1 週間当たり)

【問 15-1】 (SA)

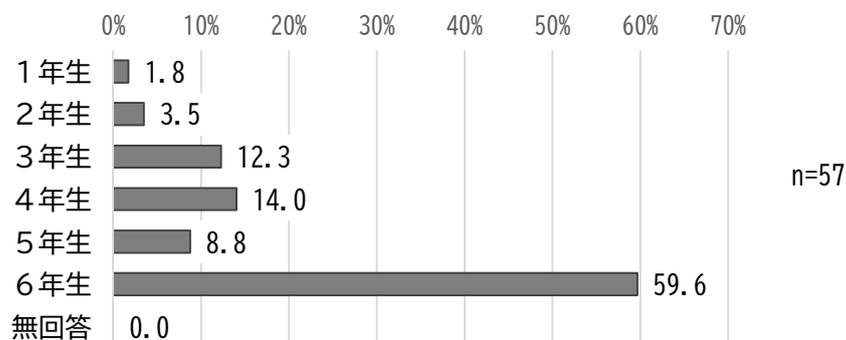
現在の学童の利用日数は、「5日」の割合が最も高く 38.6%、次いで「3日」が 15.8%、「4日」が 14.0%となっています。



学童の利用希望学年

【問 15-2】(SA)

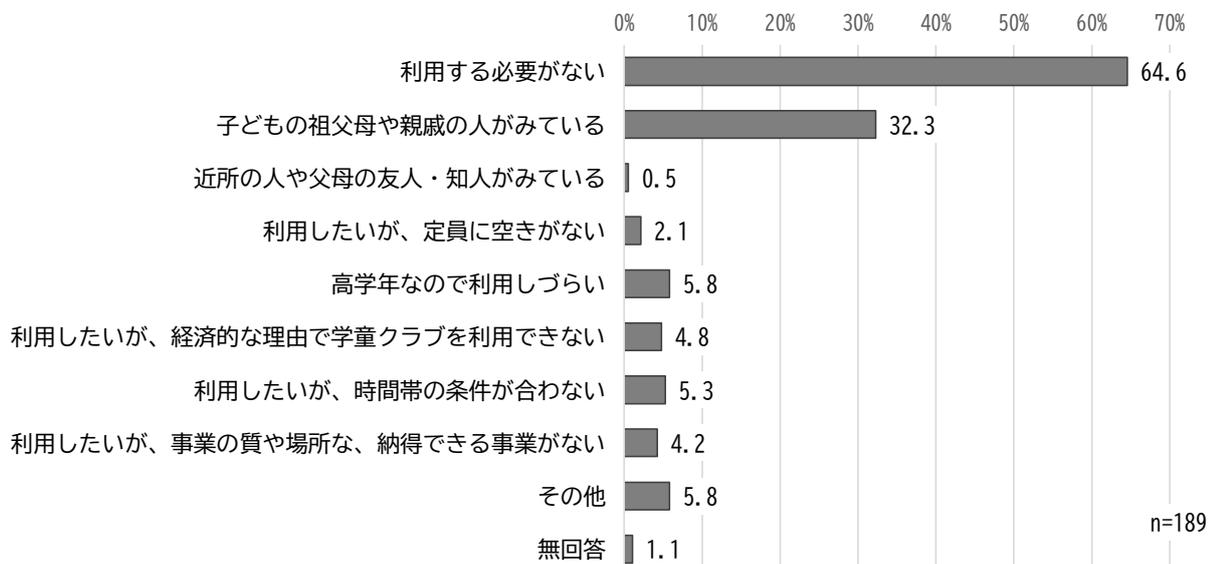
何年生まで学童を利用したいか尋ねたところ、「6年生」の割合が最も高く 59.6%、次いで「4年生」が 14.0%、「3年生」が 12.3%となっています。



学童を利用していない理由

【問 15-3】(SA)

学童を利用していない理由としては、「利用する必要がない」を除くと、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」の割合が最も高く 32.3%となっています。

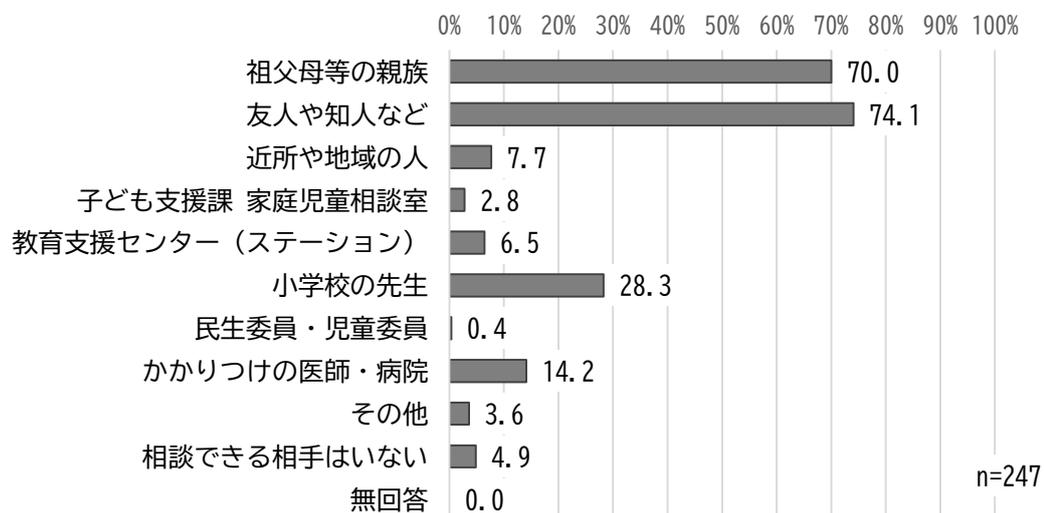


2. 4 子どもの育ちをめぐる環境について

子育ての相談先

【問10】(MA)

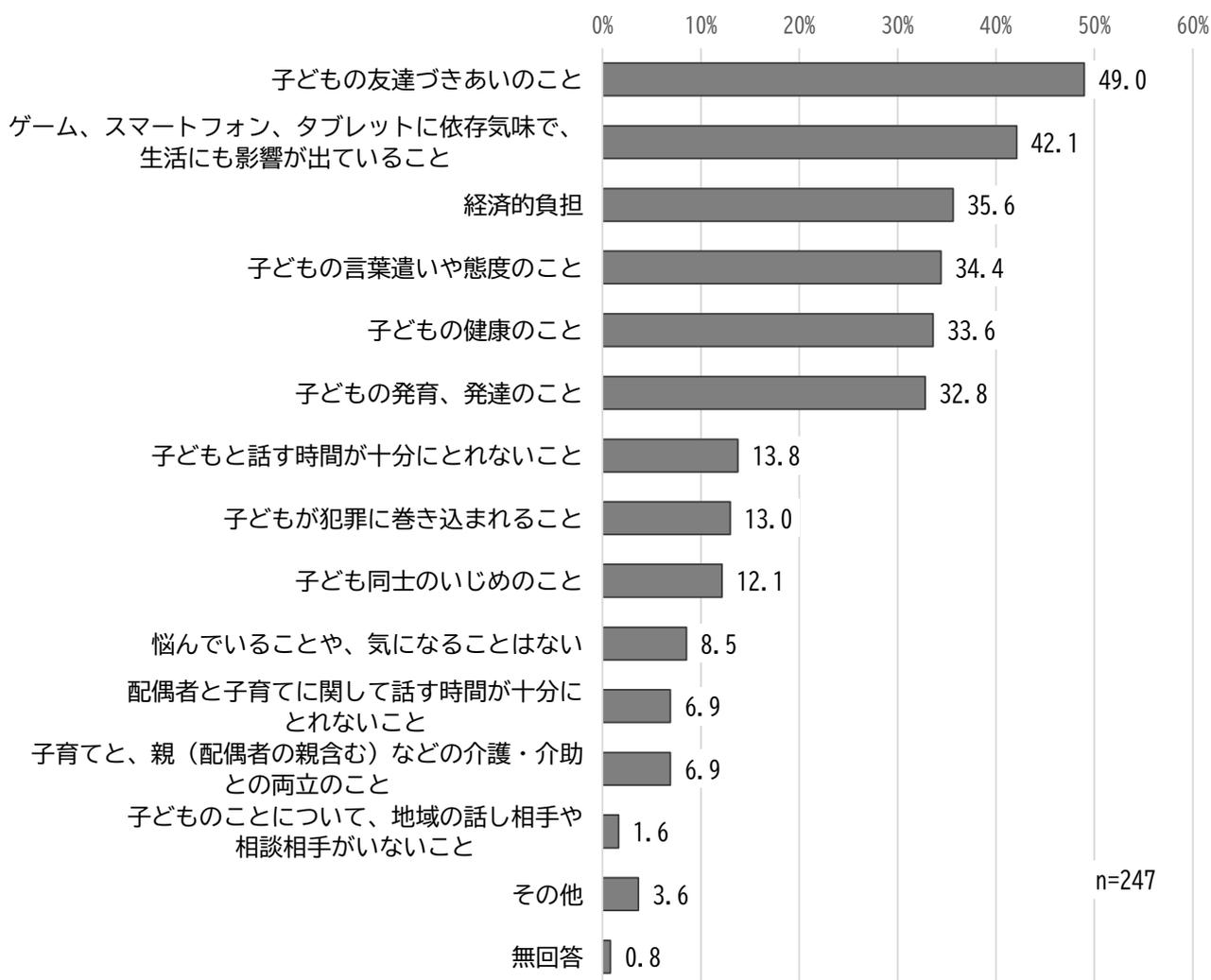
子育ての相談先については、「友人や知人など」の割合が最も高く74.1%、次いで「祖父母等の親族」が70.0%となっています。



子育ての悩み

【問11】(MA)

子育ての悩みについては、「子どもの友達づきあいのこと」の割合が最も高く 49.0%、次いで「ゲーム、スマートフォン、タブレットに依存気味で、生活にも影響が出ていること」が 42.1%、「経済的負担が」35.6%となっています。

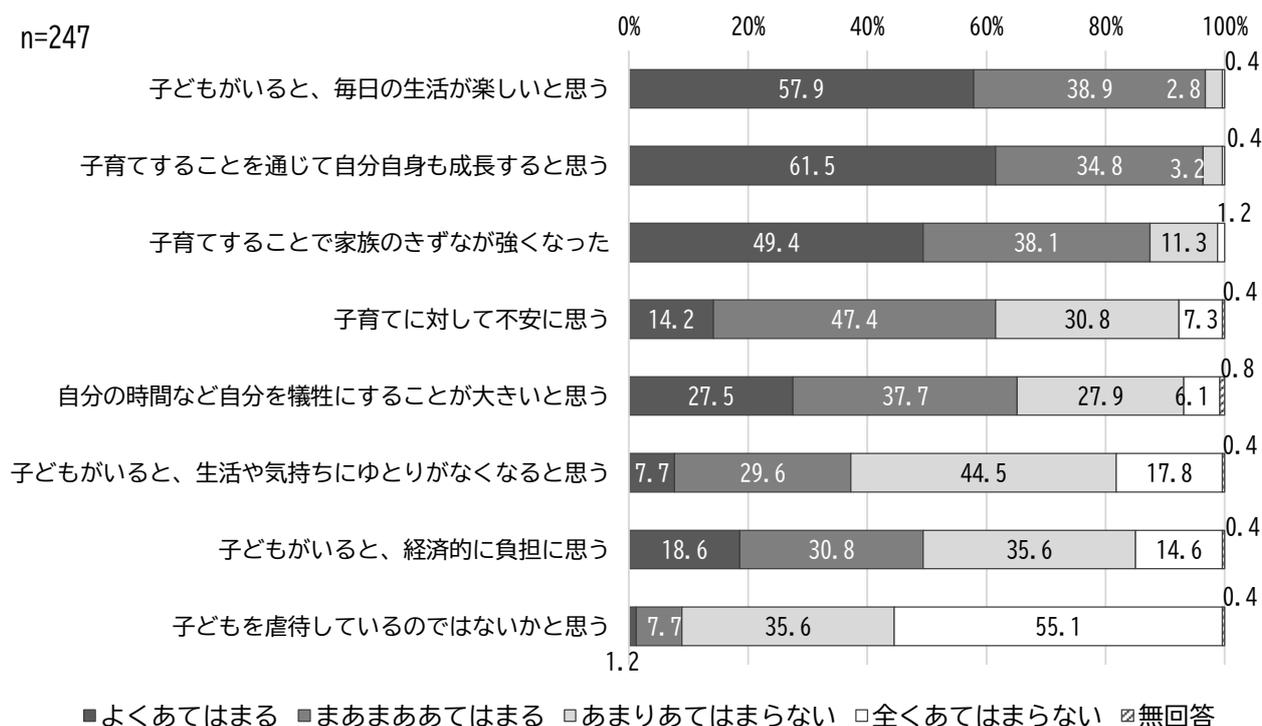


子育てに対する気持ち

【問13】(SA)

子育てに対する気持ちで、「よくあてはまる」の割合が最も高かったのは「子育てすることを通じて自分自身も成長すると思う」で61.5%、次いで「子どもがいると、毎日の生活が楽しいと思う」で57.9%となっています。

一方、「全くあてはまらない」の割合が最も高かったのは、「子どもを虐待しているのではないかと思う」で55.1%となっています。

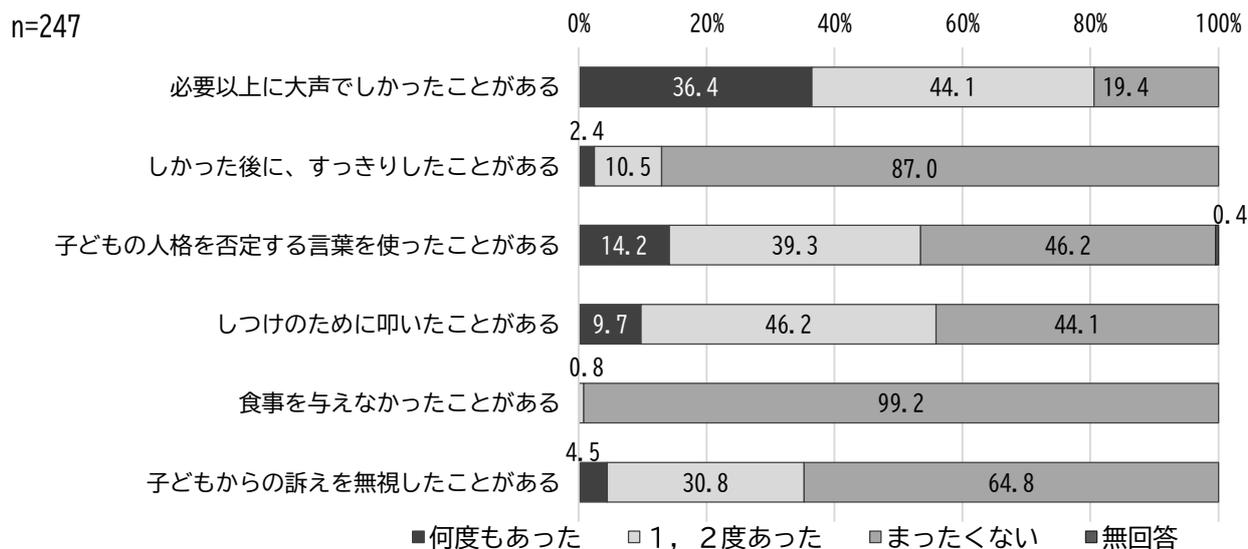


子どもへの対応・態度

【問 14】 (SA)

子どもへの対応・態度で「何度もあった」の割合が高かったのは「必要以上に大声でしかったことがある」で 36.4%、次いで「子どもの人格を否定する言葉を使ったことがある」で 14.2%となっています。

一方で、「まったくない」の割合が最も高かったのは、「食事を与えなかったことがある」で 99.2%となっています。

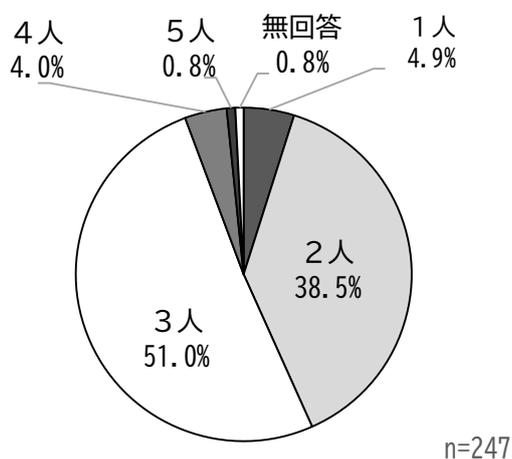


2. 5 理想の子どもの人数について

理想の子どもの人数

【問 23】 (SA)

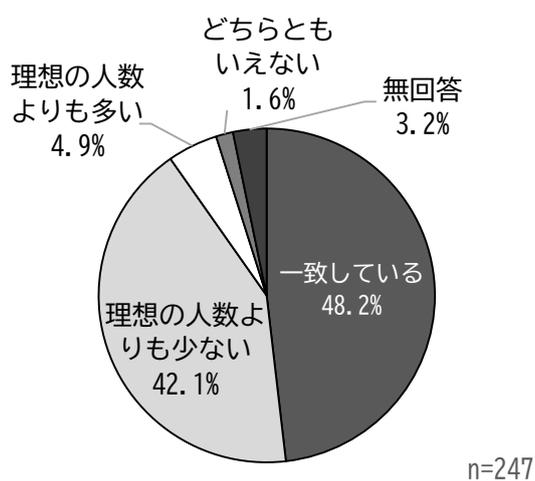
理想の子どもの人数は、「3人」の割合が最も高く 51.0%、次いで「2人」で 38.5%、「1人」4.9%と続きます。



理想と実際の子どもの人数の差

【問 24】 (SA)

理想の子どもの人数と、実際の子どもの人数が一致しているか差があるのか尋ねたところ、「一致している」の割合が最も高く 48.2%、次いで「理想の人数よりも少ない」が 42.1%となっています。



理想の子どもの人数より少ない理由

【問 24-1】 (MA)

子どもの人数が理想より少ない理由については、「経済的に余裕がない」の割合が最も高く 43.3%、次いで「塾や習い事の費用、将来の教育費の確保が難しい」が 36.5%、「出産・育児、子育てに関する心身面での負担が重い」が 23.1%となっています。

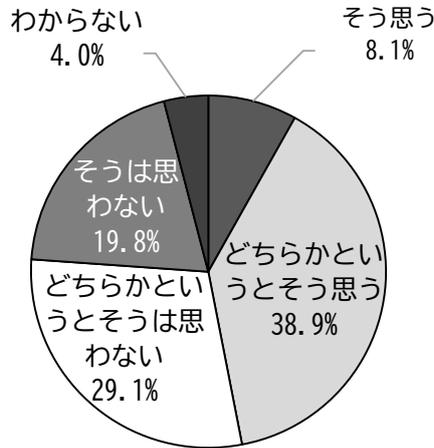


2. 6 地域の子育て支援について

鴨川市の子育てしやすさ

【問 25】(SA)

鴨川市は子育てしやすいまちだと思うかを尋ねたところ、「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計は47.0%、「どちらかというとは思わない」と「そうは思わない」の合計は49.0%となっています。

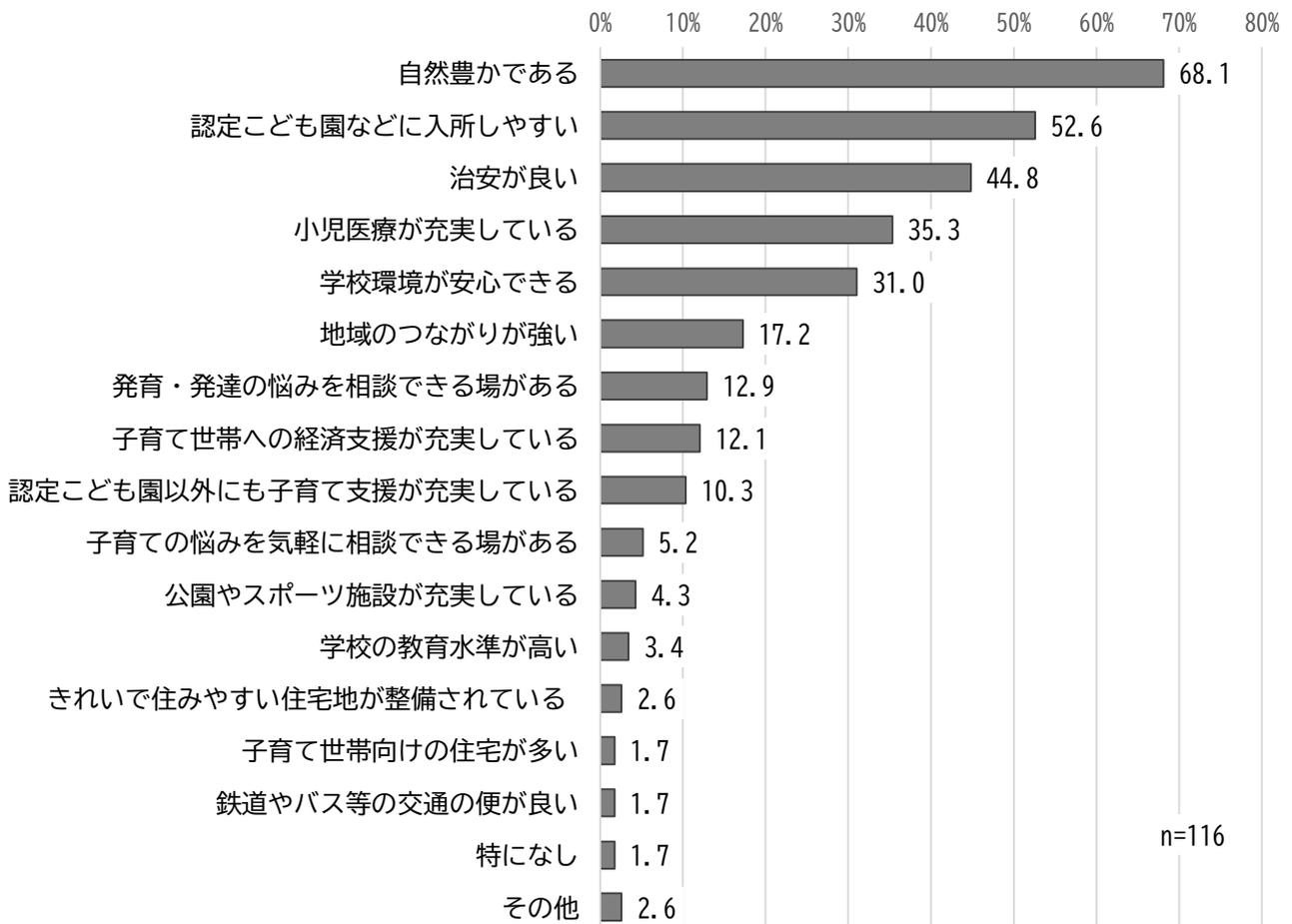


n=247

鴨川市が子育てしやすい理由

【問 25-1】(MA)

子育てしやすい理由としては、「自然豊かである」の割合が最も高く68.1%、次いで「認定子ども園などに入所しやすい」が52.6%、「治安が良い」44.8%、「小児医療が充実している」35.3%と続きます。

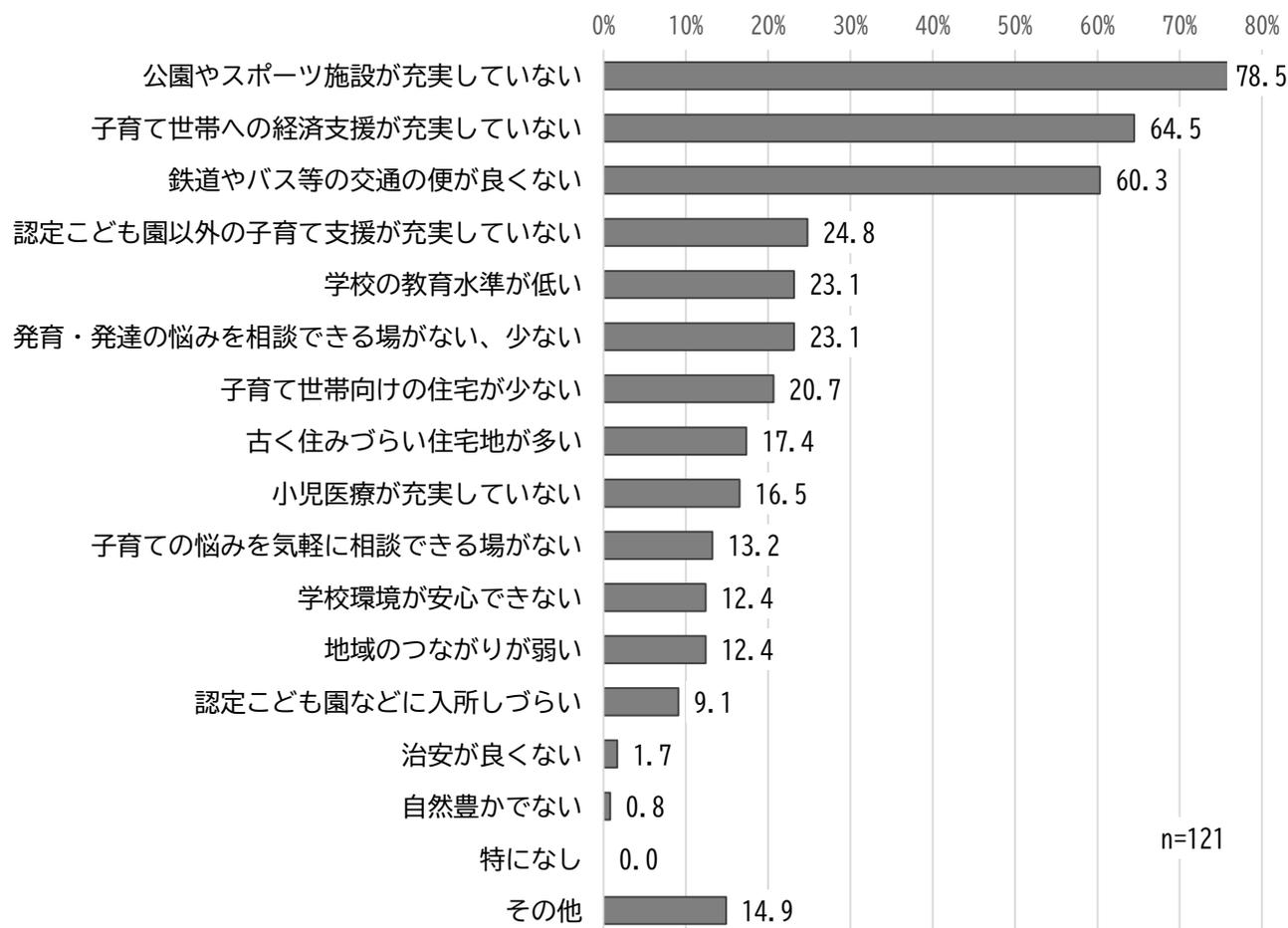


n=116

鴨川市が子育てしやすくない理由

【問 25-2】 (MA)

子育てしやすくない理由としては、「公園やスポーツ施設が充実していない」の割合が最も高く 78.5%、次いで「子育て世帯への経済支援が充実していない」が 64.5%、「鉄道やバス等の交通の便が良くない」60.3%、「認定こども園以外の子育て支援が充実していない」が 24.8%となっています。



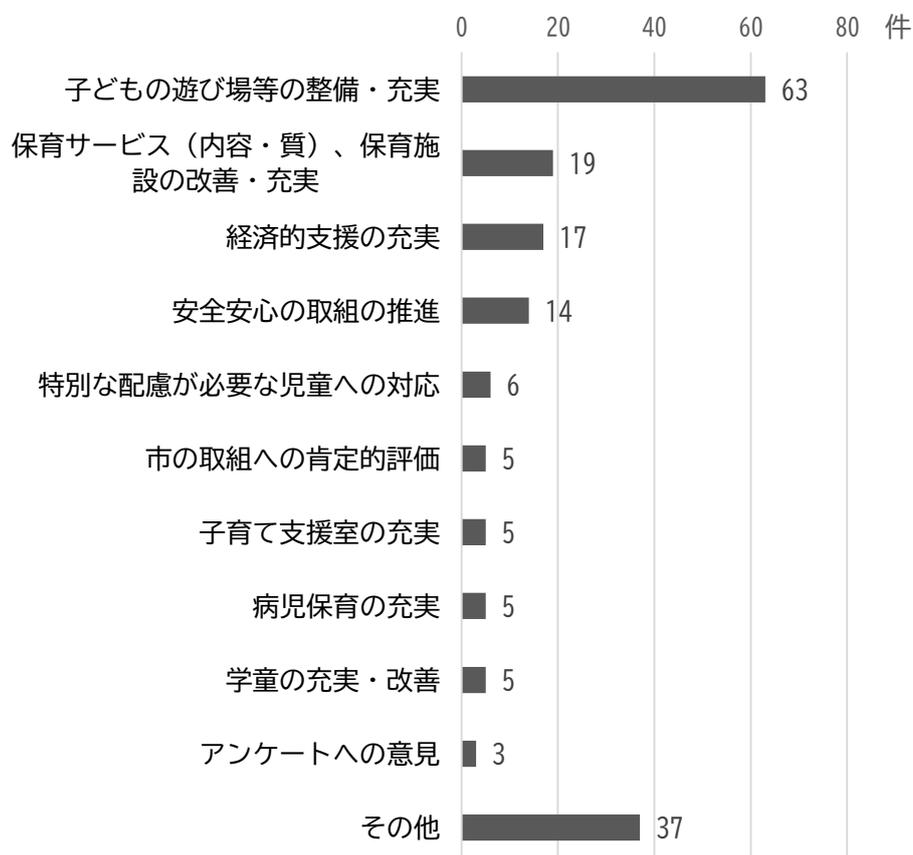
Ⅱ-2 保護者アンケートの自由意見

1 就学前児童保護者の自由意見

1. 1 自由意見の傾向

就学前児童の保護者の112人から自由意見が寄せられました。意見内容ごとに、全部で179件の意見に分類しました。

最も多かった内容は「子どもの遊び場等の整備・充実」で63件となっています。次いで、「保育サービス（内容・質）、保育施設の改善・充実」が19件、「経済的支援の充実」が17件、「安全安心の取組の推進」が14件、「特別な配慮が必要な児童への対応」が6件と続いています。



1. 2 内容別自由意見

以下に、自由意見を内容により分類し、多い項目から順に5項目を掲載しています。それぞれの項目では、具体的に言及されている代表的な意見や具体的な意見を選び数件～20件程度掲載しています。

掲載にあたり、それぞれの項目の内容と無関係の部分は基本的に割愛していますが、文章が繋がっている場合などは無理に編集をせず、別項目の内容が含まれていることもあります。また、同じ方の意見が別項目として一部重複して再掲されている場合もあります。

個人が特定される可能性のある記述や誹謗中傷と受け取れる記述は、特定されないよう編集しています。

【1 子どもの遊び場の整備・充実】

地区名	意見
西条	子供達の遊ぶ所、集まる所がない。 学童の利用がなくなり、自宅で留守番をするようになると、タブレットやゲームの時間が増えて学習をしない。自宅以外で子供達が自由に集まって勉強や運動ができる場所があれば良い。
西条	とにかく公園が少ないのが気になります。地域に1つは遊具のある公園があると、子育て世帯の集まれる場所になりますし、育児の話ができて家庭以外に居場所ができます。子どもたちにとっても遊ぶ場があることは、友人などとのコミュニティも築きやすいです。少子化対策、人口減対策のためにも公園は地域に1つはあることが必須だと思います。
西条	子供が安全に遊べる場所が少ない。 公園はあるがあまり整備されておらず、休日は中学生もいるし自由に遊べない。
東条	公園など子どもを遊ばせることができる施設が少なすぎる。30記念公園や一戦場など芝生はあっても遊具などがなく子どもの年齢が上がるにつれて満足できず、遊びに行く機会も減ってしまった。
東条	公園の遊具、室内遊戯施設などの充実。
東条	気軽に行ける距離に公園が無いのもっとあると、外遊びが充実する。
東条	子供が遊べる施設が少ない。雨の日に遊べる屋内施設がない。 遊び場がないと親の負担が多い気がする。
東条	自然の豊かさに惹かれて、東京から鴨川市に移住しましたが、遊具のある公園がほとんどなく、天気の悪い週末に遊ばせられる児童館などもなく、子育て環境は逆に悪くなったことに気が付き、とてもショックでした。
鴨川	子育て支援室以外の、長時間子連れで遊べる施設少ない。広い公園がない。公園があっても狭い、遊具が少ない。
鴨川	子どもたちが雨の日でも遊べるような場所がほしいです。例えば土日に、どこかの体育館を自由に使えるようにするなど。子育て支援室は小さい子対象のため、うちの子は利用できません。
鴨川	施設内で遊べる場所や広い公園があるとよい

鴨川	とにかく乳児が遊べる公園や室内施設を作ってほしい。支援室は、おもちゃでは遊べるが体を動かして遊べる所がない。自然が多そうに見えて、子ども目線でいったら少ない。菜の花はあるが、桜の木もあまりないし、綺麗に花が咲いているところが少ない。シーサイドベースができたが、オムツ交換台がない。商業施設などは汚くて使う気になれない。キッズスペースもない。
鴨川	とにかく遊具のある公園が少ないので、増やしてほしい。
鴨川	子供を遊ばせる場所があるといいです。広くて危なくない芝生の公園や、市民プールや長いパイプ滑り台など幼児が喜ぶ所があるといいです。
鴨川	鴨川市で未就学前に子育てできたことをとても貴重で良い経験ができたと思っています。徒歩圏内や近場で海にも山にも自然豊かな環境があり人も優しく温かい雰囲気が好きでした。遊具がある公園が少ないかなと引越し当初は感じていましたがそれよりも豊かな自然があることが子どもには大事なのだと実感しました。
吉尾	子どもの遊び場が不足しているという声があるが、実際は、さまざまな公園や子育て支援センターなどがあり、不足しているということはないと思われるので、周知の仕方を考えるべきでは。 ただ、もう少し親子が楽しく快適に過ごすための遊具やトイレなどの設備を充実させて欲しい。
江見	雨の日などに遊べるような場所、子育てのママたちが安心して食事をしたり、集まれる場所、リトミックや工作教室、親子で気軽にお友達を作れる場所を作ってほしいです。親が気持ちを持ちを明るく保てるような環境があればきっと子育てを楽しめて子供も楽しくなります。宜しくお願いします。

【2 保育サービス（内容・質）、施設の改善・充実】

地区名	意見
田原	観光業や医療関係で仕事している者にとっては土日休みを取るのには難しいです。現在、土日でも子供を見てくれる保育園はアワーズしか無く、仕事を制限しなければいけません。
田原	育児休業中の保育園利用は、鴨川市はなぜできないのですか。他の市では育休中でも保育園利用できるところがあると聞きます。双子を出産したときに、上の子を退園させなきゃいけなくてかなり辛かったです。一時預かりもその時はあまり回数利用できなくて、、、1人だったらなんとかできたと思いますが、0歳児2人と3歳児を1人で対応するには厳しかったです。今後、ぜひ検討していただきたいです。
西条	第3子の産後休暇が終わり育児休業に入る際に、第2子が認定こども園を退園しなければならず、辛くて泣きました。いろいろ調べ、自治体によっては退園しなくてもよいことを知り、鴨川市も退園しなくてよくなると良いと切実に思いました。
西条	満3歳児保育で預けられるようにしてほしい。その年その年で預けられる人もいればそうじゃない家庭もあるのは不公平。そうかといって一時保育を利用したいが月8回もしくは月8回以下の利用は明らかに少なすぎる。どう考えても子育てに優しくない。
東条	前に住んでいたところでは、公私立に関わらず、保育園でも幼稚園でも地域として教育目標が立てられており、応対的保育やモンテッソーリ教育を取り入れるなどしていたが、今の園は昔ながらの集団保育を行っているようで、以前は保育園が大好きだった子どもが行き渋りをするようになってしまった。（以前は、公立と私立両方通いました）好きな先生の名前を聞くと、前の保育園の先生の名前を未だに言っています。もう少し鴨川市として未就学児の環境を考えてほしいと思います。
鴨川	こども園の1号だけ園バスを入れてほしい。
鴨川	育児休業中に未就学児が預けることができないのは改善すべき。
鴨川	2人目育休中は1人目の子供を自宅保育しなければならないのが懸念され、2人目を産もうと思えない。せめて一時保育の利用ができる様にしてほしい。
鴨川	こども園の預かり時間の拡大。勤務時間は決まっているが、定時で上がれることが少ないため、こども園が想定している時間にはお迎えが間に合わないことがある。定時の退勤時間から30分以内のお迎えはできないことがある。
鴨川	第二子以降出産後の、上の子に育休退園をなくしてほしい。育休退園になったら虐待してしまいそう。
鴨川	フルタイムで働いているので、遅くまで(20:00など)子供を預かってくれるのは大変有り難く、この為に自分は仕事を続けていられている。平日に済ませられない用事や仕事を行うために土日も預かってくれるととても助かる。
吉尾	一時預かり（OURS）を希望しても、定員がすぐにいっぱいになっている状況で預かりが出来ないと、よく聞きます。短期的なアルバイト等を検討していましたが、断念しました。また、保育士さんの数の減少もあるんでしょうが、認定こども園にも定員がいっぱいの為、入園できない（4月入園以外）場合があると聞きました。
吉尾	OURS以外の認定こども園での一時預かり利用を可能にして欲しい。

	一時預かりの利用回数の上限をあげて欲しい。
吉尾	もっと教育、保育に力を入れ、予算の拡充をしてほしい（職員数の確保、教育施設の充実、バス利用の範囲を増やす等）。
主基	OURS に上の子が入所しているのに、0才、1才と入所できず、一時預かりを利用して就職していた時期がありました。最終的には西条子ども園に入所し、現在 OURS に移動しました。また長狭の学童は保護者運営で OURS から長狭小学校に上がる時には情報さえありませんでした。土曜日の利用もできないため、現在平日は祖母が放課後上の子を見て、土曜日 OURS の学童に預ける生活をしています。地域によってサービスに格差があることも感じています。
曾呂	一時預かりが混雑していて、予約が取れない。また利用回数の制限があり困る。 親の体調不良などの急に利用したい時に、対応してもらえず困る。アワーズまで遠いので、各こども園でとは言わないが、江見と長狭は一時預かり事業をやってほしい。 こども園で3月から慣らし保育をしてくれないと困る。
天津	子供が少なくなってきたのはわかるのですが、出来れば住んでいる地域のこども園や、小学校に通わせたい。なくならないでほしいです。土曜日の保育ですが、場所を1ヶ所にまとめたりしてもいいと思うので1日やっていただければ、本来土曜日仕事の人も仕事に出れると思います。

【3 経済的支援の充実】

地区名	意見
田原	子供を出産したら何人目でも出産見舞金を出して欲しい。
田原	<ul style="list-style-type: none"> ・南房総市のように保育料の無償化してほしい（就学前まで）。 ・古いのに家賃の高い物件が多く、不安を感じるため、そこへの支援があると良い。 ・子育て支援パスポートがもっと充実すると良い（生活用品の割引など）。 ・（チャイルドシートへの助成、おむつ代など）子育て支援が増えてほしい。 ・産後ケアセンターがあるとよい。
田原	妊娠出産時の経済的フォロー（お祝い金、ゴミ袋の配布、など）。
西条	もう少し安く、土曜日や日曜日や祝日の一時預かりなどできるようにして欲しい。
西条	こども3人いる世帯は、1番上の子が小学校に所属していたとしても、保育料無料にしてほしい。2歳、0歳のこどもを預けるとなると、それなりの金額になる。兄弟が小学校に所属しても第3子以降、こども園無料という自治体があるときいて、本当に羨ましい。
西条	こども園利用料の減額や手当の増額など、物価が高くなっているので少し減額したりなど配慮があればありがたい。
東条	鴨川シーワールドに無料で入場できるのはありがたかったが、子どもの反応を見ていると3歳ごろからようやく楽しめるようになった感じがするので2歳までではなく、3～5歳など子どもの興味に適合する時期に無料にして欲しいと思った。
東条	非課税やひとり親世帯だけでなく幅広い層へ給付金を配ってほしい。
鴨川	習い事（運動、勉学）補助金の制度があるといい。
鴨川	お金の面でもっと支援があると助かる。家とか建てる時にも支援があると本当に助かる。他の県みたいに子育てに優しい鴨川市になればもっと助かる。医療費の無料はとてもいいが…容器代も無料にして欲しい（70円の奴）。
主基	子どもの入園に際し、色々準備が大変でした。通園カバンやその他バック類、帽子など…子育て支援で現金がいただけるのはありがたいですが、ある程度使うものが決まっている物に関しては、現金支給が無くなっても良いので園(市)の方で統一したものを用意してくれた方が良いのでは…と思います。のりやハサミ、粘土箱、防災頭巾など統一で用意されているものを見ると、通園カバンや通園帽子・赤白帽市なども園(市)で統一して、用意、もしくはのりなどと同じように購入出来るようにした方が良いのではと思いました。
曾呂	南房総市のように塾の助成がほしい。
天津	子供のいる世帯への金銭的支援がもう少しあると良いかなと思います。
天津	中学校を統合してほしい。子供医療費を他の近隣の市町村のように、高校生も無料にしてほしい。市内に高校が少なく、遠くまで通うこともあるので、定期代の補助があると助かる。

【4 安全安心の取組の推進】

地区名	意見
吉尾	せめて通学路くらいは歩道を整備してほしい。
東条	通学路の歩道が細く、通学に不安がある。
鴨川	鴨川認定こども園に在園しています。建物が古く、今後大きな地震がきたら心配です。出来れば早急に改善していただきたいです。鴨川小学校も川に近いので津波が来たら危ないと思います。児童の人数も減少しつつあるのでスクールバスなどを利用して出来るだけ安全な場所、環境で教育を受けてもらいたいです。自宅から近い小学校へ分散してスクールバスを配置していただきたいです。あるいは嶺南みたいに1箇所保育園小学校中学校をまとめることもいいと思います。
鴨川	大きな地震と津波が想定される今、鴨川こども園、鴨川小学校の場所が心配すぎる。安心して通わせられないので移設してほしい。
東条	通学路の整備（特に東条地区）。
鴨川	安全なこども園などの施設の建設が必要。 子どもが安全に遊べる場所が必要。 いつでも親子が安心して過ごせる場所の設置。 地域のどんな世代とも一緒に過ごすことができ、少し見守りを依頼できる仕組みの確立。
東条	道路が狭かったり、公園が無かったり子供達だけで遊べる場所が少なすぎます。近くのお友達の家でさえ車が危なくて年長でも1人では行かせられません。通学路も歩道が狭い。ベビーカーで散歩してても、狭いガタガタ道を行くしかなく車が近いです。
鴨川	歩道が少ないのでベビーカーや幼児が安心して歩ける道を増やしてほしい。
鴨川	災害面で地震や津波への対策、安全な避難場所があまりないことが不安でした。特に海側に住んでいたのが津波への対策が充実していただけるともっと安心できるかと思えます。

【5 特別な配慮が必要な児童への対応】

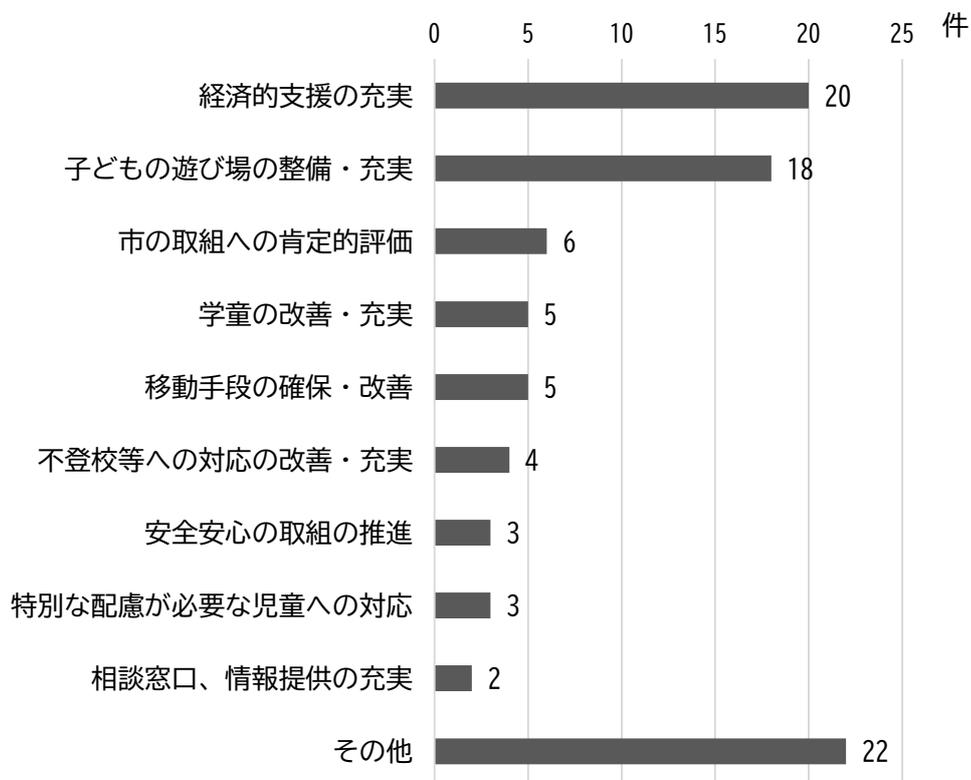
地区名	意見
西条	<p>ふれあいセンターにはとてもお世話になっています。以前住んでいた茂原市では疎かにされているとひしひしと感じる対応をされていましたが、鴨川市に越してきてから障害を持った親子も孤立しないようにと、とても親身になって対応してくださっていると感じています。障害を理由に保育園には入れなかったのは家族全員で悲しみましたが、高齢化が進んでおり、建物も古く対応しきれないのも分かるので仕方ないと感じています。ただ、入れないとすると仕事も就学するまで出来ないのでは生活がかなり厳しいです。そこをフォローして貰える支援があるととても助かります。</p> <p>園庭開放もされていると聞きますが、我が家のように障害のある子がいるとバギーで移動になるので邪魔になるのではないかと、そもそもバギーで園庭に入っても良いのか？と中々ハードルが高く外に出れずにいます。公園があれば気軽に行けるので小さい子ども遊べるような固定遊具がある公園が出来たらなと日々思います。</p>
東条	<p>西条認定こども園の保育の質が高く、市と連携してくださり安心して利用しています。保育所等訪問でそらいろの先生と園の先生が連携してくださり助かっています。障害がある子どもが放課後や長期休暇に学童のように長時間過ごせる場所が欲しいです。もしくは学童で障害がある子どもを受け入れてほしいです。</p>
鴨川	<p>市が子供たち（自閉症スペクトラムの特別な子供たちでも）をサポートできる施設を開設することがあれば、参加したいと思っています。ありがとう。</p>
鴨川	<p>ふれあいセンターへ子供の発達の相談をしても、支援を受けれるまでに時間がかかりすぎる（1年弱）。</p> <p>また、認定こども園に発達について相談してもそらいろさん任せで具体的なアドバイスがない。こちらはどうしたら良いか分からないので先生や保健師さんに相談しているが、結局具体的な回答はなし。</p> <p>こども園の方針、先生のやり方にすんなり従えない子供は否定されているように感じる。</p> <p>もう鴨川市は頼れないと思った。そらいろさんも入所者がいっぱいなようで最初の面談までに時間がかかるので、療育施設を増やした方が良いと思う。</p>
鴨川	<p>子どもに発達の遅れがあり、生後半年から療育を受けています。ですが、年々予約が取りづらくなっています。市内のいろいろな所に連絡をとっていますが、予約をとるのがとても大変です。もっと利用しやすくなればなあと思います。</p>
太海	<p>特性があり障がいを持つ我が子を育てるのは楽ではなく頼り先がないこともあり毎日が孤育の日々です… 本当はもっとサポートが欲しいです。でも、誰に、どこに、なんて…頼ったら良いのかも分からず夫が仕事から帰って来る時間がとても長く感じます。</p>

2 小学生児童保護者の自由意見

2. 1 自由意見の傾向

小学生の保護者の61人から自由意見が寄せられました。意見内容ごとに、全部で88件の意見に分類しました。

最も多かった内容は、「経済的支援の充実」で20件となっています。次いで、「子どもの遊び場の整備・充実」18件、「市の取組への肯定的意見」6件、「学童の改善・充実」5件、「移動手段の確保・改善」5件、「不登校等への対応の改善・充実」と続いています。



2. 2 内容別自由意見

以下に、自由意見を内容により分類し、多い項目から順に5項目と、「市の取組への肯定的評価」を合わせた計6項目について掲載しています。それぞれの項目では、具体的に言及されている代表的な意見を選び数件から20件程度掲載しています。

掲載にあたり、それぞれの項目の内容と無関係の部分は基本的に割愛していますが、文章がつながっている場合などは無理に編集をせず、別項目の内容が含まれていることもあります。また、同じ方の意見が別項目として一部重複して再掲されている場合もあります。

個人が特定されるような記述や誹謗中傷と受け取れる記述は編集しています。

【1 経済的支援の充実】

地区名	意見
田原	(子どもに障害があるため) 本来ならば母親が仕事を辞めるか時短して子供の養育を優先すべきと思うが、それでは生活が成り立たない。ひとり親家庭や生活保護受給者、非課税世帯に対しての補償に比べて、本当に支援が必要な子供や家庭に対する国や市のサービスや金銭的な援助、相談窓口が乏しいのは何故か。働けば働くほど世帯収入額ばかりが増え、その分税金やサービス利用時の料金が上がるシステムでは益々子育て支援サービスを利用するハードルが上がる。高齢化や少子化問題ばかりが取り沙汰されているが、子供は産んだら終わりではない。
田原	ひとり親家庭に対しての支援が少なすぎると感じる。フルタイムで働かないと経済的に厳しくなるが、収入が増えると児童扶養手当が減らされたりするのはどうかと思います。他の自治体である様なひとり親世帯に対しての補助を手厚くするべきです(家賃補助や公共料金の補助など他の自治体はあると聞いてます)。経済的に厳しいと子供がやりたいと思う事を我慢させないといけない状況になります。鴨川市は、そこはまだまだ見直しをする必要があると思います。
西条	学業支援、大学までの教育資金の援助。
西条	給食費の無償化。他の市では無償化が進んでいるのに何故なのか疑問。 昔からだけど夏休み前や冬休み前など、1ヶ月も給食が無い月なども同じ費用なのも疑問。できないなら支援金を増やすべき。鴨川市よりも他の市の方が手厚いイメージ。 学童に関して、途中から値上げになり2~3時間預けてあの料金は厳しい。高い。長期利用は月額~で、夏休み冬休みのみの利用は高値というシステムも疑問。認定子供園のように、1日単位、1日料金で利用できるようになればありがたい。
西条	赤ちゃんや未就学児に手当などが多少充実しているが、年齢は関係ないと思います。中学生高校生の方がより家庭への負担が多いのに手当などが少ない。子ども手当などもそうです。 また、所得が多い少ないに関わらず、税金はきちんと納めているのに所得が多いと諸手当の所得制限で引かかる。ひとり親世帯でも裕福に暮らしている人がなぜかいる。ひとり親や低所得の人ばかり優遇される。こんなに物価上昇しているのにどの世帯も平等だと思います。これでは子どもの数も増えません。

東条	<p>子供が3人いても低所得者の子供だけ支援金がもらえて普通の人には支援金がこないのは不公平だと思う。</p> <p>中学生や高校生になれば小学生よりお金がかかるので給付金を出してもらいたい。</p> <p>予防接種も助成してもらいたい。</p> <p>児童手当の子供3人目の数え方も実際子供が3人いても1人が高校卒業してしまえば3人目は2人目になってしまい貰えるお金も全然違ってしまうので、1人卒業しても3人目として扱ってもらいたい。</p> <p>今年から高校生も医療費が無料になるので助かりました。もう少し子供に対する支援金を考えてもらいたいです。</p>
東条	<p>子育てをしているご家庭が多い中、鴨川市は特に経済的な支援がかなり少ない。勝浦市などは、出産後のオムツ引き換え券、ゴミ袋の配布など支援がある。なぜ鴨川市は何もないのか。もっと子育て支援を手厚くするべき。</p>
鴨川	<p>給食費無料になるとよいと思う。</p>
鴨川	<p>高校生まで医療費を助成していただき、大変助かります。大学生の子どもがいるため、仕送りが大変な状況です。3人目の給食費無料も助かります。これからもお願いしたいです。</p>
大山	<p>子育てにはかなりお金がかかるので児童手当や受給券などを高校生まで延長。第3子からの補助金だけではなく、第2子から補助金があると出産や子育てもしやすいと思います。</p>
吉尾	<p>今後、高校生になると市内には大学に進学出来るレベルの高校が市内に無いため、市外の高校に通うのに費用がかかる。交通費などの支援があればいいと思います。</p>
主基	<p>児童手当の金額あげてほしい。給食費も第3子から無償じゃなくて安くして皆が払えばいいと思う。</p>
主基	<p>住宅手当や通学の際の交通費の補助などもう少し経済的支援があると本当に助かります。バスも通学下校に合わせて便を増やして頂きたいです。</p>
江見	<p>生活や教育費の経済的補助があると助かります。塾は料金が高いので、低料金や無料で、勉強をみて頂ける場があるといいと思います。</p>
曾呂	<p>家を無償提供など、学童保育、保育園に誰でも無料で入れるなど、習い事の経済援助など、経済的に子育てが楽な仕組みを作れば、鴨川の豊かな自然に魅了された若い人たちが、移住してくるのでは？ とにかく子どもが多い地域は子育てしやすそう。</p>
天津	<p>子ども手当を中学生以上も引続き支給してほしい。国や市で補助金がとれたら子育て世帯の給付金にまわしてほしい。</p>

【2 子どもの遊び場の整備・充実】

地区名	意見
田原	<p>緑豊かな広い公園が欲しい。</p> <p>田んぼばかりが多く子供が遊べるスペースがない。東京と比べても東京のほうが子供が遊べる環境が整っている。せっかく自然が多くても子供は家を出ずテレビゲームばかりに熱中してるのが現状です。</p>
田原	<p>感覚過敏があり、外遊びが苦手なので、室内で身体を動かす遊び場があったら、嬉しいです。</p>
鴨川	<p>休日など遊ぶ場所に困る事がよくあるので、鴨川から脱出する事がある。観光客など大人のためのお店や施設は出来てきたのかもしれないが、それなら大きな公園を作ってほしい。</p>
鴨川	<p>こども園、小学校の施設の老朽化がはげしいのに、直す事をしない。大学跡地の新しい施設を使用したらどうか。中途半端な公園しかなくて、子供が遊ぶ場所もない。こんな鴨川市なのに子育て支援をする気があるとは思えない。</p>
鴨川	<p>鴨川市には子供が遊べる場所が少なすぎる。雨の日でも遊べる室内の施設があったらいいと思う。</p> <p>例:福島県喜多方市にある「屋内子ども遊び場 めごぷらざ」みたいな施設。</p> <p>あと、遊具がたくさんあったり、アスレチックなどができる公園ができて欲しい。</p>
鴨川	<p>子ども達の就園前は、本当に毎日毎日行く場所に困りました。公園と子育て支援センターへ行きましたが、館山市くらい支援センターが大きくなると、もう少し子育てしやすくなると思いますし、子育て世代も増えると思います。</p>
鴨川	<p>子供が伸び伸び自由に楽しめる場所がない。</p>
小湊	<p>大型遊具などのある公園や室内で遊べる子供の施設があると良いとおもいます。</p>
天津	<p>子どもが大きくなったので、あまり必要はありませんが、小さいうちは室内で遊ばせる施設があったらいいなと思っていました。お母さんたちと話をしながら子どもたちも遊べる室内施設があったらよかったです。</p>
無回答	<p>子育て、子どもが使用できる公園がない。海岸の公園、一戦場くらいしか思いつかないです。公園の充実。ここから母親たちのつながりも生まれ、子育ての悩みなど相談できるコミュニティがつけれると思います。市民会館、プール跡地は、市民が楽しく使える公園の拡大を求めます。インフラの充実がないのは残念です。</p>

【3 市の取組への肯定的意見】

地区名	意見
西条	病気がちで通院多く、大学病院まで行ってます。医療費助成制度、高校生までとなりともうれしく思います。ありがとうございます。
東条	今年から高校生も医療費が無料になるので助かりました。もう少し子供に対する支援金を考えてもらいたいです。
鴨川	子どもの医療費が無料なのは、とてもとてもありがたいです。
江見	医療費を鴨川市でもっていただけるのでとても助かります。
曾呂	いつもありがとうございます。おかげさまで楽しく子育てできています。鴨川市の支援等のおかげで親子二人きちんと生活できております。感謝しています。
天津	鴨川市子ども手当や医療費免除等は助かる家庭が多いと思います。病気に罹患しやすい時期でもある幼少期に家庭での負担が軽減されることにより、子ども達に習い事やスポーツ等を学ぶ機会が持てます。

【4 学童の改善・充実】

地区名	意見
田原	都内では学童クラブは無料のところもあるのに子育て支援が手薄い。
西条	・学童の定員が低学年メインで受け付けているので、週1の利用とかの子供、利用頻度が少ない中・高学年でも、受け入れ枠を作って欲しい。(事前に利用日の確認はするとして) ・PTAや学校行事中の預け先が欲しい。
西条	学童に関して、途中から値上げになり2～3時間預けてあの料金は厳しい。高い。長期利用は月額で、夏休み冬休みのみの利用は高値というシステムも疑問。認定子供園のように、1日単位、1日料金で利用できるようなればありがたい。
鴨川	東条小の学童が良くて、児童が集中していると思う。市内の他の学童をもっと改善して欲しい。鴨小の学童は、外で遊べないので、改善して欲しい。長期利用の際、一度も外で遊べないから、行きたくないと子供も言ってるし、不健康だと思います。
主基	学童が1年生から利用できない家庭が多い。学童を増やしてほしい。

【5 移動手段の確保・改善】

地区名	意見
西条	土曜スクール、送迎ができないため行かせられず、両親仕事の為家で留守番していた。自分で歩いて、又は自転車で行く事がOKならいいなと思う。
東条	鴨川市は公共交通機関が限られているので、子供が習い事や塾に行くときに親が車で送らないといけない地域だと思います。共働きで、土日もある仕事があるので、習い事などの時間に合わせて送迎ができず、子どもがやりたい事をやらせてあげられません。学校や学童から習い事へ個別に送迎してくれる支援があったら嬉しいです。
大山	共働き世帯が多いため、土曜スクールなど参加したいと思っても、参加できない。送迎が負担になる。路線バスとかではなく子供専用バスがあってもいいと思う。チョイソコは年配利用者が多いので利用しづらい。チョイソコの1日の利用人数制限をもう少し改善してほしい。
主基	バスは、通学下校に合わせて便を増やして頂きたいです。
曾呂	山中の自宅付近には全く街灯がなく、上の子達が中学・高校の時、真っ暗な中、坂道をのぼって帰ってきました。野生動物もいるので本当に危険を感じていました。スクールバスが入れない地域に住んでいる子達は、公用車などで対応することはできないのでしょうか。

【6 不登校等への対応の改善・充実】

地区名	意見
鴨川	<p>不登校の子供が増えてきていると聞きます。どのような対策支援をしているか全くわかりません。金銭的に、私立は難しいので鴨川中学校に通うと思いますが、通わせることに不安もあります。</p>
鴨川	<p>不登校の子供に向けた支援がもう少し良くなれば良いと思います。</p>
鴨川	<p>不登校児への支援、もしくはフリースクールへの予算の充実をお願いしたいです。フリースクールは、学校生活へ不安を感じる子どもたちが、自分らしく過ごせる場所を提供してくださっています。しかしながら、市の予算を2月の市議会で見直し、支援を継続していくことに、十分な予算ではないと感じました。</p> <p>今年も、ステーション（フリースクール）に通いたいけれど、人数的に対応しきれないために、時間を午前だけなどで通所している子がいます。</p> <p>ステーションに繋がろうと思っても繋がれない子を支援する、救済する意図が市政に、市教委に感じられなくて、2月の市議会をYouTubeで見てもガッカリしました。未来ある子どもへの予算を、しっかりつけてほしいです。</p>
鴨川	<p>現在、発達障害の子供や不登校の子供が増えているように感じています。今後、保護者の相談機関の充実や、子供達の居場所作りは必要だと思います。また、学校と医療機関やフリースクールなどの連携も必要だと思います。</p>

Ⅱ-3 保護者アンケートの単純集計結果

1 就学前児童保護者

1. 1 回答者の基本的属性について

問1 居住地域...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	田原	30	8.4
2	西条	44	12.4
3	東条	93	26.1
4	鴨川	93	26.1
5	大山	7	2.0
6	吉尾	17	4.8
7	主基	12	3.4
8	江見	10	2.8
9	曾呂	12	3.4
10	太海	6	1.7
11	小湊	5	1.4
12	天津	24	6.7
	無回答	3	0.8
	全体	356	100.0

問2 本人年齢(2023年4月基準)...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	0歳	97	27.2
2	1歳	57	16.0
3	2歳	42	11.8
4	3歳	57	16.0
5	4歳	67	18.8
6	5歳	36	10.1
	無回答	0	0.0
	全体	356	100.0

問3 きょうだい数...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1人	87	38.7
2	2人	86	38.2
3	3人	45	20.0
4	4人	6	2.7
5	5人	1	0.4
	無回答	0	0.0
	全体	225	100.0

問3 末子年齢...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	0歳	98	43.6
2	1歳	38	16.9
3	2歳	25	11.1
4	3歳	22	9.8
5	4歳	27	12.0
6	5歳	15	6.7
	無回答	0	0.0
	全体	225	100.0

問4 回答者...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	母親	192	85.3
2	父親	33	14.7
3	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	225	100.0

問5 配偶関係...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	配偶者がいる	210	93.3
2	配偶者はいない	15	6.7
	無回答	0	0.0
	全体	225	100.0

問6 主な子育ての担い手...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	父母ともに	125	55.6
2	主に母親	95	42.2
3	主に父親	2	0.9
4	主に祖父母	2	0.9
5	その他	1	0.4
	無回答	0	0.0
	全体	225	100.0

問7 同居家族...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	3世代世帯(両親、子ども、祖父母が同居)	43	19.1
2	両親が同居、祖父母が市内に住んでいる	91	40.4
3	両親が同居、祖父母は市外に住んでいる	73	32.4
4	母親のみ同居(ひとり親世帯)	4	1.8
5	父親のみ同居(ひとり親世帯)	0	0.0
6	その他	14	6.2
	無回答	0	0.0
	全体	225	100.0

問8 経済的な状況(主観)...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	とてもゆとりがある	8	3.6
2	ややゆとりがある	20	8.9
3	普通	121	53.8
4	やや苦しい	59	26.2
5	とても苦しい	17	7.6
	無回答	0	0.0
	全体	225	100.0

問9 理想の子どもの人数...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1人	10	4.4
2	2人	115	51.1
3	3人	91	40.4
4	4人	6	2.7
5	5人	2	0.9
	無回答	1	0.4
	全体	225	100.0

問10 理想と実際の子どもの人数の差...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	一致している	94	41.8
2	理想の人数よりも少ない	102	45.3
3	理想の人数よりも多い	13	5.8
4	どちらともいえない	12	5.3
	無回答	4	1.8
	全体	225	100.0

問 10-1 理想の人数より少ない理由... (MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	今後、次の子を予定している	39	38.2
2	今の子ども数で満足している	6	5.9
3	経済的に余裕がない	53	52.0
4	塾や習い事の費用、将来の教育費の確保が難しい	38	37.3
5	住居や居室の確保などの住宅問題がある	25	24.5
6	自身や家族に病気や障がいがあり、先行きに不安がある	13	12.7
7	親等の介護のため	5	4.9
8	家庭よりも仕事優先の雇用慣行や企業風土がある	14	13.7
9	出産・育児、子育てに関する心身面での負担が重い	38	37.3
10	不妊治療にかかる費用や心身面での負担が重い	8	7.8
11	配偶者がいない、もしくは育児に非協力的で子育てが大変	12	11.8
12	子どもの送り迎えが大変	19	18.6
13	子育て家庭への支援や保育等サービスが十分ではない	37	36.3
14	保育施設や学校、病院などの子育て環境の整備が十分ではない	22	21.6
15	特になし	2	2.0
16	その他	4	3.9
	無回答	0	0.0
	全体	102	100.0

問 10-2 理想の人数より多い感想...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	家庭がにぎやかで楽しい	12	92.3
2	子どもたちの成長が楽しみ	11	84.6
3	上の子が下の子の面倒をみるなど兄弟姉妹がいることで助かる面が多い	11	84.6
4	子どもに怒りすぎて自己嫌悪に陥ってしまう	7	53.8
5	経済的に余裕がない	7	53.8
6	塾や習い事の費用、将来の教育費の確保が難しい	11	84.6
7	居室の確保や住宅ローンの返済などの住宅問題がある	2	15.4
8	配偶者がいない、もしくは育児に非協力的で子育てが大変	1	7.7
9	出産・育児、子育てに関する心身面での負担が重い	5	38.5
10	子どもの送り迎えが大変	7	53.8
11	進学の際の制服代や通学費などの費用がかさむ	9	69.2
12	自身や子どもが病気になったときが大変	12	92.3
13	子育て家庭への支援や保育等サービスが十分ではない	4	30.8
14	保育施設や学校、病院などの子育て環境の整備が十分ではない	4	30.8
15	特にない	0	0.0
16	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	13	100.0

問 11 子育てに関わっている人・施設...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	母親	211	93.8
2	父親	140	62.2
3	祖母	73	32.4
4	祖父	37	16.4
5	きょうだい	49	21.8
6	幼稚園	5	2.2
7	保育所（認可外・地域型含む）	15	6.7
8	認定こども園	126	56.0
9	その他	8	3.6
	無回答	0	0.0
	全体	225	100.0

問 12 子育てに影響する環境...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	家庭	163	72.4
2	地域	0	0.0
3	幼稚園	1	0.4
4	保育所（認可外・地域型含む）	5	2.2
5	認定こども園	56	24.9
6	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	225	100.0

問 13 子どもをみてもらえる親族・知人の有無...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	70	31.1
2	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	96	42.7
3	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	7	3.1
4	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	20	8.9
5	いずれもない	49	21.8
	無回答	2	0.9
	全体	225	100.0

問 13-1 子どもをみてもらっている状況（祖父母等）...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	65	39.6
2	祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	55	33.5
3	祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	52	31.7
4	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	50	30.5
5	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	30	18.3
6	その他	8	4.9
	無回答	0	0.0
	全体	164	100.0

問 13-2 子どもをみてもらっている状況（友人・知人）…(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	9	34.6
2	友人・知人の身体的負担が大きく心配である	2	7.7
3	友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	9	34.6
4	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	7	26.9
5	子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	1	3.8
6	その他	0	0.0
	無回答	7	26.9
	全体	26	100.0

問 14 子育て中の気持ち…(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	子どもがいると毎日楽しい	157	69.8
2	子育てをすることで自分も成長している	155	68.9
3	子育てが自分の生きがいになっている	99	44.0
4	子育てについて不安になったり悩むことがある	139	61.8
5	生活や気持ちにゆとりがないので、子育てにいらだつことがある	96	42.7
6	子どもを虐待しているのではないかと思うことがある	21	9.3
7	子育てから解放されたいと思うことがある	52	23.1
8	その他	4	1.8
	無回答	3	1.3
	全体	225	100.0

問 15 相談先の有無…(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	いる・ある	202	89.8
2	いない・ない	20	8.9
	無回答	3	1.3
	全体	225	100.0

問 15-1 相談先...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	祖父母等の親族	155	68.9
2	友人や知人など	138	61.3
3	近所や地域の人	17	7.6
4	子育て支援室	21	9.3
5	子ども支援課 家庭児童相談室	10	4.4
6	健康推進課・母子保健担当	5	2.2
7	教育支援センター（ステーション）	2	0.9
8	保育園	9	4.0
9	幼稚園	4	1.8
10	認定こども園	84	37.3
11	民生委員・児童委員	0	0.0
12	かかりつけの医師・病院	27	12.0
13	その他	7	3.1
14	相談できる相手はいない	0	0.0
	無回答	21	9.3
	全体	225	100.0

問 17(1) 【母親】就労状況...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	88	39.1
2	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	35	15.6
3	パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	55	24.4
4	パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	8	3.6
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	31	13.8
6	これまで就労したことがない	5	2.2
	無回答	3	1.3
	全体	225	100.0

問 17(2) 【父親】就労状況...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	200	93.9
2	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	5	2.3
3	パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	0	0.0
4	パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0	0.0
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	2	0.9
6	これまで就労したことがない	0	0.0
	無回答	6	2.8
	全体	213	100.0

問 17-1 【母親】就労日数...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1日	0	0.0
2	2日	4	2.2
3	3日	13	7.0
4	4日	18	9.7
5	5日	122	65.6
6	6日	20	10.8
7	7日	3	1.6
	無回答	6	3.2
	全体	186	100.0

問 17-1 【母親】就労時間（統合）SA...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1 時間	1	0.5
2	2 時間	1	0.5
3	3 時間	2	1.1
4	4 時間	8	4.3
5	5 時間	14	7.5
6	6 時間	17	9.1
7	7 時間	16	8.6
8	8 時間	66	35.5
9	9 時間	26	14.0
10	10 時間	16	8.6
11	11 時間	3	1.6
12	12 時間	2	1.1
13	13 時間	1	0.5
14	14 時間	0	0.0
15	15 時間以上	1	0.5
	無回答	12	6.5
	全体	186	100.0

問 17-1 【父親】就労日数...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1 日	0	0.0
2	2 日	0	0.0
3	3 日	1	0.5
4	4 日	1	0.5
5	5 日	122	59.5
6	6 日	71	34.6
7	7 日	10	4.9
	無回答	0	0.0
	全体	205	100.0

問 17-1 【父親】就労時間（統合）SA...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1 時間	0	0.0
2	2 時間	1	0.5
3	3 時間	1	0.5
4	4 時間	0	0.0
5	5 時間	1	0.5
6	6 時間	0	0.0
7	7 時間	6	2.9
8	8 時間	63	30.7
9	9 時間	46	22.4
10	10 時間	41	20.0
11	11 時間	17	8.3
12	12 時間	18	8.8
13	13 時間	5	2.4
14	14 時間	1	0.5
15	15 時間以上	5	2.4
	無回答	0	0.0
	全体	205	100.0

問 17-2 【母親】フルタイムへの転換希望...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	6	9.5
2	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	19	30.2
3	今の就労を続けることを希望	30	47.6
4	就労しないで子育てや家事に専念したい	3	4.8
	無回答	5	7.9
	全体	63	100.0

問 17-2 【父親】フルタイムへの転換希望...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	0	0.0
2	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	0	0.0
3	今の就労を続けることを希望	0	0.0
4	就労しないで子育てや家事に専念したい	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	0	0.0

問 18 【母親】未就労からの就労希望...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	10	27.8
2	1年より先、一番下の子どもがある程度の年齢になったら就労したい	17	47.2
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	7	19.4
	無回答	2	5.6
	全体	36	100.0

問 18 【母親】就労希望時期（子どもの年齢）...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1歳	0	0.0
2	2歳	2	11.8
3	3歳	5	29.4
4	4歳	3	17.6
5	5歳	0	0.0
6	6歳	3	17.6
7	7歳	2	11.8
8	8歳	0	0.0
9	9歳	0	0.0
10	10歳	0	0.0
11	11歳	0	0.0
12	12歳	0	0.0
	無回答	2	11.8
	全体	17	100.0

問 18 【父親】未就労からの就労希望...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1	50.0
2	1年より先、一番下の子どもがある程度の年齢になったら就労したい	0	0.0
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	0	0.0
	無回答	1	50.0
	全体	2	100.0

問 18 【父親】就労希望時期(子どもの年齢)...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1歳	0	0.0
2	2歳	0	0.0
3	3歳	0	0.0
4	4歳	0	0.0
5	5歳	0	0.0
6	6歳	0	0.0
7	7歳	0	0.0
8	8歳	0	0.0
9	9歳	0	0.0
10	10歳	0	0.0
11	11歳	0	0.0
12	12歳	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	0	0.0

問 19 【母親】未就労からの就労形態希望...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	フルタイムによる就労	2	7.7
2	パートタイム、アルバイト等による就労	19	73.1
	無回答	5	19.2
	全体	26	100.0

問 19 【母親】パートの場合の希望就労日数（週あたり）…(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1日	0	0.0
2	2日	0	0.0
3	3日	8	42.1
4	4日	5	26.3
5	5日	6	31.6
6	6日	0	0.0
7	7日	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	19	100.0

問 19 【母親】パートの場合の希望就労時間（1日あたり）…(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1時間	0	0.0
2	2時間	0	0.0
3	3時間	0	0.0
4	4時間	4	21.1
5	5時間	7	36.8
6	6時間	6	31.6
7	7時間	1	5.3
8	8時間	1	5.3
9	9時間	0	0.0
10	10時間	0	0.0
11	11時間	0	0.0
12	12時間	0	0.0
13	13時間	0	0.0
14	14時間	0	0.0
15	15時間以上	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	19	100.0

問 19 【父親】未就労からの就労形態希望...(SA)

該当者なし

問 19 【父親】パートの場合の希望就労日数(週あたり)...(SA)

該当者なし

問 19 【父親】パートの場合の希望就労時間(1日あたり)...(SA)

該当者なし

問 20 定期的な教育・保育事業の利用状況...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	利用している	166	73.8
2	利用していない	59	26.2
	無回答	0	0.0
	全体	225	100.0

問 20-1 利用している教育・保育事業の種類...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	認定こども園	152	91.6
2	幼稚園(通常の就園時間の利用)	4	2.4
3	幼稚園の預かり保育(延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	2	1.2
4	認可保育所	0	0.0
5	小規模保育施設	1	0.6
6	家庭的保育	0	0.0
7	事業所内保育施設	9	5.4
8	その他の認可外の保育施設	1	0.6
9	居宅訪問型保育	0	0.0
10	ファミリー・サポート・センター	0	0.0
11	その他	1	0.6
	無回答	0	0.0
	全体	166	100.0

問 20-2 【母親】教育・保育事業の利用日数（週あたり）…(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1日	1	0.6
2	2日	2	1.2
3	3日	2	1.2
4	4日	2	1.2
5	5日	155	93.4
6	6日	3	1.8
7	7日	0	0.0
	無回答	1	0.6
	全体	166	100.0

問 20-2 【母親】教育・保育事業の利用時間（1日あたり）…(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1時間	0	0.0
2	2時間	1	0.6
3	3時間	1	0.6
4	4時間	1	0.6
5	5時間	14	8.4
6	6時間	8	4.8
7	7時間	31	18.7
8	8時間	45	27.1
9	9時間	25	15.1
10	10時間	32	19.3
11	11時間	6	3.6
12	12時間	1	0.6
13	13時間	0	0.0
14	14時間	0	0.0
15	15時間以上	0	0.0
	無回答	1	0.6
	全体	166	100.0

問 20-2 【母親】教育・保育事業の利用開始時間...(S A)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	6 時台	0	0.0
2	7 時台	36	21.7
3	8 時台	75	45.2
4	9 時台	51	30.7
5	10 時台	2	1.2
6	11 時台	0	0.0
7	12 時台	0	0.0
8	13 時台	0	0.0
9	14 時台	0	0.0
10	15 時台	1	0.6
11	16 時台	0	0.0
12	17 時台	0	0.0
	無回答	1	0.6
	全体	166	100.0

問 20-2 【母親】教育・保育事業の利用終了時間...(S A)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	11 時台	0	0.0
2	12 時台	1	0.6
3	13 時台	0	0.0
4	14 時台	16	9.6
5	15 時台	9	5.4
6	16 時台	61	36.7
7	17 時台	36	21.7
8	18 時台	41	24.7
9	19 時台	1	0.6
10	20 時台	0	0.0
11	21 時台	0	0.0
12	22 時台	0	0.0
	無回答	1	0.6
	全体	166	100.0

問 20-2 【父親】教育・保育事業の利用日数（週あたり）…(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1日	0	0.0
2	2日	1	0.6
3	3日	1	0.6
4	4日	7	4.2
5	5日	140	84.3
6	6日	5	3.0
7	7日	0	0.0
	無回答	12	7.2
	全体	166	100.0

問 20-2 【父親】教育・保育事業の利用時間（1日あたり）…(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1時間	0	0.0
2	2時間	1	0.6
3	3時間	0	0.0
4	4時間	0	0.0
5	5時間	11	6.6
6	6時間	6	3.6
7	7時間	28	16.9
8	8時間	40	24.1
9	9時間	21	12.7
10	10時間	26	15.7
11	11時間	15	9.0
12	12時間	4	2.4
13	13時間	0	0.0
14	14時間	1	0.6
15	15時間以上	0	0.0
	無回答	13	7.8
	全体	166	100.0

問 20-2 【父親】教育・保育事業の利用開始時間...(S A)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	6時台	1	0.6
2	7時台	41	24.7
3	8時台	68	41.0
4	9時台	41	24.7
5	10時台	2	1.2
6	11時台	0	0.0
7	12時台	0	0.0
8	13時台	0	0.0
9	14時台	0	0.0
10	15時台	0	0.0
11	16時台	1	0.6
12	17時台	0	0.0
	無回答	12	7.2
	全体	166	100.0

問 20-2 【父親】教育・保育事業の利用終了時間...(S A)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	11時台	0	0.0
2	12時台	0	0.0
3	13時台	0	0.0
4	14時台	10	6.0
5	15時台	6	3.6
6	16時台	48	28.9
7	17時台	30	18.1
8	18時台	44	26.5
9	19時台	14	8.4
10	20時台	1	0.6
11	21時台	0	0.0
12	22時台	0	0.0
	無回答	13	7.8
	全体	166	100.0

問 20-3 利用場所（市内/市外）…（SA）

No.	カテゴリー名	人数	%
1	市内	161	97.0
2	他の市町村	4	2.4
	無回答	1	0.6
	全体	166	100.0

問 20-4 教育・保育事業を利用していない理由…（MA）

No.	カテゴリー名	人数	%
1	利用する必要がない	20	33.9
2	子どもの祖父母や親戚の人がみている	6	10.2
3	近所の人や父母の友人・知人がみている	0	0.0
4	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	4	6.8
5	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	0	0.0
6	使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	1	1.7
7	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	4	6.8
8	子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている	30	50.8
9	その他	10	16.9
	無回答	0	0.0
	全体	59	100.0

問 20-4 教育・保育事業の利用開始時期（子どもの年齢）…（SA）

No.	カテゴリー名	人数	%
1	0歳	2	6.7
2	1歳	11	36.7
3	2歳	7	23.3
4	3歳	8	26.7
5	4歳	2	6.7
6	5歳	0	0.0
7	6歳	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	30	100.0

問 20-5 こども誰でも通園制度の利用希望…（SA）

No.	カテゴリー名	人数	%
1	利用したい	53	89.8
2	利用しない	6	10.2
	無回答	0	0.0
	全体	59	100.0

問 21 利用したい教育・保育事業の種類…（MA）

No.	カテゴリー名	人数	%
1	認定こども園	198	88.0
2	幼稚園（通常の就園時間の利用）	29	12.9
3	幼稚園の預かり保育（延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	22	9.8
4	認可保育所	13	5.8
5	小規模保育施設	7	3.1
6	家庭的保育	3	1.3
7	事業所内保育施設	16	7.1
8	その他の認可外の保育施設	2	0.9
9	居宅訪問型保育	11	4.9
10	ファミリー・サポート・センター	13	5.8
11	その他	3	1.3
	無回答	4	1.8
	全体	225	100.0

問 21-1 利用したい場所（市内/市外）…（SA）

No.	カテゴリー名	人数	%
1	市内	214	95.1
2	他の市町村	6	2.7
	無回答	5	2.2
	全体	225	100.0

問 21-2 特に幼稚園を希望するか…（SA）

No.	カテゴリー名	人数	%
1	はい	19	63.3
2	いいえ	9	30.0
	無回答	2	6.7
	全体	30	100.0

問 22 子育て支援室の利用状況…（MA）

No.	カテゴリー名	人数	%
1	利用している	55	24.4
2	その他鴨川市で実施している類似の事業	1	0.4
3	利用していない	172	76.4
	無回答	0	0.0
	全体	225	100.0

問 23 子育て支援室の今後の利用希望…（SA）

No.	カテゴリー名	人数	%
1	利用していないが、今後利用したい	49	21.8
2	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	33	14.7
3	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	136	60.4
	無回答	7	3.1
	全体	225	100.0

問 24 事業の認知度、利用経験、今後の利用希望

		知っている	利用したことがある	今後利用したい
子育て世帯応援事業（鴨川シーワールドの年間パスポートの引換券配布）	%	91.6	64.0	20.0
	人数	206	144	45
フッ化物洗口	%	79.1	43.6	27.6
	人数	178	98	62
トワイライト	%	51.6	1.8	17.3
	人数	116	4	39
ショートステイ	%	46.2	1.3	13.8
	人数	104	3	31
地域子育て支援室	%	83.6	40.9	18.7
	人数	188	92	42
こども発達支援センター 鴨川そらいろ	%	52.0	4.9	11.6
	人数	117	11	26

問 25(1) 土曜日の教育・保育事業の利用希望...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	利用する必要はない	96	42.7
2	ほぼ毎週利用したい	49	21.8
3	月に1～2回は利用したい	79	35.1
	無回答	1	0.4
	全体	225	100.0

問 25(2) 日曜・祝日の教育・保育事業の利用希望...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	利用する必要はない	131	58.2
2	ほぼ毎週利用したい	16	7.1
3	月に1～2回は利用したい	75	33.3
	無回答	3	1.3
	全体	225	100.0

問 25-1 たまに利用したい理由...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	月に数回仕事が入るため	73	74.5
2	平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	35	35.7
3	親族の介護や手伝いが必要なため	4	4.1
4	息抜きのため	36	36.7
5	その他	4	4.1
	無回答	0	0.0
	全体	98	100.0

問 26 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	利用する必要はない	0	0.0
2	休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	2	22.2
3	休みの期間中、週に数日利用したい	6	66.7
	無回答	1	11.1
	全体	9	100.0

問 26-1 たまに利用したい理由...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	週に数回仕事が入るため	2	33.3
2	買い物等の用事をまとめて済ませるため	5	83.3
3	親族の介護や手伝いが必要なため	0	0.0
4	息抜きのため	3	50.0
5	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	6	100.0

問 27 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった経験の有無...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	あった	144	64.0
2	なかった	21	9.3
	無回答	60	26.7
	全体	225	100.0

問 27-1 利用できなかった場合の対処法...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	父親が休んだ	55	38.2
2	母親が休んだ	127	88.2
3	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	46	31.9
4	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	10	6.9
5	病児・病後児の保育を利用した	21	14.6
6	ベビーシッターを利用した	3	2.1
7	ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0.0
8	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3	2.1
9	その他	3	2.1
	無回答	0	0.0
	全体	144	100.0

問 27-2 病児・病後児のための保育施設の利用希望...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	63	48.5
2	利用したいとは思わない	67	51.5
	無回答	0	0.0
	全体	130	100.0

問 27-3 病児・病後児保育の望ましい事業形態...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業	44	69.8
2	小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	51	81.0
3	地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業	11	17.5
4	その他	1	1.6
	無回答	0	0.0
	全体	63	100.0

問 27-4 病児・病後児保育施設の利用を希望しない理由...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	32	47.8
2	地域の事業の質に不安がある	2	3.0
3	地域の事業の利便性がよくない	16	23.9
4	利用料がかかる・高い	21	31.3
5	利用料がわからない	8	11.9
6	親が仕事を休んで対応する	35	52.2
7	その他	4	6.0
	無回答	4	6.0
	全体	67	100.0

問 27-5 人に預けるとき「父母のいずれかが仕事を休んでみたい」...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	できれば仕事を休んでみたい	12	16.2
2	休んで看ることは非常に難しい	8	10.8
	無回答	54	73.0
	全体	74	100.0

問 27-6 休んでみるのが難しい理由...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	子どもの看護を理由に休みがとれない	2	25.0
2	自営業なので休めない	2	25.0
3	休暇日数が足りないので休めない	2	25.0
4	その他	2	25.0
	無回答	0	0.0
	全体	8	100.0

問 28 一時預かりの事業の利用状況...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	保育所の一時預かり	33	14.7
2	幼稚園の預かり保育	13	5.8
3	ファミリー・サポート・センター	2	0.9
4	ベビーシッター	3	1.3
5	その他	1	0.4
6	利用していない	176	78.2
	無回答	2	0.9
	全体	225	100.0

問 28-1 利用していない理由...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	特に利用する必要がない	114	64.8
2	利用したい事業が地域にない	11	6.3
3	地域の事業の質に不安がある	12	6.8
4	地域の事業の利便性がよくない	17	9.7
5	利用料がかかる・高い	24	13.6
6	利用料がわからない	13	7.4
7	自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	32	18.2
8	事業の利用方法(手続き等)がわからない	26	14.8
9	その他	12	6.8
	無回答	1	0.6
	全体	176	100.0

問 29 一時預かりの利用希望...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	利用したい	133	59.1
2	利用する必要はない	90	40.0
	無回答	2	0.9
	全体	225	100.0

問 29-1 一時預かりの利用理由...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	私用、リフレッシュ目的	92	69.2
2	冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	92	69.2
3	不定期の就労	46	34.6
4	その他	6	4.5
	無回答	0	0.0
	全体	133	100.0

問 30 ショートステイ、トワイライトステイの利用希望...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	利用したい	63	28.0
2	利用する必要はない	159	70.7
	無回答	3	1.3
	全体	225	100.0

問 30-1 利用理由...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	冠婚葬祭	34	54.0
2	保護者や家族の育児疲れ・不安	28	44.4
3	保護者や家族の病気	46	73.0
4	その他	3	4.8
	無回答	1	1.6
	全体	63	100.0

問 31 学童の利用希望...(S A)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	利用したい	165	73.3
2	利用する必要はない	60	26.7
	無回答	0	0.0
	全体	225	100.0

問 31-1 希望利用日数...(S A)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1日	3	1.8
2	2日	5	3.0
3	3日	22	13.3
4	4日	10	6.1
5	5日	89	53.9
6	土曜日も含め6日	36	21.8
	無回答	0	0.0
	全体	165	100.0

問 31-2 希望学年...(S A)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1年生	3	1.8
2	2年生	7	4.2
3	3年生	45	27.3
4	4年生	34	20.6
5	5年生	5	3.0
6	6年生	71	43.0
	無回答	0	0.0
	全体	165	100.0

問 32 児童育成支援拠点事業の開設...(S A)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	開設(実施)すべき	210	93.3
2	開設(実施)の必要はない	14	6.2
	無回答	1	0.4
	全体	225	100.0

問 33 【母親】育児休業の取得経験...(S A)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	働いていなかった	48	21.3
2	取得した（育児休業中である）	158	70.2
3	取得していない	19	8.4
	無回答	0	0.0
	全体	225	100.0

問 33 【母親】取得しなかった理由... (MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	2	10.5
2	仕事が忙しかった	3	15.8
3	（産休後に）仕事に早く復帰したかった	3	15.8
4	仕事に戻るのが難しそうだった	0	0.0
5	昇給・昇格などが遅れそうだった	0	0.0
6	収入減となり、経済的に苦しくなりそうだった	0	0.0
7	保育所（園）などに預けることができた	0	0.0
8	配偶者が育児休業制度を利用した	0	0.0
9	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	0	0.0
10	子育てや家事に専念するため退職した	4	21.1
11	職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	0	0.0
12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	1	5.3
13	育児休業を取得できることを知らなかった	0	0.0
14	産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した	1	5.3
15	その他	5	26.3
	無回答	3	15.8
	全体	19	100.0

問 33 【父親】育児休業の取得経験...(S A)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	働いていなかった	1	0.4
2	取得した(育児休業中である)	41	18.2
3	取得していない	171	76.0
	無回答	12	5.3
	全体	225	100.0

問 33 【父親】取得しなかった理由...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	61	35.7
2	仕事が忙しかった	76	44.4
3	(産休後に)仕事に早く復帰したかった	1	0.6
4	仕事に戻るのが難しそうだった	7	4.1
5	昇給・昇格などが遅れそうだった	7	4.1
6	収入減となり、経済的に苦しくなりそうだった	53	31.0
7	保育所(園)などに預けることができた	3	1.8
8	配偶者が育児休業制度を利用した	58	33.9
9	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	21	12.3
10	子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0
11	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	16	9.4
12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	1	0.6
13	育児休業を取得できることを知らなかった	3	1.8
14	産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	0	0.0
15	その他	11	6.4
	無回答	14	8.2
	全体	171	100.0

問 33-1 【母親】取得後の職場復帰...(S A)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	育児休業取得後、職場に復帰した	114	72.2
2	現在も育児休業中である	30	19.0
3	育児休業中に離職した	9	5.7
	無回答	5	3.2
	全体	158	100.0

問 33-1 【父親】取得後の職場復帰...(S A)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	育児休業取得後、職場に復帰した	39	95.1
2	現在も育児休業中である	2	4.9
3	育児休業中に離職した	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	41	100.0

問 33-2 【母親】取得後の復帰時期...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が一緒だった	79	69.3
2	「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なった	34	29.8
	無回答	1	0.9
	全体	114	100.0

問 33-2 【父親】取得後の復帰時期...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が一緒だった	31	79.5
2	「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なった	6	15.4
	無回答	2	5.1
	全体	39	100.0

問 33-3(1) 【母親】希望より早く復帰した理由...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	希望する保育所に入るため	10	29.4
2	配偶者や家族の希望があったため	1	2.9
3	経済的な理由で早く復帰する必要があるため	11	32.4
4	人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	10	29.4
5	その他	2	5.9
	無回答	7	20.6
	全体	34	100.0

問 33-3(1) 【父親】希望より早く復帰した理由...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	希望する保育所に入るため	1	16.7
2	配偶者や家族の希望があったため	0	0.0
3	経済的な理由で早く復帰する必要があった	2	33.3
4	人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	3	50.0
5	その他	1	16.7
	無回答	0	0.0
	全体	6	100.0

問 33-3(2) 【母親】希望より遅く復帰した理由...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	希望する保育所に入れなかったため	6	17.6
2	自分や子どもの体調が思わしくなかったため	0	0.0
3	配偶者や家族の希望があったため	1	2.9
4	職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	2	5.9
5	子どもをみてくれる人がいなかったため	3	8.8
6	その他	2	5.9
	無回答	21	61.8
	全体	34	100.0

問 33-3(2) 【父親】希望より遅く復帰した理由...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	希望する保育所に入れなかったため	0	0.0
2	自分や子どもの体調が思わしくなかったため	0	0.0
3	配偶者や家族の希望があったため	0	0.0
4	職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0	0.0
5	子どもをみてくれる人がいなかったため	1	16.7
6	その他	4	66.7
	無回答	1	16.7
	全体	6	100.0

問 34 鴨川市の評価...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	そう思う	23	10.2
2	どちらかというと思う	80	35.6
3	どちらかというとは思わない	58	25.8
4	そうは思わない	56	24.9
5	わからない	8	3.6
	無回答	0	0.0
	全体	225	100.0

問 34-1 子育てしやすい理由...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	認定こども園などに入所しやすい	70	68.0
2	認定こども園以外にも子育て支援が充実している	18	17.5
3	子育て世帯への経済支援が充実している	16	15.5
4	学校の教育水準が高い	3	2.9
5	学校環境が安心できる	13	12.6
6	きれいで住みやすい住宅が多い	12	11.7
7	子育て世帯向けの住宅が多い	5	4.9
8	鉄道やバス等の交通の便が良い	0	0.0
9	小児医療が充実している	42	40.8
10	発育・発達の悩みを相談できる場がある	13	12.6
11	子育ての悩みを気軽に相談できる場がある	16	15.5
12	公園やスポーツ施設が充実している	5	4.9
13	治安が良い	41	39.8
14	地域のつながりが強い	11	10.7
15	自然豊かである	68	66.0
16	特になし	0	0.0
17	その他	6	5.8
	無回答	0	0.0
	全体	103	100.0

問 34-2 子育てしにくい理由...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	認定こども園などに入所しづらい	33	28.9
2	認定こども園以外の子育て支援が充実していない	58	50.9
3	子育て世帯への経済支援が充実していない	76	66.7
4	学校の教育水準が低い	28	24.6
5	学校環境が安心できない	25	21.9
6	古く住みづらい住宅が多い	21	18.4
7	子育て世帯向けの住宅が少ない	31	27.2
8	鉄道やバス等の交通の便が良くない	64	56.1
9	小児医療が充実していない	17	14.9
10	発育・発達の悩みを相談できる場がない、少ない	21	18.4
11	子育ての悩みを気軽に相談できる場がない	27	23.7
12	公園やスポーツ施設が充実していない	100	87.7
13	治安が良くない	2	1.8
14	地域のつながりが弱い	16	14.0
15	自然豊かでない	2	1.8
16	特になし	1	0.9
17	その他	13	11.4
	無回答	0	0.0
	全体	114	100.0

2 小学生児童保護者

1. 1 回答者の基本的属性について

問1 回答者...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	母親	214	86.6
2	父親	29	11.7
3	その他	4	1.6
	無回答	0	0.0
	全体	247	100.0

問2 同居家族...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	3世代世帯(両親、子ども、祖父母が同居)	63	25.5
2	両親が同居、祖父母が市内に住んでいる	106	42.9
3	両親が同居、祖父母は市外に住んでいる	40	16.2
4	母親のみ同居(ひとり親世帯)	26	10.5
5	父親のみ同居(ひとり親世帯)	1	0.4
6	その他	11	4.5
	無回答	0	0.0
	全体	247	100.0

問3 【母親】就労状況...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	フルタイムで就労している	130	52.6
2	パートタイム、アルバイト等で就労している	94	38.1
3	以前は就労していたが、現在は就労していない	17	6.9
4	これまでに就労したことがない	0	0.0
	無回答	6	2.4
	全体	247	100.0

問3 【父親】就労状況...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	フルタイムで就労している	198	85.7
2	パートタイム、アルバイト等で就労している	4	1.7
3	以前は就労していたが、現在は就労していない	2	0.9
4	これまでに就労したことがない	0	0.0
	無回答	27	11.7
	全体	231	100.0

問3 その他...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	フルタイムで就労している	2	0.8
2	パートタイム、アルバイト等で就労している	3	1.2
3	以前は就労していたが、現在は就労していない	1	0.4
4	これまでに就労したことがない	0	0.0
	無回答	241	97.6
	全体	247	100.0

問4 居住地域...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	田原	20	8.1
2	西条	41	16.6
3	東条	54	21.9
4	鴨川	55	22.3
5	大山	5	2.0
6	吉尾	10	4.0
7	主基	8	3.2
8	江見	9	3.6
9	曾呂	9	3.6
10	太海	8	3.2
11	小湊	9	3.6
12	天津	18	7.3
	無回答	1	0.4
	全体	247	100.0

問5 居住状況...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	一戸建て(持ち家)	205	83.0
2	一戸建て(賃貸)	18	7.3
3	マンション(持ち家)	1	0.4
4	マンション・アパート(賃貸)	16	6.5
5	公営賃貸住宅	2	0.8
6	寮・社宅	3	1.2
7	その他	2	0.8
	無回答	0	0.0
	全体	247	100.0

問6 経済的状況(主観)...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	とてもゆとりがある	1	0.4
2	ややゆとりがある	17	6.9
3	普通	114	46.2
4	やや苦しい	73	29.6
5	とても苦しい	42	17.0
	無回答	0	0.0
	全体	247	100.0

問7 子どもの学年...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1年生	27	10.9
2	2年生	26	10.5
3	3年生	41	16.6
4	4年生	50	20.2
5	5年生	44	17.8
6	6年生	59	23.9
	無回答	0	0.0
	全体	247	100.0

問8 きょうだい人数...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1人	70	28.3
2	2人	101	40.9
3	3人	56	22.7
4	4人	13	5.3
5	5人	0	0.0
	無回答	7	2.8
	全体	247	100.0

問8 18歳未満のきょうだい人数...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	0人	49	19.8
2	1人	68	27.5
3	2人	75	30.4
4	3人	26	10.5
5	4人	4	1.6
6	5人	0	0.0
	無回答	25	10.1
	全体	247	100.0

問9 子育てに関わっている人...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	母親	237	96.0
2	父親	145	58.7
3	祖母	105	42.5
4	祖父	54	21.9
5	きょうだい	28	11.3
6	親戚	6	2.4
7	友人や知人など	4	1.6
8	近所や地域の人	2	0.8
9	その他	4	1.6
	無回答	0	0.0
	全体	247	100.0

問10 相談先...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	祖父母等の親族	173	70.0
2	友人や知人など	183	74.1
3	近所や地域の人	19	7.7
4	子ども支援課 家庭児童相談室	7	2.8
5	教育支援センター(ステーション)	16	6.5
6	小学校の先生	70	28.3
7	民生委員・児童委員	1	0.4
8	かかりつけの医師・病院	35	14.2
9	その他	9	3.6
10	相談できる相手はいない⇒ 問11へ	12	4.9
	無回答	0	0.0
	全体	247	100.0

問10-1 相談内容...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	基本的な生活習慣について	107	45.5
2	発育・発達について	65	27.7
3	病気・怪我について	70	29.8
4	家庭の問題について	32	13.6
5	教育・しつけについて	101	43.0
6	登校しぶり・不登校について	21	8.9
7	その他	15	6.4
	無回答	59	25.1
	非該当	12	
	全体	235	100.0

問10-2 相談の満足度...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	とても満足	34	14.5
2	やや満足	78	33.2
3	普通(どちらともいえない)	116	49.4
4	やや不満	4	1.7
5	とても不満	0	0.0
	無回答	3	1.3
	非該当	12	
	全体	235	100.0

問 11 子育ての悩み...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	子どもの健康のこと	83	33.6
2	子どもの発育、発達のこと	81	32.8
3	子どもの友達づきあいのこと	121	49.0
4	子ども同士のいじめのこと	30	12.1
5	子どもの言葉遣いや態度のこと	85	34.4
6	ゲーム、スマートフォン、タブレットに依存気味で、生活にも影響が出ていること	104	42.1
7	子どもと話す時間が十分にとれないこと	34	13.8
8	配偶者と子育てに関して話す時間が十分にとれないこと	17	6.9
9	経済的負担	88	35.6
10	子どもが犯罪に巻き込まれること	32	13.0
11	子どものことについて、地域の話し相手や相談相手がいないこと	4	1.6
12	子育てと、親（配偶者の親含む）などの介護・介助との両立のこと	17	6.9
13	悩んでいることや、気になることはない	21	8.5
14	その他	9	3.6
	無回答	2	0.8
	全体	247	100.0

問 12 子どもの状態...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	落ち着きがない	24	9.7
2	指示を聞く力が弱い	41	16.6
3	かんしゃく	24	9.7
4	暴力	7	2.8
5	自傷	5	2.0
6	眠らない	11	4.5
7	食べられない	2	0.8
8	パニックになる	5	2.0
9	外に出られない	5	2.0
10	極端に成績が悪い（テストで 20 点以下など）	9	3.6
	無回答	174	70.4
	全体	247	100.0

問 13 子育てに対する気持ち

		よくあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
子どもがいると、毎日の生活が楽しいと思う	%	57.9	38.9	2.8	0.4	0.0
	人数	143	96	7	1	0
子育てすることを通じて自分自身も成長すると思う	%	61.5	34.8	3.2	0.4	0.0
	人数	152	86	8	1	0
子育てすることで家族のきずなが強くなった	%	49.4	38.1	11.3	1.2	0.0
	人数	122	94	28	3	0
子育てに対して不安に思う	%	14.2	47.4	30.8	7.3	0.4
	人数	35	117	76	18	1
自分の時間など自分を犠牲にすることが大きいと思う	%	27.5	37.7	27.9	6.1	0.8
	人数	68	93	69	15	2
子どもがいると、生活や気持ちにゆとりがなくなると思う	%	7.7	29.6	44.5	17.8	0.4
	人数	19	73	110	44	1
子どもがいると、経済的に負担に思う	%	18.6	30.8	35.6	14.6	0.4
	人数	46	76	88	36	1
子どもを虐待しているのではないかと思う	%	1.2	7.7	35.6	55.1	0.4
	人数	3	19	88	136	1

問 14 子どもへの対応・態度

		何度もあった	1, 2度あった	まったくない	無回答
必要以上に大声でしかったことがある	%	36.4	44.1	19.4	0.0
	人数	90	109	48	0
しかった後に、すっきりしたことがある	%	2.4	10.5	87.0	0.0
	人数	6	26	215	0
子どもの人格を否定する言葉を使ったことがある	%	14.2	39.3	46.2	0.4
	人数	35	97	114	1
しつけのために叩いたことがある	%	9.7	46.2	44.1	0.0
	人数	24	114	109	0
食事を与えなかったことがある	%	0.0	0.8	99.2	0.0
	人数	0	2	245	0
子どもからの訴えを無視したことがある	%	4.5	30.8	64.8	0.0
	人数	11	76	160	0

問 15 学童利用の有無...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	利用している	57	23.1
2	利用していない	189	76.5
	無回答	1	0.4
	全体	247	100.0

問 15-1 学童の利用日数(週あたり)と利用時間(1日あたり)...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1日	7	12.3
2	2日	3	5.3
3	3日	9	15.8
4	4日	8	14.0
5	5日	22	38.6
6	6日	3	5.3
	無回答	5	8.8
	非該当	190	
	全体	57	100.0

問 15-1 平日の学童開始時間(何時台)...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	7時台	2	3.5
2	8時台	1	1.8
3	14時台	9	15.8
4	15時台	36	63.2
5	16時台	3	5.3
	無回答	6	10.5
	非該当	190	
	全体	57	100.0

問 15-1 平日の学童終了時間(何時台)...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	15時台	2	3.5
2	16時台	7	12.3
3	17時台	17	29.8
4	18時台	22	38.6
5	19時台	3	5.3
	無回答	6	10.5
	非該当	190	
	全体	57	100.0

問 15-1 土曜日の学童開始時間（何時台）…（SA）

No.	カテゴリー名	人数	%
1	7時台	5	8.8
2	8時台	3	5.3
3	9時台	2	3.5
	無回答	47	82.5
	非該当	190	
	全体	57	100.0

問 15-1 土曜日の学童終了時間（何時台）…（SA）

No.	カテゴリー名	人数	%
1	16時台	1	1.8
2	17時台	3	5.3
3	18時台	6	10.5
	無回答	47	82.5
	非該当	190	
	全体	57	100.0

問 15-2 学童の利用終了希望学年…（SA）

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1年生	1	1.8
2	2年生	2	3.5
3	3年生	7	12.3
4	4年生	8	14.0
5	5年生	5	8.8
6	6年生	34	59.6
	無回答	0	0.0
	非該当	190	
	全体	57	100.0

問 15-3 学童を利用していない理由...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	利用する必要がない	122	64.6
2	子どもの祖父母や親戚の人がみている	61	32.3
3	近所の人や父母の友人・知人がみている	1	0.5
4	利用したいが、定員に空きがない	4	2.1
5	高学年なので利用しづらい	11	5.8
6	利用したいが、経済的な理由で学童クラブを利用できない	9	4.8
7	利用したいが、時間帯の条件が合わない	10	5.3
8	利用したいが、事業の質や場所な、納得できる事業がない	8	4.2
9	その他	11	5.8
	無回答	2	1.1
	非該当	58	
	全体	189	100.0

問 16 学童の利用希望（長期休暇）...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1～2年生の間は利用したい	3	1.2
2	3～4年生になっても利用したい	25	10.1
3	5～6年生になっても利用したい	43	17.4
4	利用する必要はない	164	66.4
	無回答	12	4.9
	全体	247	100.0

問 16 長期休暇中の学童開始時間（何時台）...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	7時台	17	6.9
2	8時台	43	17.4
3	9時台	6	2.4
4	15時台	5	2.0
5	16時台	1	0.4
	無回答	175	70.9
	全体	247	100.0

問 16 長期休暇中の学童終了時間（何時台）…（SA）

No.	カテゴリー名	人数	%
1	15 時台	2	0.8
2	16 時台	6	2.4
3	17 時台	21	8.5
4	18 時台	35	14.2
5	19 時台	8	3.2
	無回答	175	70.9
	全体	247	100.0

問 17 子ども放課後の過ごす場所と日数…（MA）

No.	カテゴリー名	人数	%
1	自宅	158	64.0
2	祖父母宅や友人・知人宅	49	19.8
3	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	89	36.0
4	学童クラブ	45	18.2
5	その他（公民館、公園など）	50	20.2
	無回答	20	8.1
	全体	247	100.0

問 17 自宅（日数）…（SA）

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1 日	10	6.3
2	2 日	16	10.1
3	3 日	19	12.0
4	4 日	14	8.9
5	5 日	63	39.9
6	6 日	2	1.3
7	7 日	12	7.6
	無回答	22	13.9
	非該当	89	
	全体	158	100.0

問17 祖父母宅や友人・知人宅（日数）…(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1日	10	20.4
2	2日	15	30.6
3	3日	1	2.0
4	4日	0	0.0
5	5日	18	36.7
6	6日	0	0.0
7	7日	0	0.0
	無回答	5	10.2
	非該当	198	
	全体	49	100.0

問17 習い事（日数）…(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1日	15	16.9
2	2日	35	39.3
3	3日	15	16.9
4	4日	7	7.9
5	5日	6	6.7
6	6日	1	1.1
7	7日	0	0.0
	無回答	10	11.2
	非該当	158	
	全体	89	100.0

問17 学童（日数）…(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1日	3	6.7
2	2日	6	13.3
3	3日	13	28.9
4	4日	5	11.1
5	5日	16	35.6
6	6日	0	0.0
7	7日	0	0.0
	無回答	2	4.4
	非該当	202	
	全体	45	100.0

問 17 学童（利用終了時間）…(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	16時	2	4.4
2	17時	4	8.9
3	18時	14	31.1
4	19時	6	13.3
5	20時	1	2.2
	無回答	18	40.0
	非該当	202	
	全体	45	100.0

問 17 その他（日数）…(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1日	14	28.0
2	2日	15	30.0
3	3日	9	18.0
4	4日	2	4.0
5	5日	7	14.0
6	6日	0	0.0
7	7日	0	0.0
	無回答	3	6.0
	非該当	197	
	全体	50	100.0

問 18 子ども外出への不安…(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	歩道や信号がない通りが多く、安全に配慮がされていないこと	139	56.3
2	歩道の段差などが歩行や自転車の通行の妨げになっていること	60	24.3
3	交通機関や建物が子どもの移動に配慮されていないこと	52	21.1
4	暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪の被害にあわないか心配であること	137	55.5
5	特に不安に感じることはない	30	12.1
6	その他	27	10.9
	無回答	5	2.0
	全体	247	100.0

問 19 子ども外出への不安（事故や犯罪）…(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	小学校の登下校の際の交通事故	180	72.9
2	遊びや塾・習い事の行き帰りの際の交通事故	76	30.8
3	小学校の登下校の際の犯罪被害	133	53.8
4	遊びや塾・習い事の行き帰りの際の犯罪被害	57	23.1
5	繁華街などでの犯罪被害	22	8.9
6	公園など遊び場での犯罪被害	74	30.0
7	インターネットなどWEB上での犯罪被害	121	49.0
8	特に不安なこと、心配なことはない	16	6.5
9	その他	5	2.0
	無回答	2	0.8
	全体	247	100.0

問 20 子どもの安全対策…(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	住民に犯罪情報の提供を行い、自主防犯を促進すること	142	57.5
2	地域の安全マップを作成する	56	22.7
3	子どもに関わる関係機関・団体同士で情報交換を行う	89	36.0
4	学校付近や通学路でPTAや地域住民等と学校が連携した安全パトロール活動等を行う	91	36.8
5	子どもや親に対する防犯講習を行う	64	25.9
6	子ども110番の家等の防犯ボランティア活動を進める	66	26.7
7	被害にあった子どもや親へのカウンセリングなど立ち直りの支援を行う	58	23.5
8	防犯ブザーなどの配布・あっせんなどを行う	94	38.1
9	その他	7	2.8
	無回答	12	4.9
	全体	247	100.0

問 21 子どもの朝食回数...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	ほぼ毎日食べる	226	91.5
2	週に3～5回程度食べる	6	2.4
3	週に1～2回程度食べる	11	4.5
4	ほとんど食べない	4	1.6
	無回答	0	0.0
	全体	247	100.0

問 22 子どもとの夕食回数...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	ほぼ毎日一緒に食べる	216	87.4
2	週に3～5回程度一緒に食べる	25	10.1
3	週に1～2回程度一緒に食べる	6	2.4
4	いつも子どもだけで食べる	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	247	100.0

問 23 理想の子どもの人数...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	1人	12	4.9
2	2人	95	38.5
3	3人	126	51.0
4	4人	10	4.0
5	5人	2	0.8
	無回答	2	0.8
	全体	247	100.0

問 24 理想と実際の子どもの人数の差...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	一致している	119	48.2
2	理想の人数よりも少ない	104	42.1
3	理想の人数よりも多い	12	4.9
4	どちらともいえない	4	1.6
	無回答	8	3.2
	全体	247	100.0

問 24-1 理想の人数より少ない理由...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	今後、次の子を予定している	5	4.8
2	今の子ども数で満足している	13	12.5
3	経済的に余裕がない	45	43.3
4	塾や習い事の費用、将来の教育費の確保が難しい	38	36.5
5	住居や居室の確保などの住宅問題がある	16	15.4
6	自身や家族に病気や障がいがあり、先行きに不安がある	13	12.5
7	親等の介護のため	4	3.8
8	鴨川市は家庭よりも仕事優先の雇用慣行や企業風土がある	12	11.5
9	出産・育児、子育てに関する心身面での負担が重い	24	23.1
10	不妊治療にかかる費用や心身面での負担が重い	10	9.6
11	一人親であるため、もしくはパートナーが育児に非協力的で子育てが大変	23	22.1
12	子どもの、習い事等への送り迎えが大変	16	15.4
13	子育て家庭への支援や保育等サービスが十分ではない	15	14.4
14	保育施設や学校、医療体制など子育て環境の整備が十分ではない	12	11.5
15	特になし	6	5.8
16	その他	17	16.3
	無回答	0	0.0
	非該当	143	
	全体	104	100.0

問 24-2 理想の人数より多い感想...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	家庭がにぎやかで楽しい	9	75.0
2	子どもたちの成長が楽しみ	9	75.0
3	上の子が下の子の面倒をみるなど兄弟姉妹がいることで助かる面が多い	8	66.7
4	子どもに怒りすぎて自己嫌悪に陥ってしまう	6	50.0
5	経済的に余裕がない	9	75.0
6	塾や習い事の費用、将来の教育費の確保が難しい	9	75.0
7	居室の確保や住宅ローンの返済などの住宅問題がある	6	50.0
8	一人親であるため、もしくはパートナーが育児に非協力的で子育てが大変	0	0.0
9	出産・育児、子育てに関する心身面での負担が重い	2	16.7
10	子どもの、習い事等への送り迎えが大変	3	25.0
11	進学の際の制服代や通学費などの費用がかさむ	7	58.3
12	自身や子どもが病気になったときが大変	6	50.0
13	子育て家庭への支援や保育等サービスが十分ではない	3	25.0
14	保育施設や学校、医療体制など子育て環境の整備が十分ではない	2	16.7
15	特にない	0	0.0
16	その他	1	8.3
	無回答	0	0.0
	非該当	235	
	全体	12	100.0

問 25 鴨川市の評価...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	そう思う	20	8.1
2	どちらかというと思う	96	38.9
3	どちらかというとは思わない	72	29.1
4	そうは思わない	49	19.8
5	わからない	10	4.0
	無回答	0	0.0
	全体	247	100.0

問 25-1 子育てしやすい理由...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	認定こども園などに入所しやすい	61	52.6
2	認定こども園以外にも子育て支援が充実している	12	10.3
3	子育て世帯への経済支援が充実している	14	12.1
4	学校の教育水準が高い	4	3.4
5	学校環境が安心できる	36	31.0
6	きれいで住みやすい住宅地が整備されている	3	2.6
7	子育て世帯向けの住宅が多い	2	1.7
8	鉄道やバス等の交通の便が良い	2	1.7
9	小児医療が充実している	41	35.3
10	発育・発達の悩みを相談できる場がある	15	12.9
11	子育ての悩みを気軽に相談できる場がある	6	5.2
12	公園やスポーツ施設が充実している	5	4.3
13	治安が良い	52	44.8
14	地域のつながりが強い	20	17.2
15	自然豊かである	79	68.1
16	特になし	2	1.7
17	その他	3	2.6
	無回答	0	0.0
	非該当	131	
	全体	116	100.0

問 25-2 子育てしにくい理由...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	認定こども園などに入所しづらい	11	9.1
2	認定こども園以外の子育て支援が充実していない	30	24.8
3	子育て世帯への経済支援が充実していない	78	64.5
4	学校の教育水準が低い	28	23.1
5	学校環境が安心できない	15	12.4
6	古く住みづらい住宅地が多い	21	17.4
7	子育て世帯向けの住宅が少ない	25	20.7
8	鉄道やバス等の交通の便が良くない	73	60.3
9	小児医療が充実していない	20	16.5
10	発育・発達の悩みを相談できる場がない、少ない	28	23.1
11	子育ての悩みを気軽に相談できる場がない	16	13.2
12	公園やスポーツ施設が充実していない	95	78.5
13	治安が良くない	2	1.7
14	地域のつながりが弱い	15	12.4
15	自然豊かでない	1	0.8
16	特になし	0	0.0
17	その他	18	14.9
	無回答	0	0.0
	非該当	126	
	全体	121	100.0

問 26 事業の認知度、利用経験、今後の利用希望

		知っている	利用したことがある	今後利用したい
子育て世帯応援事業（鴨川シーワールドの年間パスポートの引換券配布）	%	36.0	2.0	41.7
	人数	89	5	103
フッ化物洗口	%	59.9	49.4	7.7
	人数	148	122	19
トワイライト	%	42.9	0.0	11.3
	人数	106	0	28
ショートステイ	%	38.9	0.0	11.7
	人数	96	0	29
子ども支援課 家庭児童相談室	%	52.2	4.5	8.9
	人数	129	11	22
地域子育て支援室	%	47.8	14.6	7.3
	人数	118	36	18
こども発達支援センター 鴨川そらいろ	%	54.7	8.9	6.5
	人数	135	22	16
土曜スクール	%	58.3	24.7	6.5
	人数	144	61	16

問 27 学校や家庭以外の居場所...(MA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	フリースクール	9	3.6
2	適応指導教室	3	1.2
3	習い事	88	35.6
4	医療機関	22	8.9
5	子どもの友人・知人の家	94	38.1
6	親戚の家	88	35.6
7	療育機関	9	3.6
8	その他	12	4.9
9	なし	55	22.3
	無回答	4	1.6
	全体	247	100.0

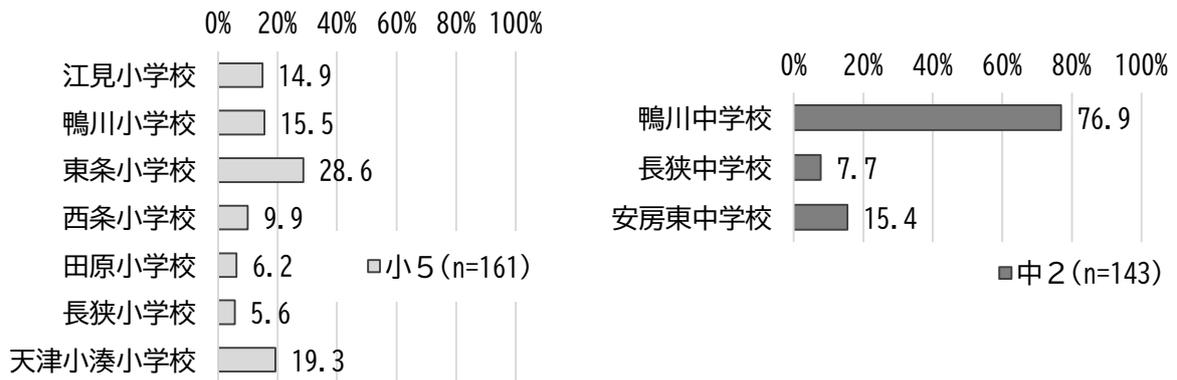
問 28 児童育成支援拠点事業の実施について...(SA)

No.	カテゴリー名	人数	%
1	開設（実施）すべき	191	77.3
2	開設（実施）の必要はない	42	17.0
	無回答	14	5.7
	全体	247	100.0

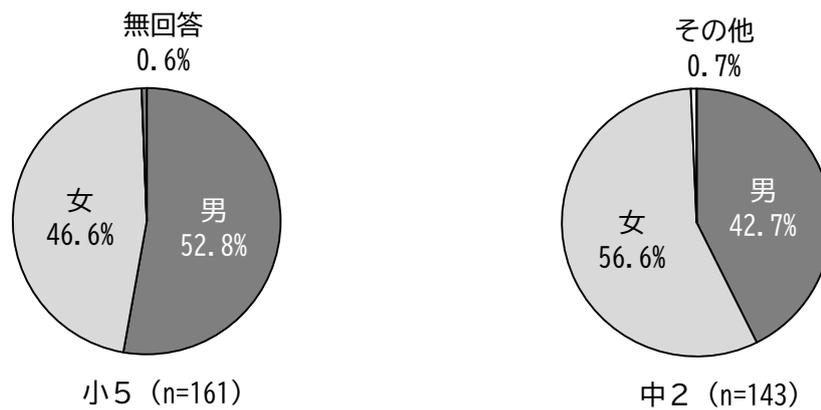
Ⅲ 小中学生アンケートの結果

1 回答者の属性【小5】【中2】

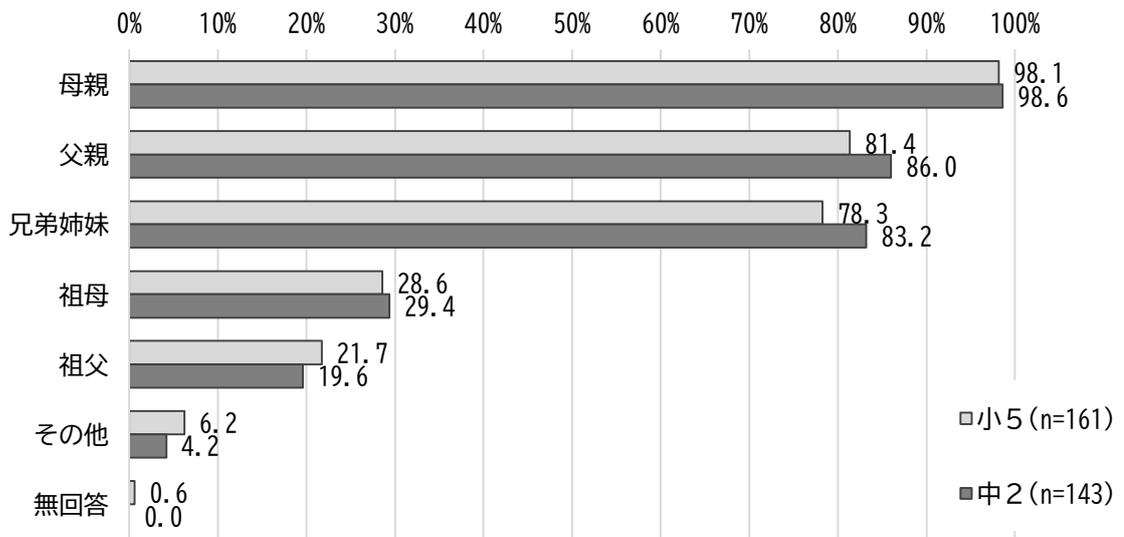
■学校別（問1）



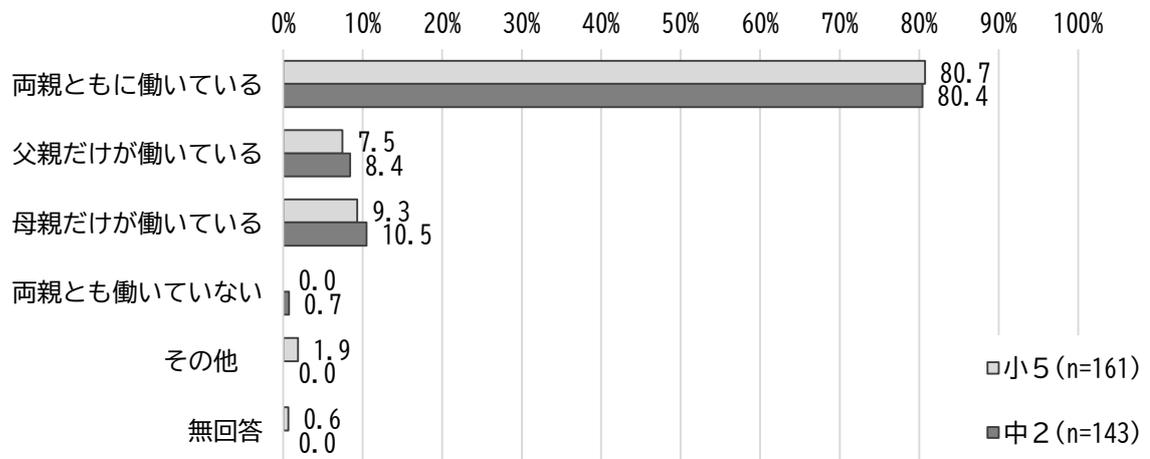
■性別（問2）



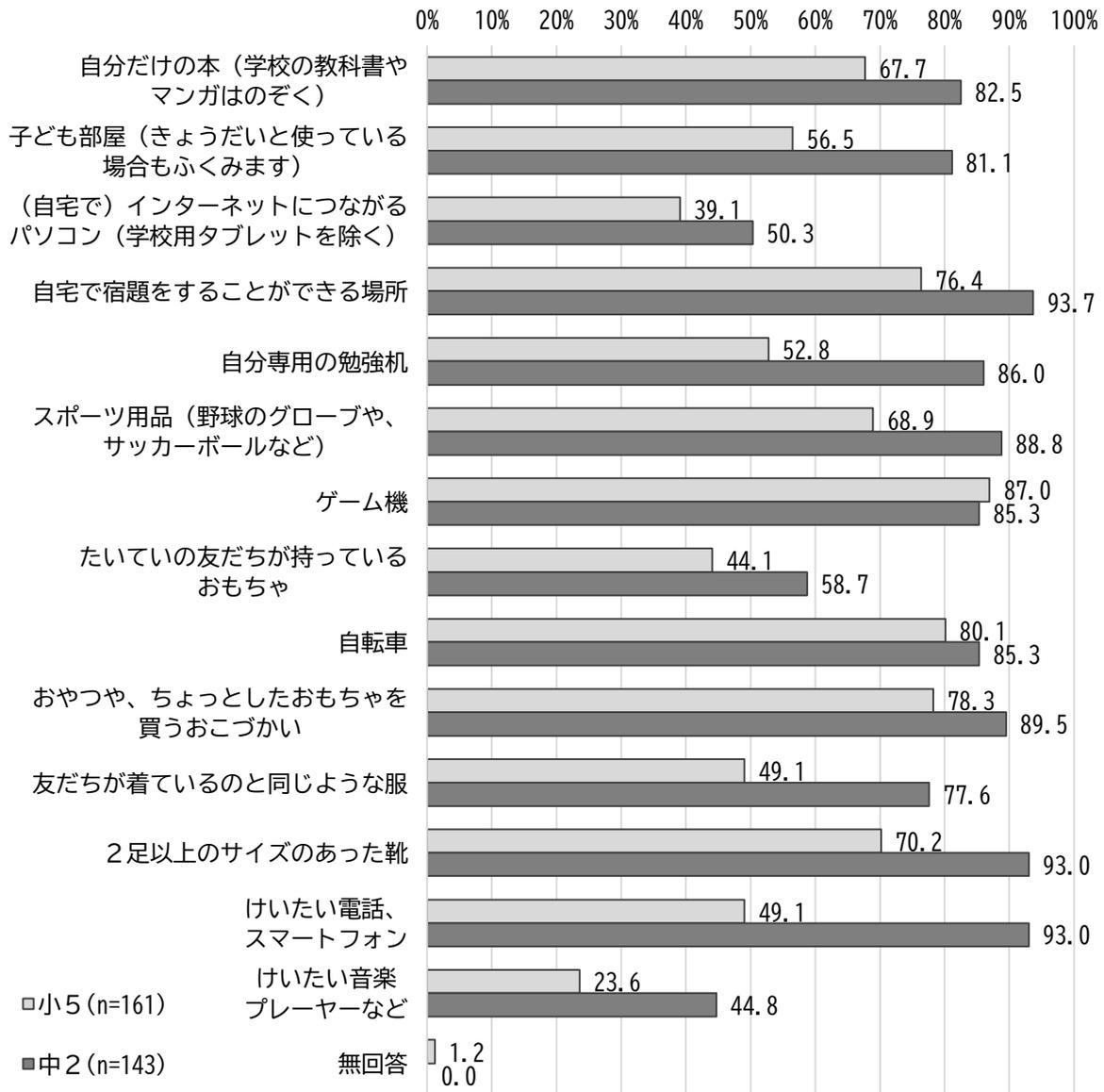
■家族構成（問3）（一緒に暮らしている家族）



■保護者の就労状況（問4）



■自分が使えるもの（問5）（所有しているもの）



2 回答者の日常生活について【小5】【中2】

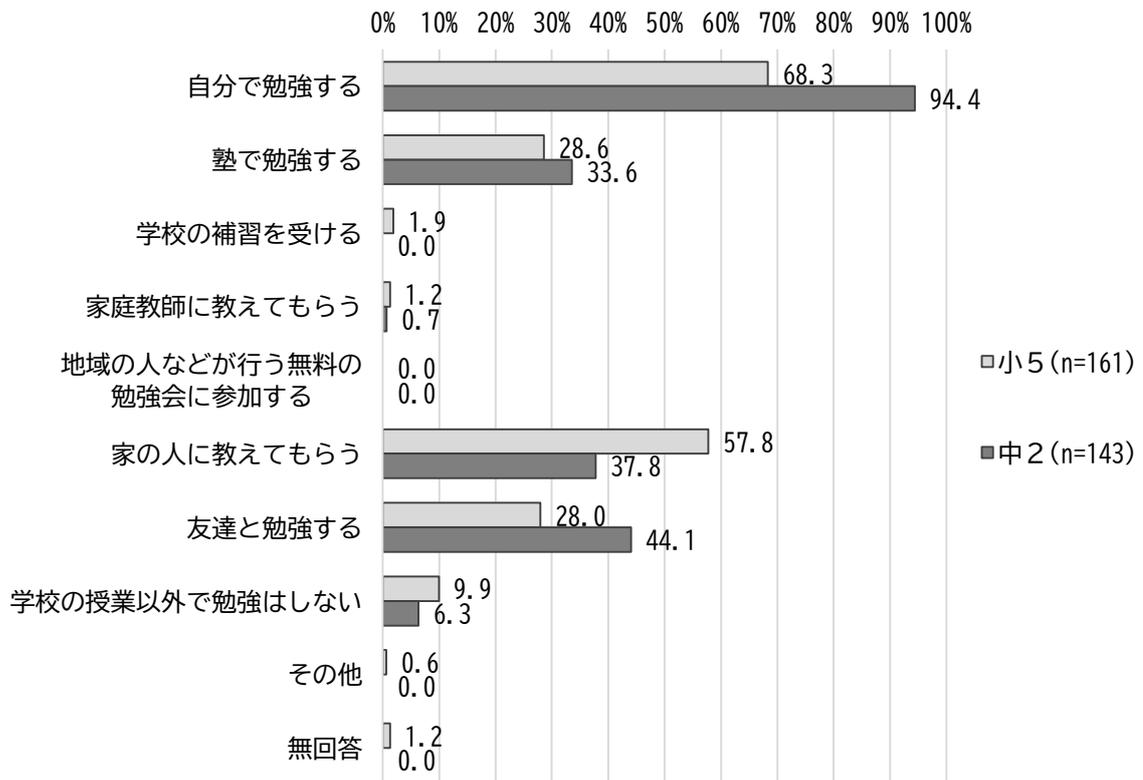
勉強や学習の環境

ふだん学校の授業以外でどのように勉強しているかについて、小学5年生は、「自分で勉強する」の割合が最も高く 68.3%、次いで「家の人に教えてもらう」が 57.8%、「塾で勉強する」が 28.6%と続いています。

中学2年生は、「自分で勉強する」の割合が最も高く 94.4%、次いで「友達と勉強する」が 44.1%、「家の人に教えてもらう」が 37.8%となっています。

小5と中2の差についてみると、中2では「自分で勉強する」や「友達と勉強する」の割合が高く、「家の人に教えてもらう」の割合は低くなっています。

■勉強・学習環境（問6）

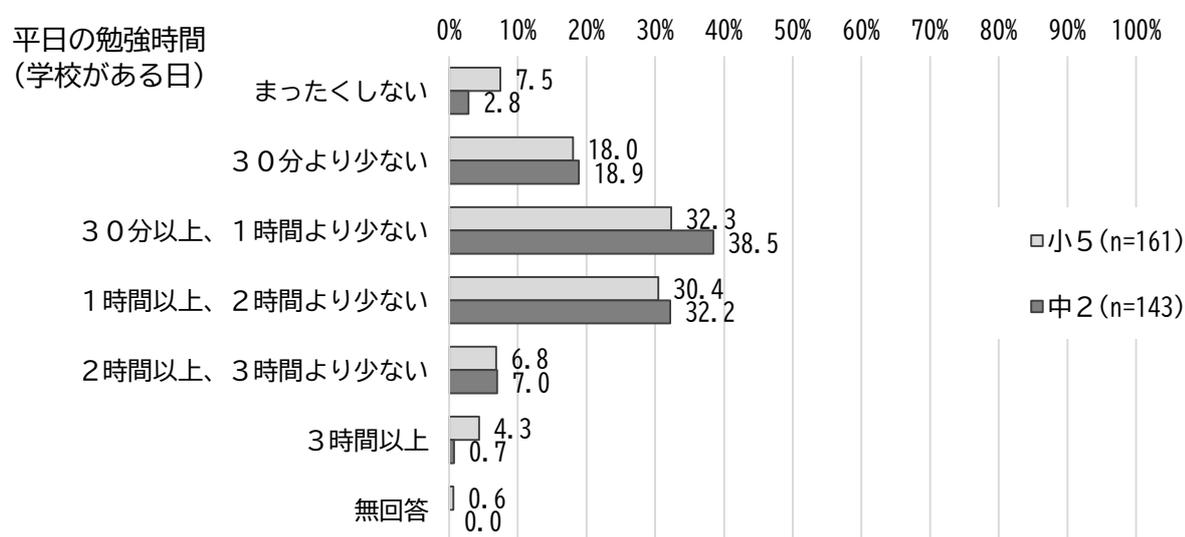


勉強時間

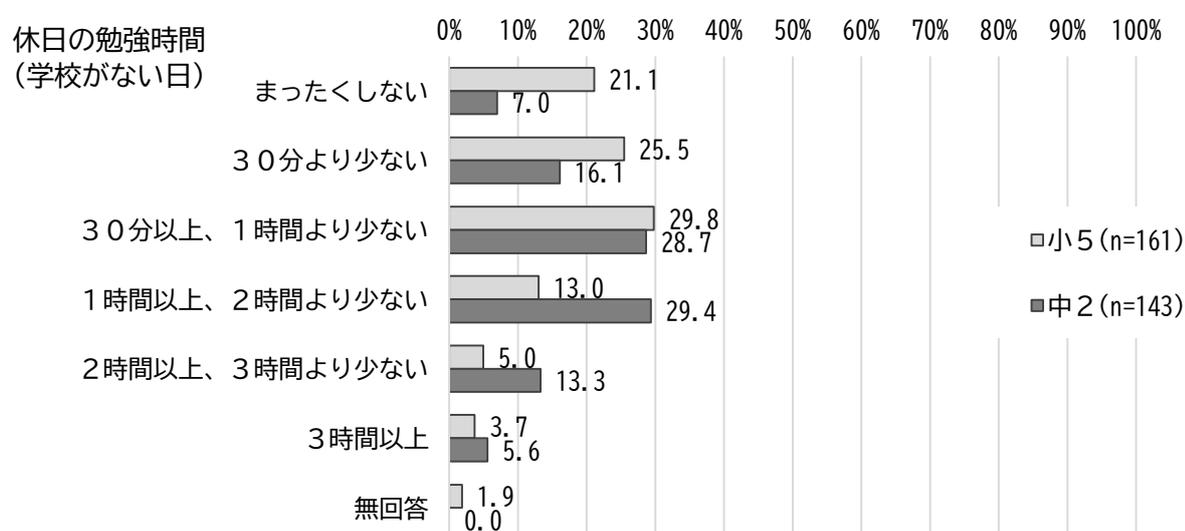
ふだん学校の授業以外に1日当たりどれくらいの時間勉強をするかについて、平日の場合、小学5年生は、「30分以上、1時間より少ない」の割合が最も高く32.3%、次いで「1時間以上、2時間より少ない」で30.4%となっており、休日は「30分以上、1時間より少ない」の割合が最も高く29.8%、次いで「30分より少ない」で25.5%となっています。中学2年生は平日、「30分以上、1時間より少ない」の割合が最も高く38.5%、次いで「1時間以上、2時間より少ない」で32.2%となっており、休日は「1時間以上、2時間より少ない」の割合が最も高く29.4%、次いで「30分以上、1時間より少ない」で28.7%となっています。

小5と中2の差についてみると、休日、「まったくしない」と「30分より少ない」では小5のほうが高い割合となっているのに対し、「1時間以上、2時間より少ない」と「2時間以上、3時間より少ない」では中2のほうが高い割合となっています。

■平日の勉強時間（問7）



■休日の勉強時間（問7）



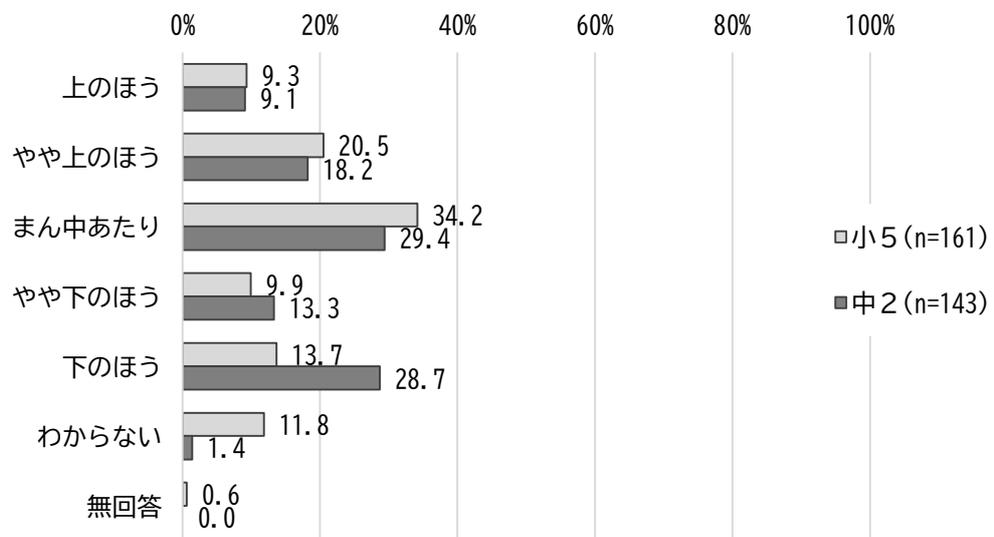
授業の理解度

クラスの中での成績の順位について、小学5年生は、「まん中あたり」の割合が最も高く 34.2%、次いで「やや上のほう」が 20.5%となっています。

中学2年生は、「まん中あたり」の割合が最も高く 29.4%、次いで「下のほう」が 28.7%となっています。

小5と中2の差についてみると、「下のほう」では中2のほうが 15.0ポイント高くなっているのに対し、「わからない」については小5のほうが 10.4ポイント高くなっています。

■成績の順位（問8）



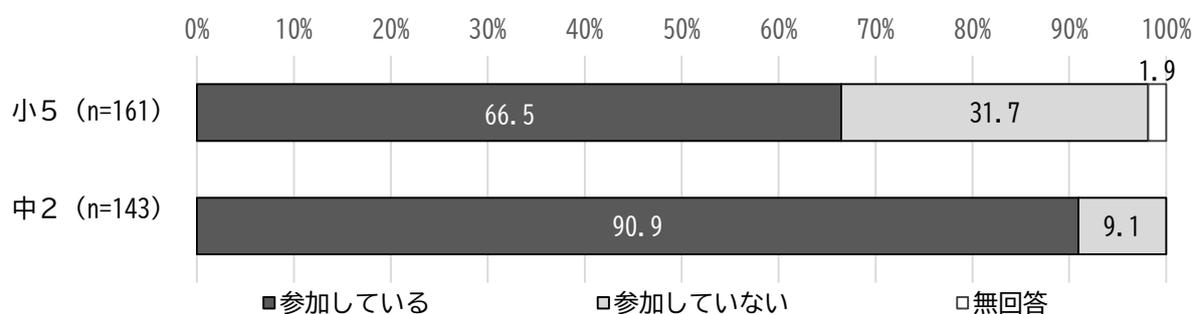
課外活動

地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動への参加状況は、小学5年生では「参加している」が66.5%であるのに対し、中学2年生では90.9%となっています。

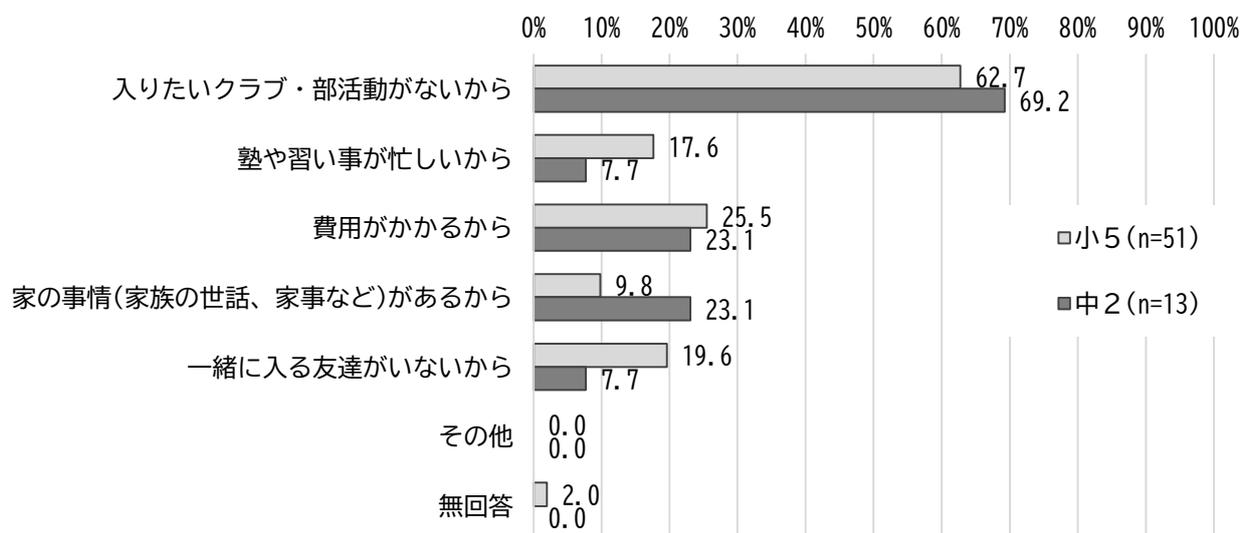
小学5年生も中学2年生も「参加していない」理由は、「入りたいクラブ・部活動がないから」が最も高くそれぞれ62.7%と69.2%となっています。

小5と中2の差についてみると、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」では中2ほうが高くなっているのに対し、「一緒に入る友達がいないから」では小5ほうが高くなっています。

■地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活への参加（問9）



■参加していない理由（問10）



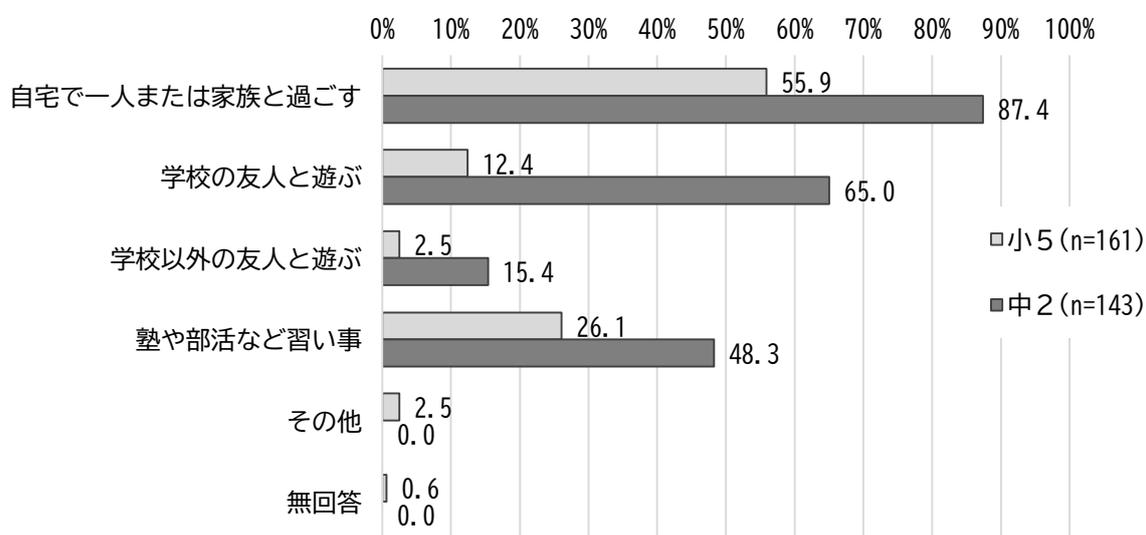
学校日以外の過ごし方

学校のない土日や祝日の過ごし方について、小学5年生は、「自宅で一人または家族と過ごす」の割合が最も高く 55.9%、次いで「塾や部活など習い事」が 26.1%となっています。

中学2年生は、「自宅で一人または家族と過ごす」の割合が最も高く 87.4%、次いで「学校の友人と遊ぶ」が 65.0%となっています。

(※小学生版では単一回答、中学生版では複数回答で尋ねているため、中学生のほうが全体的に高い割合となっています。)

■土日や祝日の過ごし方（問 11）

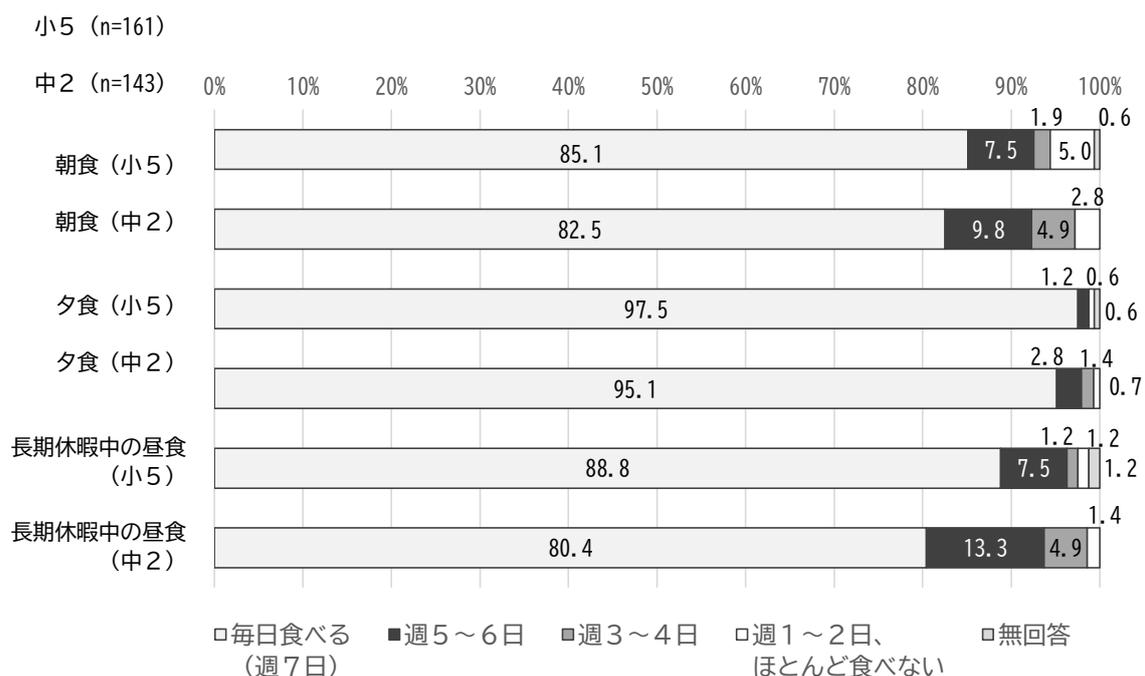


食生活

1週間の食事の頻度については、小学5年生、中学2年生ともに、8割以上が「毎日食べる」となっています。

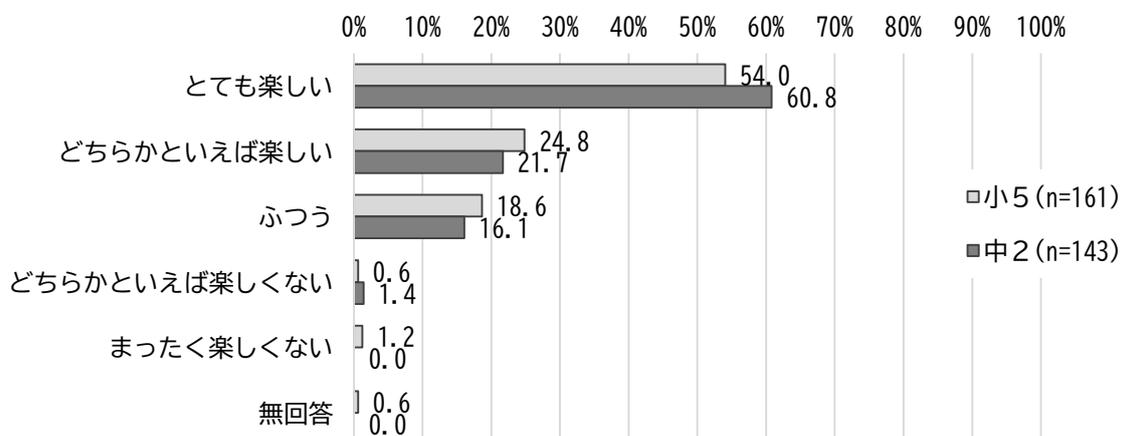
小5と中2の差についてみると、長期休暇中の昼食については「毎日食べる（週7日）」では中2のほうが食べる頻度が若干低くなっています。

■食事の頻度（問12）



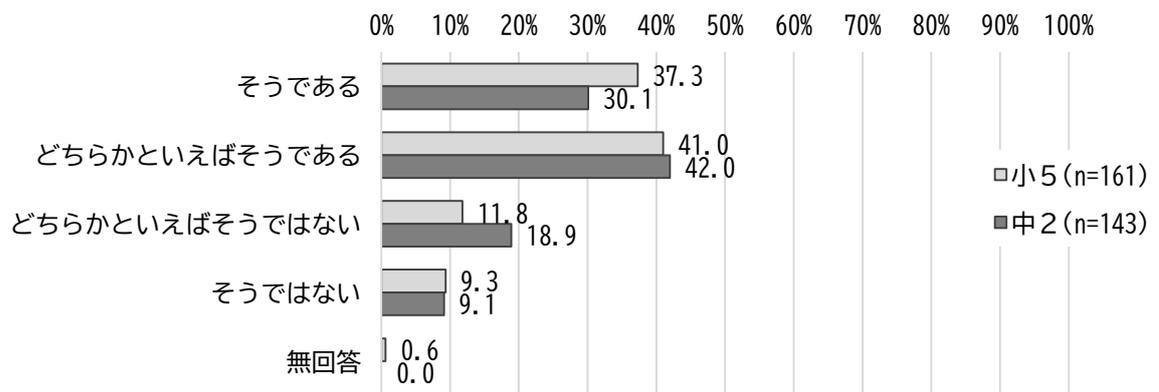
■食事の楽しさ（問13）

毎日の食事が楽しいかについては、小学5年生、中学2年生ともに、「とても楽しい」がそれぞれ54.0%と60.8%となっており、「どちらかといえば楽しい」がそれぞれ24.8%と21.7%となっています。



■半日の就寝時間（問14）

平日ほぼ同じ時間に就寝しているかについて、小学5年生、中学2年生ともに、4割以上が「どちらかといえばそうである」となっており、3割以上が「そうである」となっています。



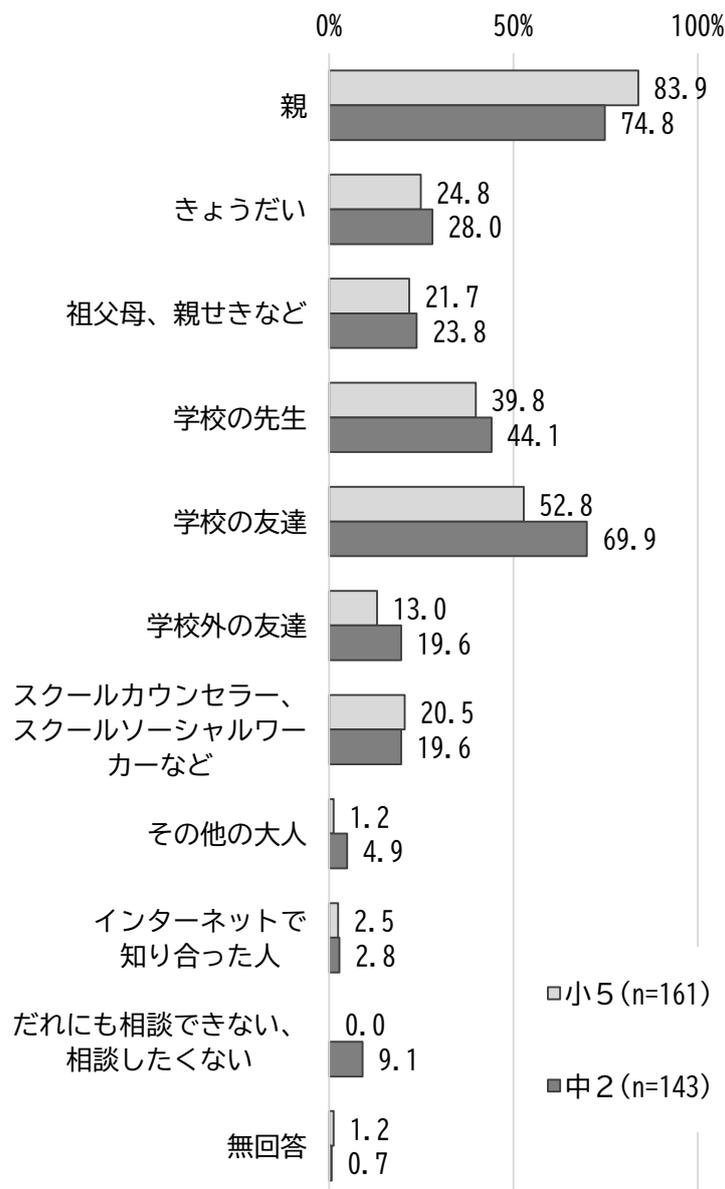
相談相手

困っていることや悩みごとがあるときに相談できる人については、小学5年生は、「親」の割合が最も高く83.9%、次いで「学校の友達」で52.8%、「学校の先生」39.8%となっています。

中学2年生は、「親」が最も高く74.8%、次いで「学校の友達」で69.9%、「学校の先生」44.1%となっています。

小5と中2の差についてみると、「親」では小5のほうが高く、「学校の友達」や「だれにも相談できない、相談したくない」では中2のほうが高くなっています。

■相談相手（問15）



家事や家族の世話をしているか

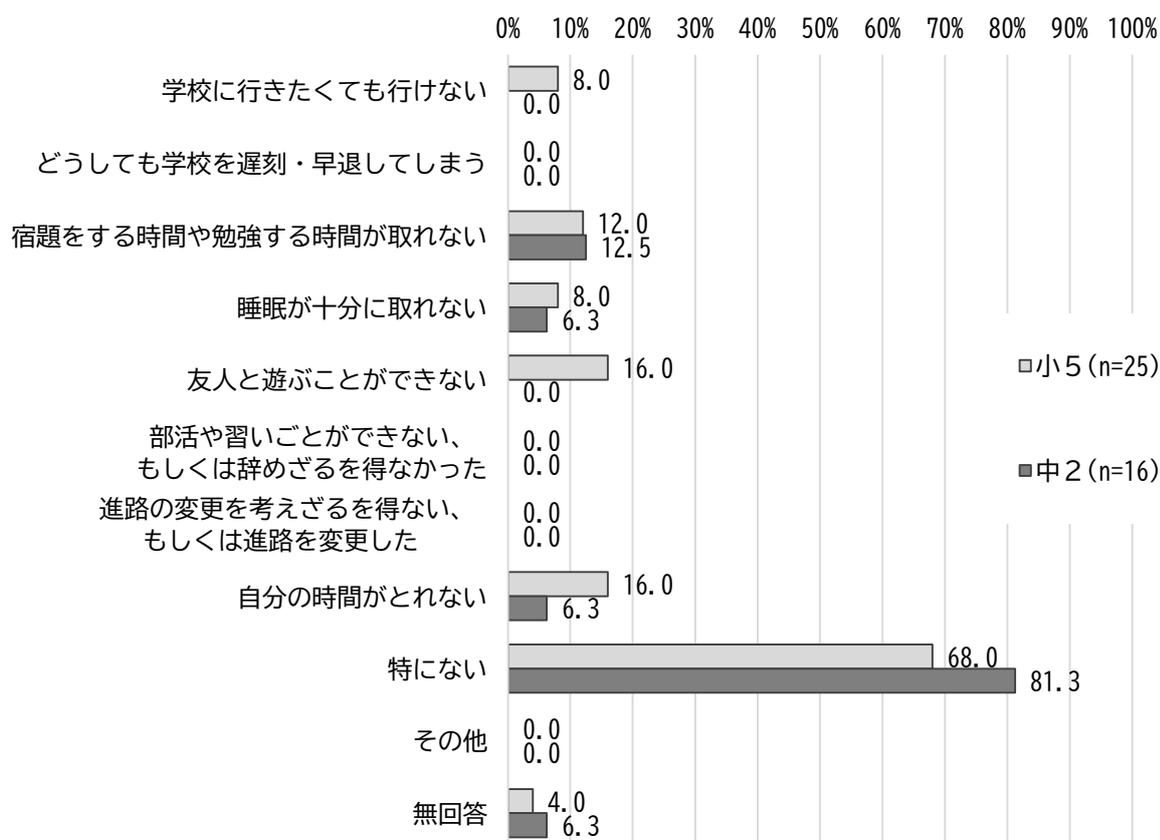
家族の中に回答者が世話をしている人がいるか（ここでの世話とは、本来大人がするような家事や家族の世話）について、小学5年生では「いる」が15.5%、中学2年生では11.2%となっています。

家族の世話をすることで、自分ができなくなっていることについては、小5、中2ともに「特にない」が最も高くなっていますが、小5、中2ともにいくつかの項目にわずかながらも該当者が存在しており、「友人と遊ぶことができない」では小5のほうが16.0ポイント高くなっています。

■家族内で世話をする人の有無（問16）



■家事や家族の世話でできないこと（問17）

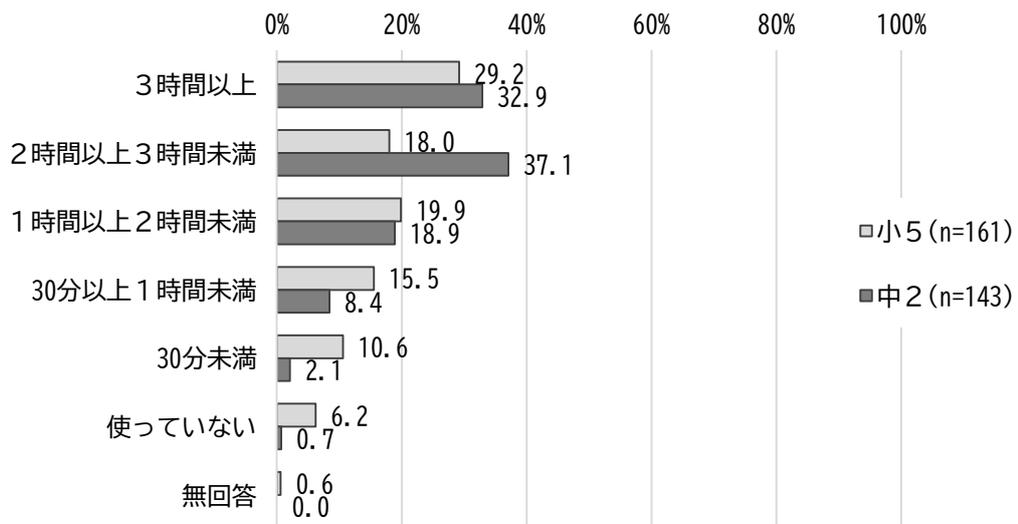


■インターネットの利用時間（平日1日）（問18）

平日1日あたりのインターネット（スマートフォンを含む）の利用時間については、小学5年生は、「3時間以上」の割合が最も高く29.2%、次いで「1時間以上2時間未満」で19.9%、「2時間以上3時間未満」18.0%となっています。

中学2年生は、「2時間以上3時間未満」が最も高く37.1%、次いで「3時間以上」で32.9%、「1時間以上2時間未満」18.9%となっています。

小5と中2の差についてみると、「2時間以上3時間未満」では小5より中2のほうが19.1ポイント高くなっています。



3 自己肯定感・自分の居場所について【小5】【中2】

自己肯定感

自己肯定感に関する項目は全部で 10 項目尋ねました。ここではいくつか代表的な項目についてみると（グラフは次ページ）、「自分のことが好き」という小学5年生は、「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせると 55.3%、同じく中学2年生は、51.0%となっています。

「自分は周りの人から大切にされていると思う」という小学5年生は、「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせると 72.7%、同じく中学2年生は、79.0%となっています。

「心配ごとが多く、いつも不安に思っている」という小学5年生は、「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせると 37.9%、同じく中学2年生は、55.2%となっています。

小5と中2の差についてみると、「そう思う」のみの差で最も大きいのは「自分のことが好き」で、中2のほうが 10.3 ポイント低くなっています。

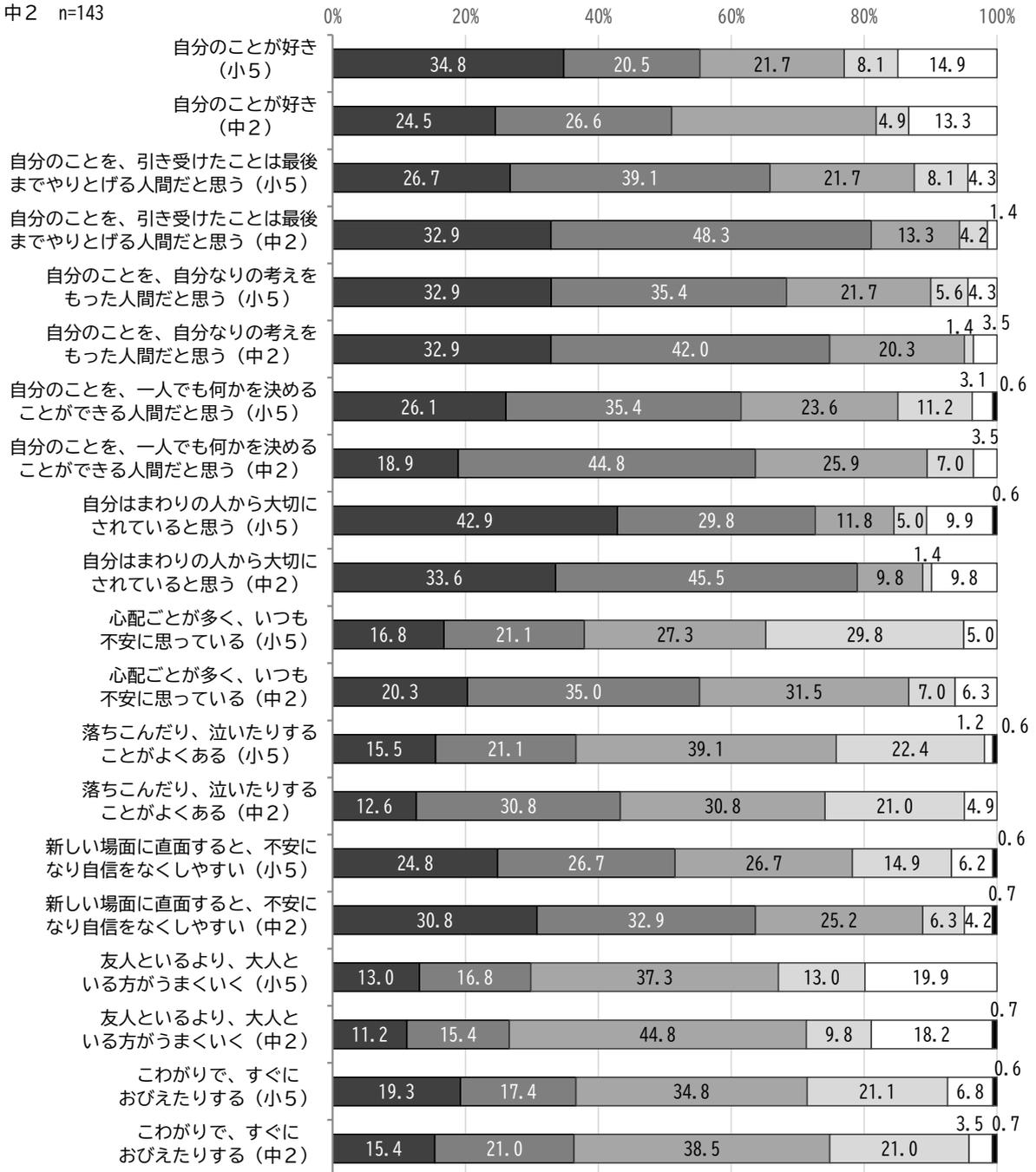
「そう思う」と「だいたいそう思う」を合計し、その差で最も大きいのは、「心配ごとが多く、いつも不安に思っている」で、中2のほうが 17.4 ポイント高くなっています。

「全くそう思わない」のみの差で最も大きいのは、「心配ごとが多く、いつも不安に思っている」で、小5のほうが 22.8 ポイント高くなっています。

「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合計し、その差で最も大きいのは、「心配ごとが多く、いつも不安に思っている」で、小5のほうが 18.7 ポイント高くなっています。

■自己肯定感（問 19）

小5 n=161
中2 n=143



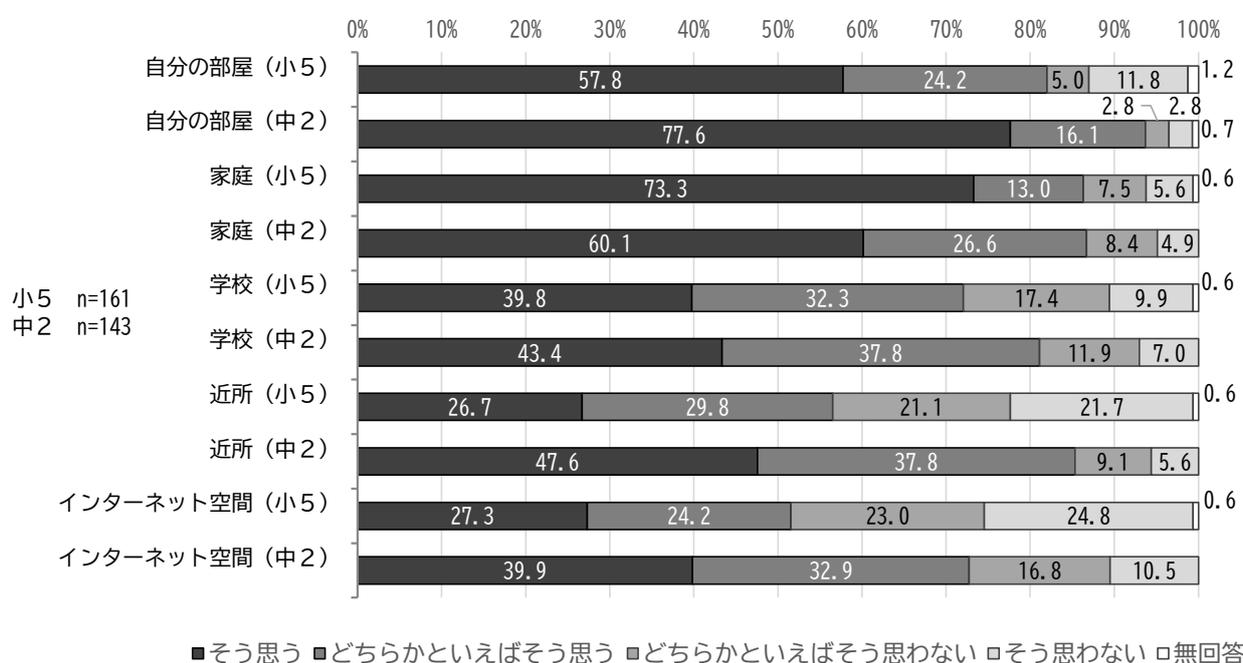
■そう思う ■だいたいそう思う ■あまりそう思わない □全くそう思わない □わからない ■無回答

自分の居場所

ほっとできる場所、居心地のいい場所について尋ねたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、小学5年生では「家庭」が最も割合が高く 86.3%、次いで「自分の部屋」で 82.0%となっています。同じく中学2年生では、「自分の部屋」が最も割合が高く 93.7%、次いで「家庭」で 86.7%となっています。

小5と中2の差についてみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計し、その差で最も大きいのは「近所」で、中2のほうが 28.8 ポイント高くなっています。次いで「インターネット空間」と「自分の部屋」で、中2のほうがそれぞれ 21.2 ポイントと 11.7 ポイント高くなっています。

■ほっとできる居心地のいい居場所（問 20）

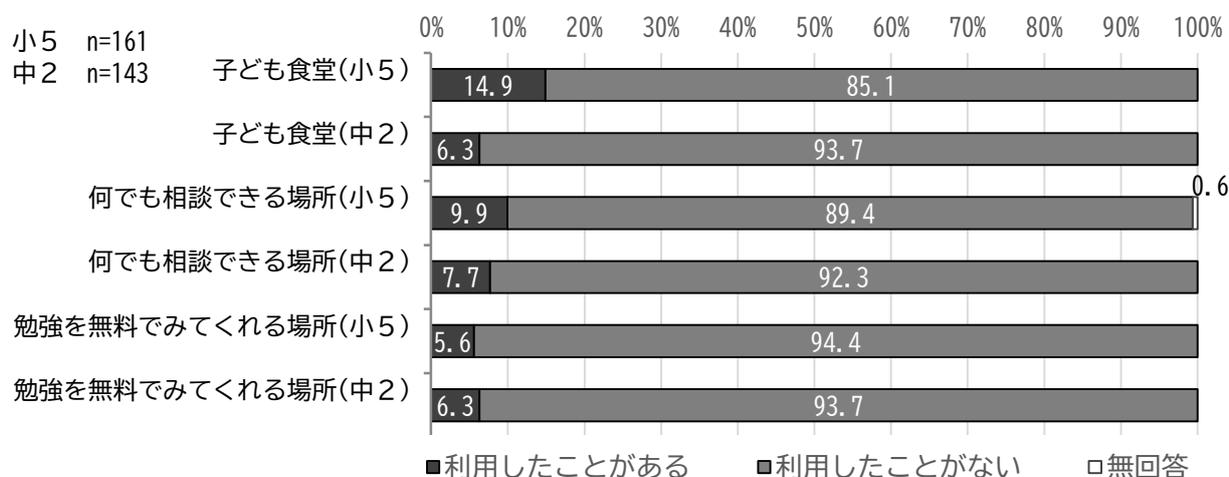


支援・相談場所の利用経験

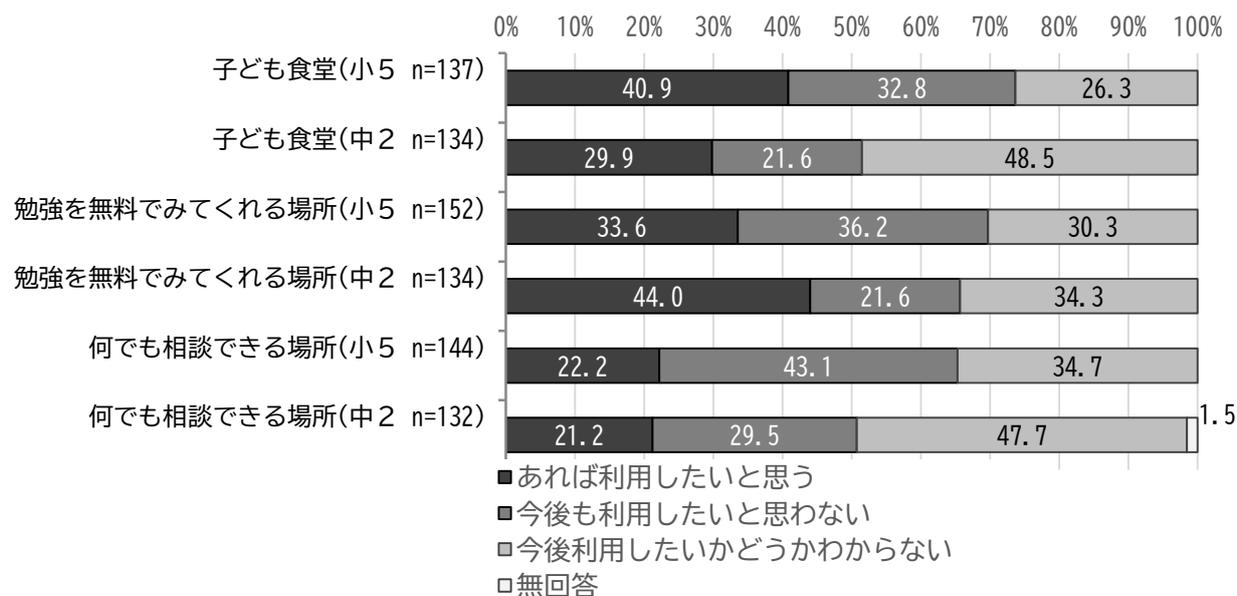
支援・相談場所の利用経験について、小学5年生で「利用したことがある」の割合が最も高いのは「子ども食堂」で14.9%となっています。中学2年生で最も高いのは「何でも相談できる場所」で7.7%となっています。

小5と中2の差についてみると、利用したことはないが、「あれば利用したいと思う」で最も差が大きいのは「子ども食堂」で、小5のほうが11.0ポイント高くなっており、次いで、「勉強を無料でみてくれる場所」で、中2のほうが10.5ポイント高くなっていきます。

■支援・相談場所の利用経験（問 21）



■支援・相談場所の利用希望（問 21）



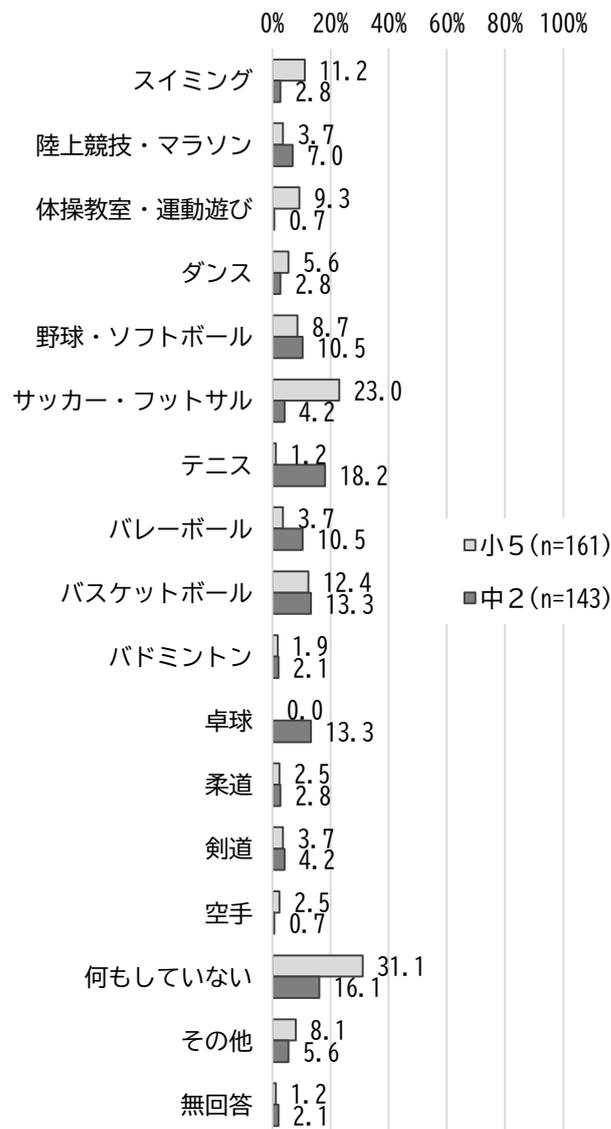
4 課外活動について【小5】【中2】

運動やスポーツの習い事の種類

運動やスポーツに関する習い事（部活動を含む）の種類について、小学5年生では「サッカー・フットサル」の割合が最も高く 23.0%、次いで「バスケットボール」12.4%、「スイミング」11.2%と続いています。中学2年生では「テニス」の割合が最も高く 18.2%、次いで「バスケットボール」、「卓球」がそれぞれ 13.3%と続いています。

小5と中2の差についてみると、「サッカー・フットサル」の差が最も大きく、小5のほうが18.8ポイント高くなっているのに対し、「テニス」と「卓球」では、中2のほうがそれぞれ17.0と13.3ポイント高くなっています。なお、「何もしていない」は、小5のほうが15.0ポイント高くなっています。

■運動系の習い事（問22）

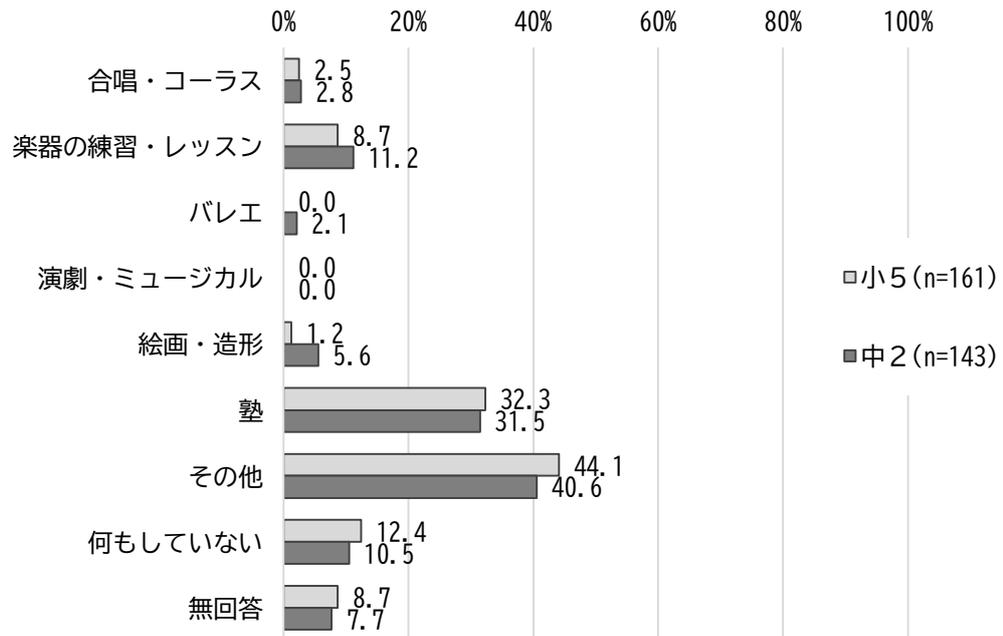


運動やスポーツ以外の習い事の種類

運動やスポーツ以外の習い事（部活動を含む）の種類について、小学5年生では「塾」の割合が最も高く32.3%、次いで「楽器の練習・レッスン」が8.7%と続いています。

中学2年生では、「塾」の割合が最も高く31.5%、次いで「楽器の練習・レッスン」が11.2%と続いています。

■運動系以外の習い事（問23）



学外の多様な経験

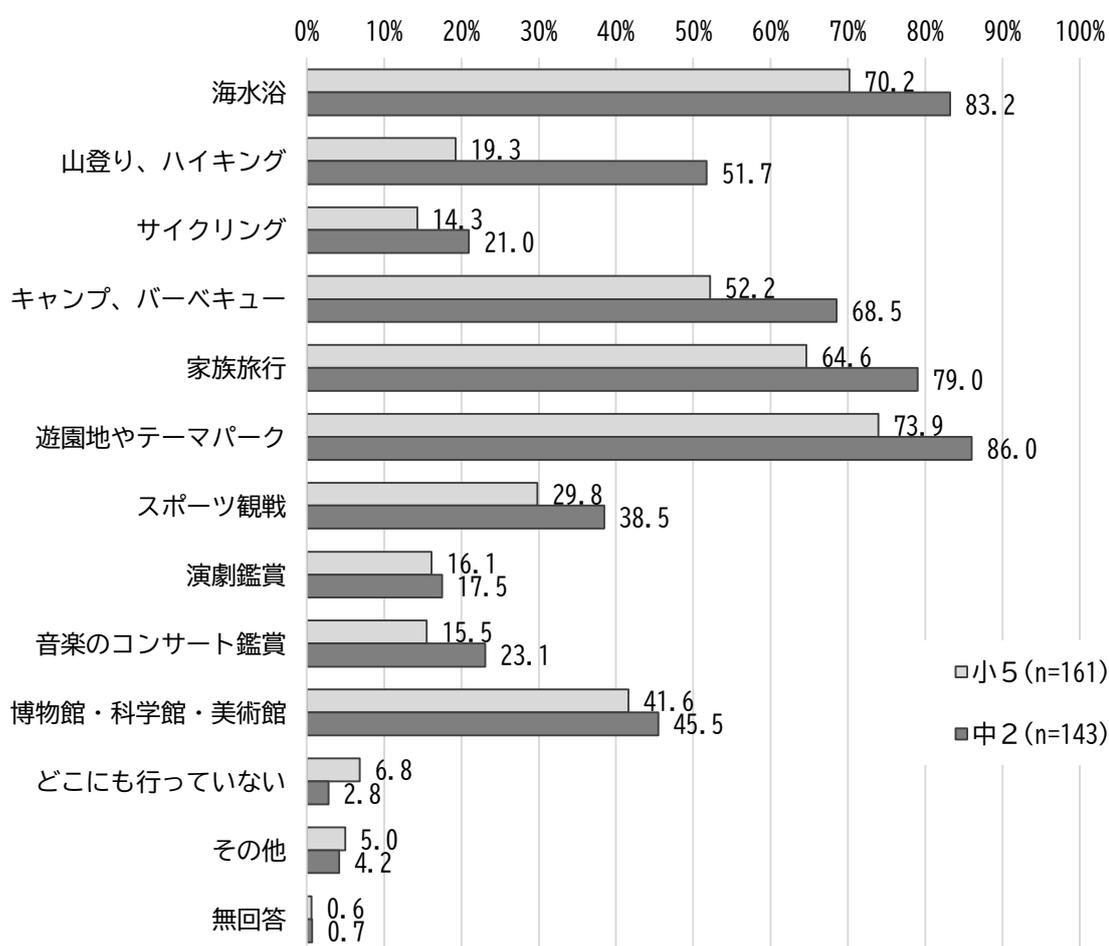
学外の多様な経験について、小学5年生については「遊園地やテーマパーク」の割合が最も高く 73.9%、次いで「海水浴」が 70.2%と続いています。

中学2年生については、「遊園地やテーマパーク」の割合が最も高く 86.0%、次いで「海水浴」が 83.2%と続いています。

小5と中2の差についてみると、「山登り、ハイキング」の差が最も大きく、中2のほうが 32.4 ポイント高くなっています。

また、全体的に年齢を重ねた中2のほうが、ほとんどの項目で高い割合となっています。

■学外の多様な経験（問 24）



5 鴨川市について【小5】【中2】

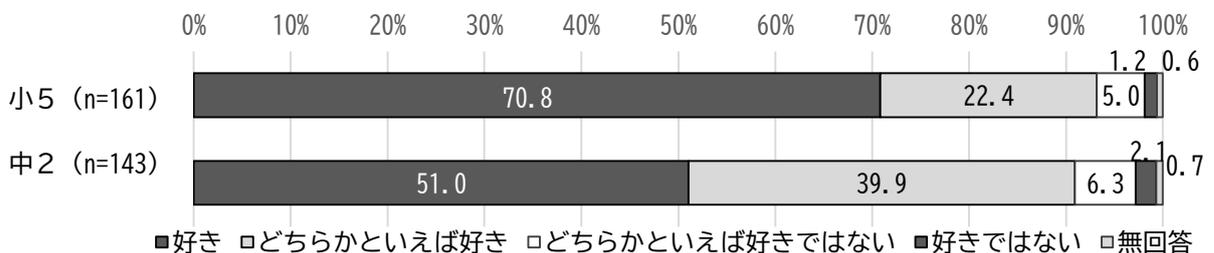
鴨川市が好きか

鴨川市が好きかどうかについては、小学5年生では「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせると93.2%となっています。

中学2年生では「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせると90.9%となっています。

小5と中2の差についてみると、「好き」は大きな差があり、小5のほうが19.8ポイント高くなっているのに対し、「どちらかといえば好き」では中2のほうが17.5ポイント高くなっています。

■鴨川市が好きか（問25）



鴨川市にあってほしいもの

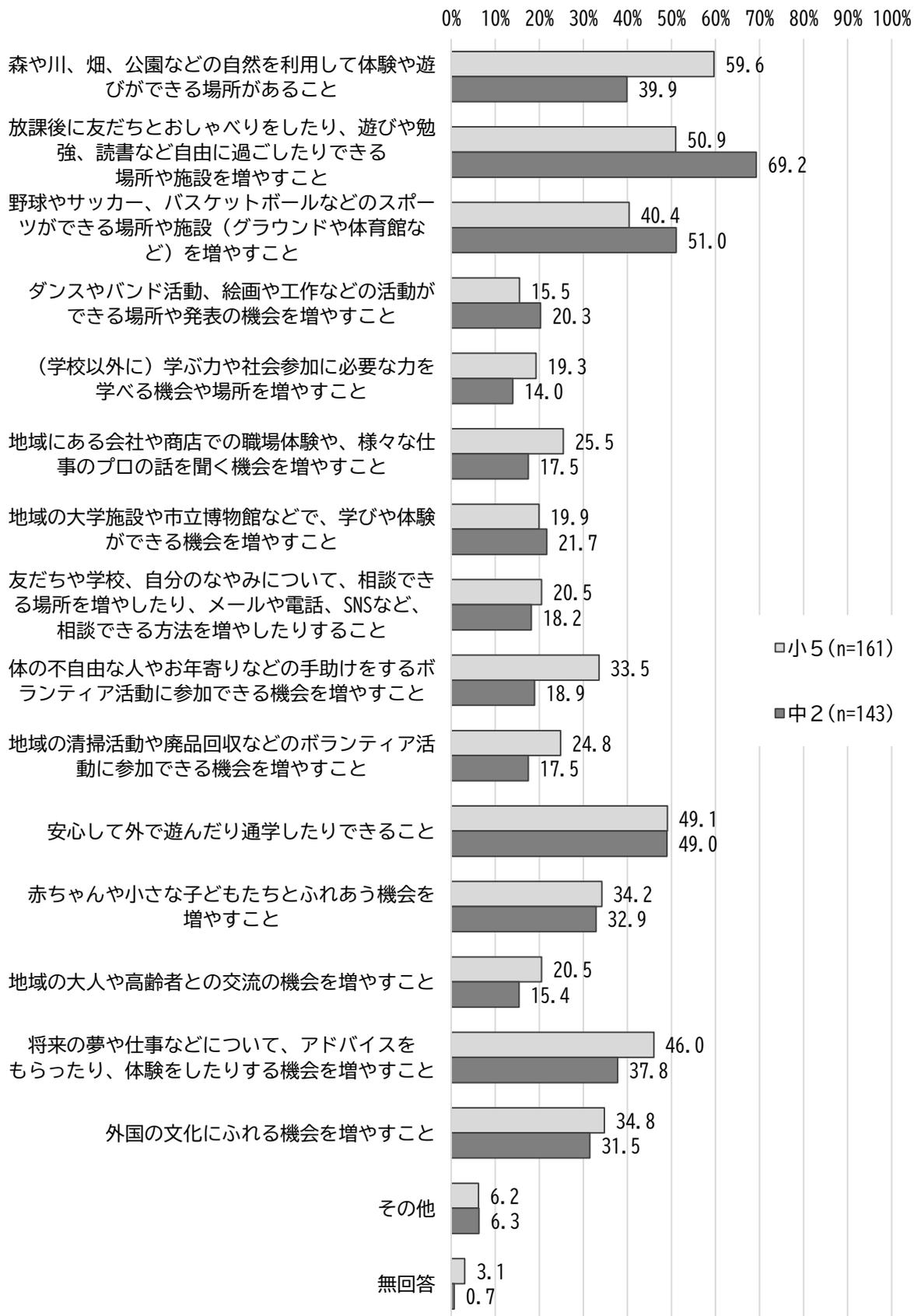
鴨川市にあってほしいものについて、小学5年生では「森や川、畑、公園などの自然を利用して体験や遊びができる場所があること」の割合が最も高く59.6%、次いで「放課後に友だちとおしゃべりをしたり、遊びや勉強、読書など自由に過ごしたりできる場所や施設を増やすこと」が50.9%で続いています。

中学2年生では「放課後に友だちとおしゃべりをしたり、遊びや勉強、読書など自由に過ごしたりできる場所や施設を増やすこと」の割合が最も高く69.2%、次いで「野球やサッカー、バスケットボールなどのスポーツができる場所や施設(グラウンドや体育館など)を増やすこと」が51.0%で続いています。

小5と中2の差についてみると、「森や川、畑、公園などの自然を利用して体験や遊びができる場所があること」の差が最も大きく、小5のほうが19.8ポイント高くなっています。次いで「放課後に友だちとおしゃべりをしたり、遊びや勉強、読書など自由に過ごしたりできる場所や施設を増やすこと」では、中2のほうが18.3ポイント高くなっています。

(※グラフは次ページ参照)

■鴨川市にあってほしいもの（問26）



6 生活の満足度・将来の夢【小5】【中2】

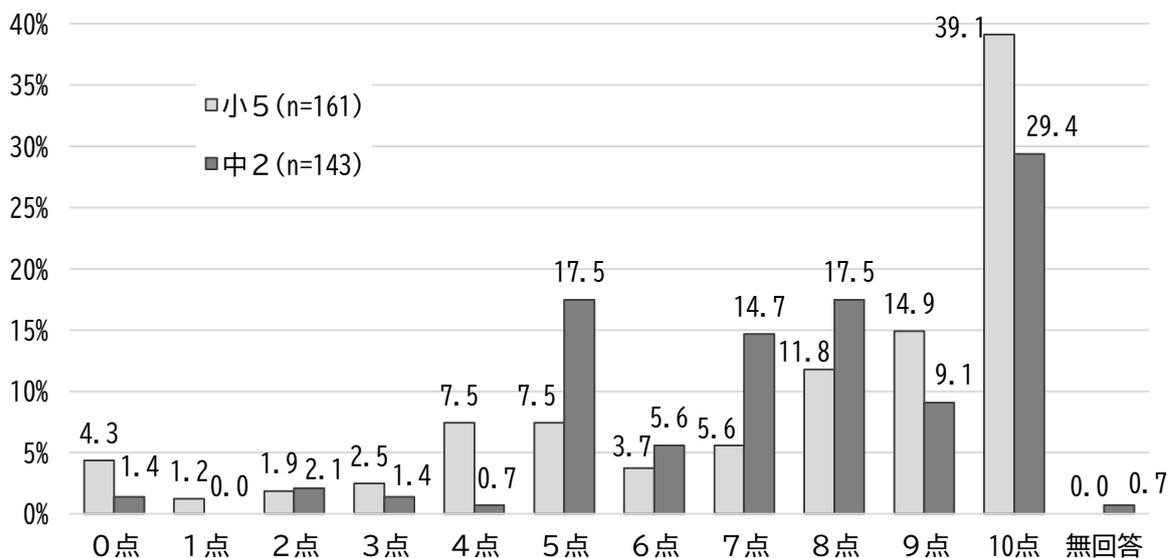
生活の満足度

最近の生活の満足度を「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）で尋ねたところ、小学5年生では「10点」の割合が最も高く39.1%、次いで「9点」が14.9%となっています。

中学2年生では「10点」の割合が最も高く29.4%、次いで「5点」と「8点」がそれぞれ17.5%となっています。

小5と中2の差についてみると、「5点」の差が最も大きく、中2のほうが10.0ポイント高くなっています。次いで「10点」では、小5のほうが9.8ポイント高くなっています。

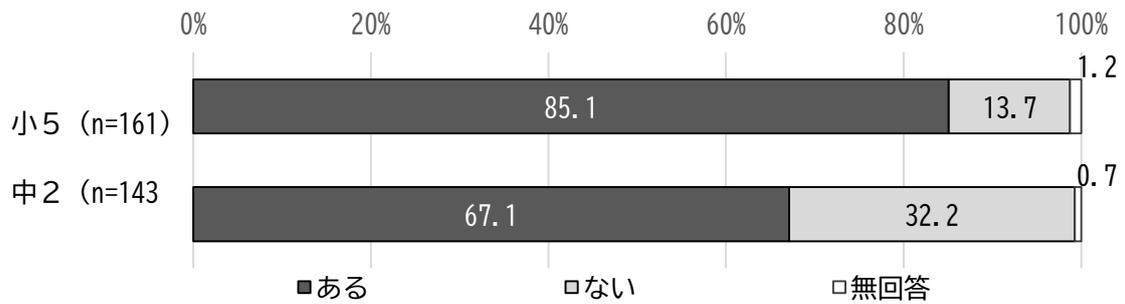
■生活の満足度（問27）



将来の夢の有無

将来の夢があるか尋ねたところ、小学5年生では「ある」が85.1%であるのに対し、中学2年生では67.1%となっています。

■将来の夢（問28）



7 自由意見（大人への意見や住みたいまちなど）【小5】【中2】

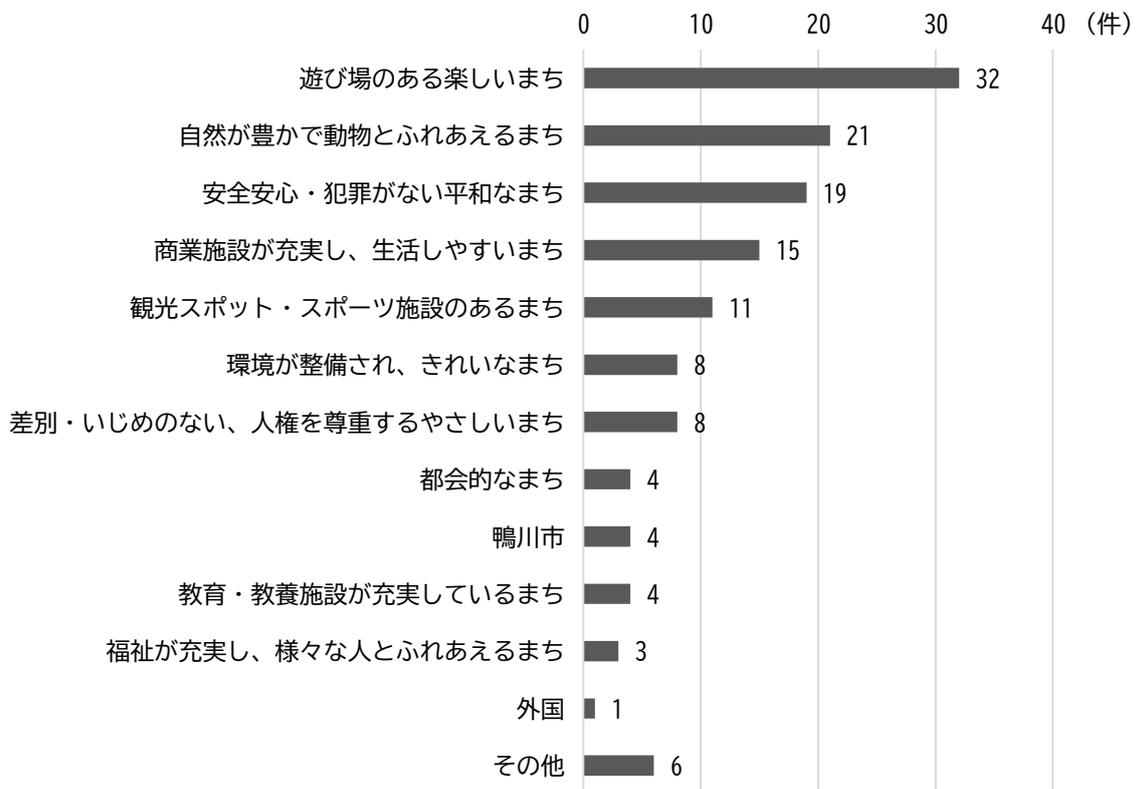
大人への意見や住みたいまち

大人への意見やどんなまちに住みたいかについて自由意見で回答した人数（意見件数）は、小学5年生のうち91人（意見件数136件）となっています。

意見の内容をみると、「遊び場のある楽しいまち」が最も多く32件となっています。次いで「自然が豊かで動物とふれあえるまち」が21件、「安全安心・犯罪がない平和なまち」が19件となっています。

「その他」には、「交通機関が多い場所」「あまり都会すぎず田舎すぎないまち」「SDGsとか実現できているまち」「友達と住んで、みんなが働く場所と近い場所」などが含まれています。

■どんなまちに住みたいか【小5】（問29）

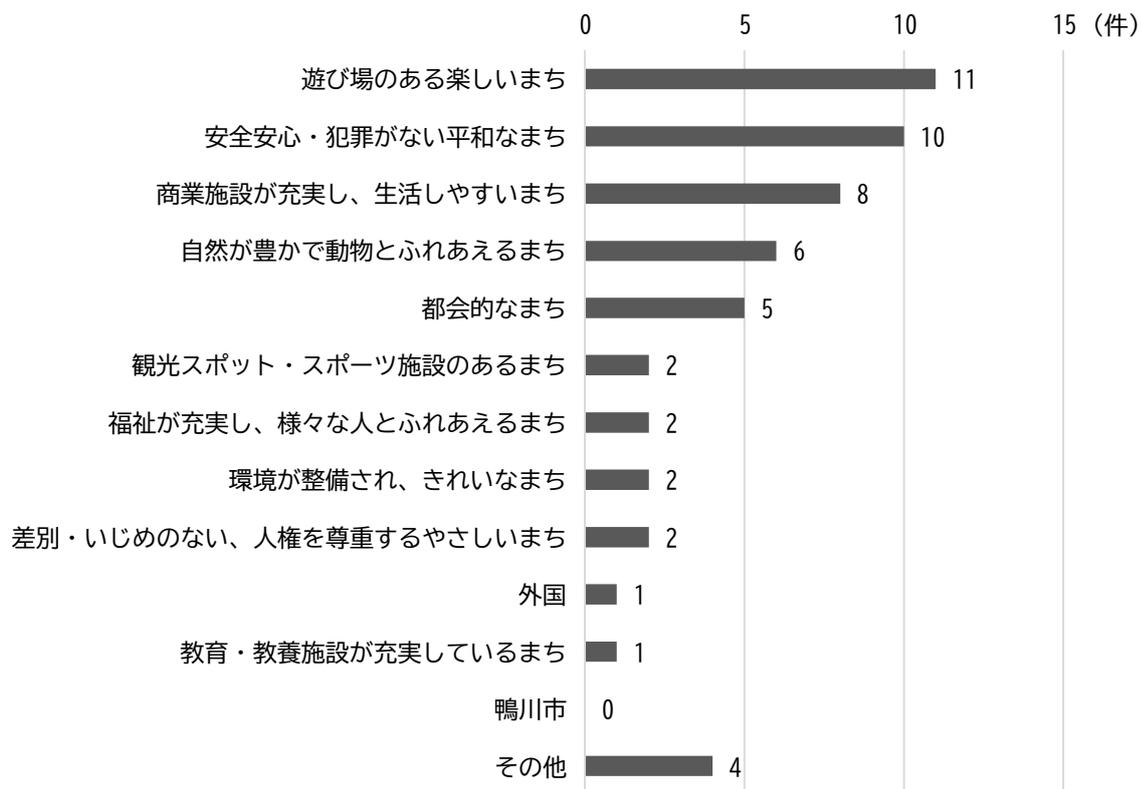


同じく、大人への意見やどんなまちに住みたいかについて自由意見で回答した人数（意見件数）は、中学2年生では、42人（意見件数54件）となっています。

中学2年生については、「遊び場のある楽しいまち」が最も多く11件となっています。次いで「安全安心・犯罪がない平和なまち」が10件、「商業施設が充実し、生活しやすいまち」が8件となっています。

「その他」には、「田舎でも都会でもない場所」「静かで誰にも邪魔されない場所」、「ある程度生活ができる空間」、「選択肢が多いところ」が含まれています。

■どんなまちに住みたいか【中2】（問29）



鴨川市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
報告書

発行：鴨川市健康福祉部子ども支援課

住所：〒296-0033 千葉県鴨川市八色 887-1

TEL：04-7093-7113

ホームページ：<http://www.city.kamogawa.lg.jp/>

資料 2

鴨川市 こども計画
骨子案

2024年10月

鴨川市

目次（構成案）

第1章 計画策定の趣旨

- 1 計画策定の背景・目的【全面変更】
- 2 計画の性格と位置づけ【全面変更】
- 3 計画の期間
- 4 国の制度改正の内容【新規追加】

第2章 鴨川市の子ども・子育て環境の現状【時点修正】

- 1 人口・人口推計
 - 2 世帯状況
 - 3 女性の就労状況
 - 4 幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校の状況
 - 5 主な子育て支援事業の状況
 - 6 アンケート調査
- (経済状況と子育て環境)【新規追加】
- (こどもの生活・意識の状況)【新規追加】

第3章 計画の基本的な考え方

- 1 基本理念
- 2 基本目標
- 3 施策の体系【一部変更・追加】

第4章 具体的施策の展開

- 【一部変更・追加】
- 基本施策1 就学前の親子への支援
- 基本施策2 学齢期の子どもを健やかに育む環境づくり
- 基本施策3 困難を抱える子どもや家庭への支援
- 基本施策4 安心して子育てできる環境づくり

第5章 子ども・子育て支援事業計画

- 1 教育・保育提供区域の設定
- 2 量の見込みの算出対象と子ども・子育て支援制度の全体像
- 3 教育・保育の見込み量及び確保方策等【時点修正】
- 4 地域子ども・子育て支援事業の見込み量及び確保方策等【時点修正・一部変更・追加】

第6章 計画の推進

- 1 計画の推進体制
- 2 計画の進行管理

資料編

第1章 計画策定の趣旨

1 計画策定の背景・目的

わが国においては、少子高齢化が継続的に進み、年少人口、生産年齢人口の減少と高齢人口の増加が続いています。また、共働き世帯の増加、未婚化・非婚化や晩産化が進み、子育てを取り巻く環境も変化しつづける中、一部の人のにとっては、子育てがより一層困難に思える社会状況となっています。

このような現状を踏まえ、国では令和5年4月にこども家庭庁が創設され、合わせて「こども基本法」が施行されました。この「こども基本法」において、都道府県は、国の大綱を勘案して、都道府県こども計画を作成するよう、また、市町村は、国の大綱と都道府県こども計画を勘案して、市町村こども計画を作成するよう、それぞれ、努力義務が課せられました。本市では、「第2次鴨川市子ども・子育て支援計画」の計画期間の満了を迎えるに当たり、これまでの各施策の進捗状況等を検証しながらも、「こども基本法」に示されている趣旨や国の大綱、県の動向等を鑑み、「こどもまんなか社会」の実現につながるよう、市の子ども・子育て支援施策をさらに推進していくことを目的として、令和7年度から令和11年度までの5年間で計画期間とする「鴨川市こども計画」を策定します。

「こども」表記について

国が用いる「こども」の表記については、「子供」「子ども」「こども」が混在していますが、本計画では以下の基準で使い分けをすることとします。

- (1) 特別な場合を除き、平仮名表記の「こども」を用います。
- (2) 特別な場合とは、①法令に根拠がある語を用いる場合、②固有名詞を用いる場合(既存の事業名や組織名等)とします。

2 計画の性格と位置づけ

こども基本法第10条（都道府県こども計画等）において、市町村は「こども大綱」と「都道府県版こども計画」を勘案して「市町村こども計画」の策定に努めることが求められており、本計画はこの市町村こども計画として策定します。

また、「市町村こども計画」は、既存の各種法令に基づく以下の計画と一体のものとして策定することができるかとされています。

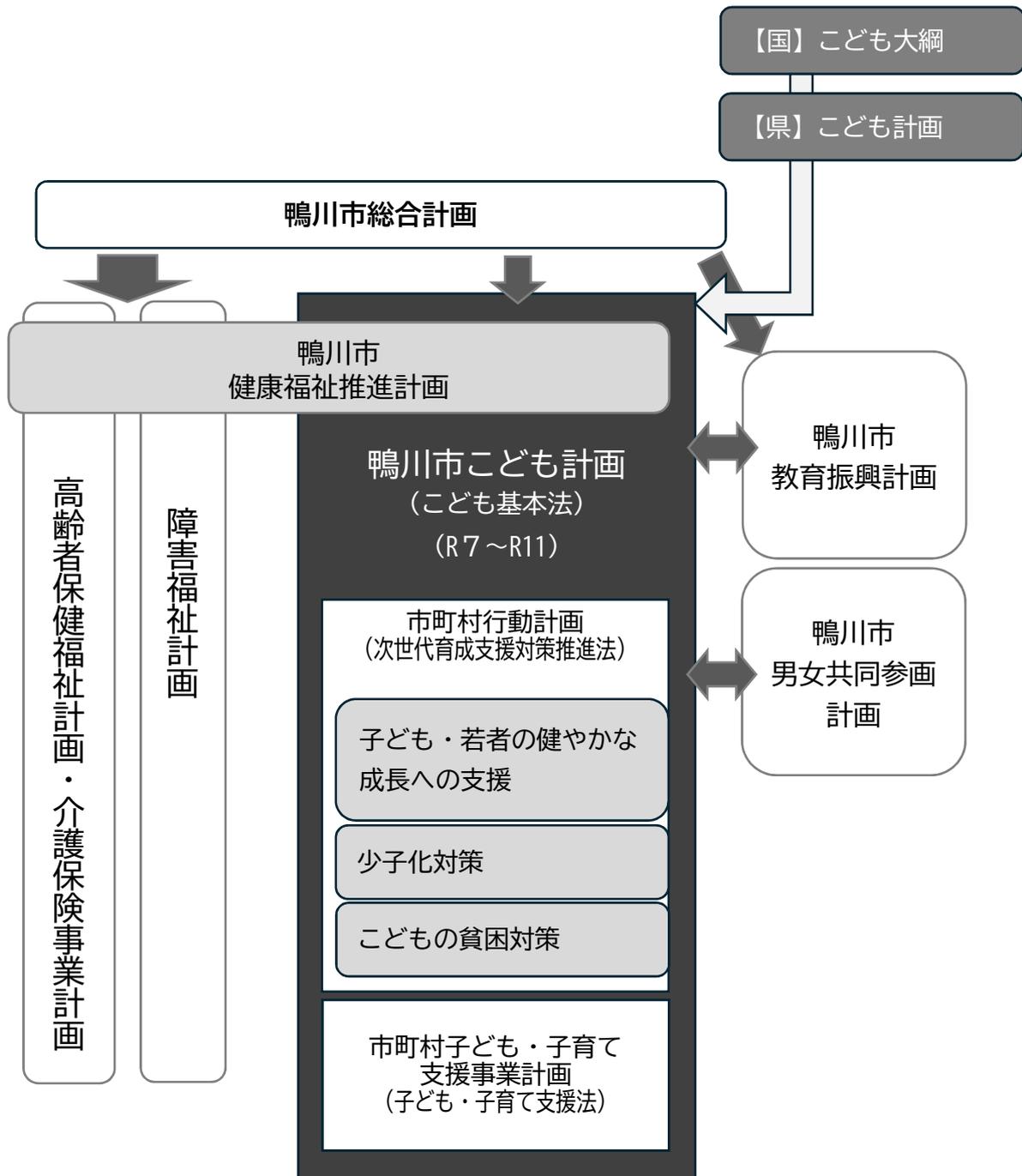
- ・子ども・若者育成支援推進法第9条に規定する、都道府県子ども・若者計画及び市町村子ども・若者計画
- ・子どもの貧困対策の推進に関する法律第9条に規定する、都道府県計画及び市町村計画
- ・その他の法令の規定により地方公共団体が作成する計画であってこども施策に関する事項を定めるもの

以上を踏まえて、本計画は、子ども・子育て支援法第61条に基づく「子ども・子育て支援事業計画」、次世代育成支援対策推進法第8条に基づく「次世代育成支援行動計画」、こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律第9条に基づく「こどもの貧困対策計画」、子ども・若者育成支援推進法第9条に基づく「子ども・若者計画」と一体的に策定します。

また、本計画は、鴨川市総合計画を上位計画とし、鴨川市健康福祉推進計画、鴨川市教育振興計画、鴨川市障害福祉計画等の関連計画と整合を図りながら進めていくものです。

本計画の策定にあたっては、市民、関係団体、有識者、行政からなる鴨川市子ども・子育て会議で検討を重ねるとともに、策定に先立って実施した「鴨川市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査」等の結果を反映しました。

■計画の位置づけと他計画との関係



3 計画の期間

本計画の計画期間を、令和7年度から令和11年度までの5か年とします。なお、社会情勢の変化に対応するため、必要に応じて見直しを行います。

令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度	令和9 (2027) 年度	令和10 (2028) 年度	令和11 (2029) 年度
第2期鴨川市子ども・子育て 支援事業計画					第1期鴨川市こども計画 (第3期鴨川市子ども・子育て 支援事業計画)				
		中間 見直し		次期 計画の 策定			中間 見直し		次期 計画の 策定

4 制度改正と計画の関連

(1) 国の制度改正の主な内容

①こども家庭庁の設立とこども基本法の施行

令和4年4月にこども基本法案が国会に提出され、同年6月に「こども家庭庁設置法」、「こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律」、「こども基本法」が成立しました。

令和5年4月にこども家庭庁が創設され、同日に「こども基本法」が施行されました。

<こども基本法>

こども基本法は、日本国憲法及び児童の権利に関する条約の精神にのっとり、次代の社会を担う全てのこどもが、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、こどもの心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、その権利の擁護が図られ、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指して、こども施策を総合的に推進することを目的としており、以下の項目を基本理念として掲げています。

- 全てのこどもについて、個人として尊重されること・基本的人権が保障されること・差別的取扱いを受けることがないようにすること
- 全てのこどもについて、適切に養育されること・生活を保障されること・愛され保護されること等の福祉に係る権利が等しく保障されるとともに、教育基本法の精神にのっとり教育を受けられる機会が等しく与えられること
- 全てのこどもについて、年齢及び発達程度に応じ、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会・多様な社会的活動に参画する機会が確保されること
- 全てのこどもについて、年齢及び発達程度に応じ、意見の尊重、最善の利益が優先して考慮されること
- こどもの養育は家庭を基本として行われ、父母その他の保護者が第一義的責任を有するとの認識の下、十分な養育の支援・家庭での養育が困難なこどもの養育環境の確保
- 家庭や子育てに夢を持ち、子育てに伴う喜びを実感できる社会環境の整備

<こども家庭庁>

こども家庭庁は、こども基本法の施行とともに令和5年4月に発足しました。こども家庭庁は、「こどもまんなか社会」を実現するために、こどもの視点に立って意見を聞き、こどもにとっての一番の利益を考え、こどもと家庭の福祉や健康の向上を支援し、こどもの権利を守るこども政策について取り組みます。

こどもまんなか社会とは・・・

「全てのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約にのっとり、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会」

②こども大綱

令和5年12月に、こども基本法に基づき、こども政策を総合的に推進するため、国は、政府全体のこども施策の基本的な方針等を定める「こども大綱」を閣議決定しました。こども大綱では、「こどもまんなか社会」の実現に向けて、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約の精神にのっとり、以下の6本の柱を政府におけるこども施策の基本的な方針とするとされています。また、こども大綱は、これまで別々に作成・推進されてきた、少子化社会対策基本法、子ども・若者育成支援推進法及び子どもの貧困対策の推進に関する法律に基づく3つの子どもに関する大綱を一つに束ね、子ども施策に関する基本的な方針や重要事項等を一元的に定めるものとなっています。

- 1) こども・若者を権利の主体として認識し、その多様な人格・個性を尊重し、権利を保障し、こども・若者の今とこれからの最善の利益を図る
- 2) こどもや若者、子育て当事者の視点を尊重し、その意見を聴き、対話しながら、ともに進めていく
- 3) こどもや若者、子育て当事者のライフステージに応じて切れ目なく対応し、十分に支援する
- 4) 良好な成育環境を確保し、貧困と格差の解消を図り、全てのこども・若者が幸せな状態で成長できるようにする
- 5) 若い世代の生活の基盤の安定を図るとともに、多様な価値観・考え方を大前提として若い世代の視点に立って結婚、子育てに関する希望の形成と実現を阻む隘路（あいろ）の打破に取り組む
- 6) 施策の総合性を確保するとともに、関係省庁、地方公共団体、民間団体等との連携を重視する

③こども未来戦略

令和5年12月には、これまでにない規模で、全てのこども・子育て世帯を対象にライフステージ全体を俯瞰して、切れ目ない子育て支援の充実を図るとともに、共働き・共育てを推進していく総合的な対策として、「こども未来戦略」が閣議決定されました。戦略では、令和6年度からの3年間で集中的に取り組む「加速化プラン」において、「ライフステージを通じた子育てに係る経済的支援の強化や若い世代の所得向上に向けた取組」、「全てのこども・子育て世帯を対象とする支援の拡充」、「共働き・共育ての推進」、「こども・子育てにやさしい社会づくりのための意識改革」の4つの項目に沿って、具体的な施策が示されました。

④児童福祉法等の改正

子育てに困難を抱える世帯がこれまで以上に顕在化してきている状況等を踏まえ、児童等に対する家庭及び養育環境の支援を強化し、児童の権利の擁護が図られた児童福祉施策を推進するため、要保護児童等への包括的かつ計画的な支援の実施の市町村業務への追加、市町村における児童福祉及び母子保健に関し包括的な支援を行う子ども家庭センターの設置の努力義務化、子ども家庭福祉分野の認定資格創設、市区町村における子育て家庭への支援の充実等を内容とする「児童福祉法等の一部を改正する法律」が令和4年6月に成立し、令和6年4月に施行されました。この法律により、訪問による家事支援、児童の居場所づくりの支援、親子関係の形成の支援等を行う事業が新設され、これらを含む家庭支援の事業について市区町村が必要に応じ利用勧奨・措置を実施することとされました。

⑤子ども・子育て支援法の改正

先述した「こども未来戦略」の「加速化プラン」に盛り込まれた施策を着実に実行するため、改正子ども・子育て支援法が令和6年6月に成立しました。具体的には、児童手当の抜本的な拡充、出産などの経済的負担軽減、「こども誰でも通園制度」の創設、「産後ケア事業」の計画的な提供体制の整備などが盛り込まれています。

⑥市町村こども計画

「こども基本法」に基づき、国のこども大綱、県のこども計画を勘案した「市町村こども計画」の策定が努力義務となりました。

市町村こども計画は、こども大綱と都道府県こども計画を勘案して策定することが求められています。また、既存の各種法令に基づく計画と一体のものとして策定することができるとされています。具体的には、「子ども・子育て支援事業計画」「次世代育成支援行動計画」、「こどもの貧困対策計画」、「子ども・若者計画」などと一体的に策定することができるとされています。

(2) 本市の子ども・子育て支援施策の動向

①第1期子ども子育て支援事業計画

本市では、平成24年に制定された「子ども・子育て支援法」に基づく市町村事業計画を含む計画として、平成27年度から5年間における、「質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供」、「保育の量的拡大・確保、教育・保育の質的改善」、「地域の子ども・子育て支援の充実」を目指して、「第1期鴨川市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

②第2期子ども子育て支援事業計画

上記の平成27年度～令和元年度を期間とする「第1期鴨川市子ども・子育て支援計画」の期間中に、子ども・子育て支援法が改正されたほか、平成29年6月に子育て安心プランが発表され、「待機児童の解消」「女性の就業率の向上」「保育の受け皿の拡大と質の確保、保育人材の確保」「保護者への寄り添う支援の普及促進」「幼児教育の無償化」といった方向性が打ち出されました。第1次計画の進捗状況等を検証するとともに、国や県の指針や動向を踏まえて、令和2年度～令和6年度を計画期間とする「第2期鴨川市子ども・子育て支援計画」を策定しました。

第2章 鴨川市の子ども・子育て環境の現状

素案提示の際に記載

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

第2次鴨川市基本構想では、健康福祉分野において「一人ひとりがいきいきとした健康福祉のまち」を、また、教育分野においては、「ともに学び未来を育む教育文化のまち」を基本方針としています。

これに基づき、第3期鴨川市健康福祉推進計画は、「みんなで取り組もう 一人ひとりが輝く『元気』のまち 鴨川」を、鴨川市教育振興計画（第3期）では第2次鴨川市基本構想の教育分野の基本方針と同じく、「ともに学び未来を育む教育文化のまち」を目指しています。

本計画では、第2次鴨川市基本構想、第3期鴨川市健康福祉推進計画、及び鴨川市教育振興計画（第3期）の趣旨を鑑み、そして、第2期鴨川市子ども・子育て支援事業計画を踏まえつつ、こども大綱の理念を勘案し、基本理念を次のように定めます。

基本理念

ささえあい、みんなの笑顔を育み、

こどもたちがいきいきとするまちづくり

2 基本目標

本計画の基本理念を具体化していくため、以下の4つの柱を基本施策として、具体的な施策・事業の展開を図ります。

基本施策1 就学前の親子への支援

乳幼児期における親子の健康づくりと保護者の育児不安、ストレスの解消に努めるとともに、多様なニーズに応える教育・保育の充実、各種相談や、孤立した育児に陥ることのないよう身近な地域での子育て支援の体制づくりを進めます。

基本施策2 学齢期の子どもを健やかに育む環境づくり

子どもの成長においては、心身の健全な発達が実現されるよう学校・家庭・地域が連携して子どもを育てる環境づくりを推進します。また、地域における子どもたちの居場所や様々な体験を得る機会の確保に努め、青少年の健全育成に向けた取り組みを推進します。

基本施策3 困難を抱える子どもや家庭への支援

障害のある子ども一人ひとりの地域生活における自立と、療育・保育・教育の充実に向け、関係機関と連携して必要な支援を行っていきます。また、児童虐待・DV等の防止に向けた取り組みとともに、被害にあった子どもや女性等への支援の充実に努めます。

基本施策4 安心して子育てできる環境づくり

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向け、子育てと仕事を両立しやすい社会環境の整備に努めるとともに、地域で安心して子育てできる環境づくり、ひとり親家庭をはじめとする多様な子育て家庭への経済的支援と自立に向けた支援に取り組めます。

3 施策の体系

別紙参照

第4章 具体的施策の展開

素案提示の際に記載

第5章 子ども・子育て支援事業計画

素案提示の際に記載

第6章 計画の推進

素案提示の際に記載

資料編

原案提示の際に記載

新たに新設する項目

No.	基本施策	施策の柱	施策の方向 (タイトル)	
1	1 就学前の親子への支援	1 親と子の健康づくりに向けた支援	(1) 子育て世代包括支援センターの充実	
2			(2) 妊婦・乳幼児健康診査等の充実	
3			(3) 妊産婦期・乳幼児期の食育の推進	
4			(4) 妊産婦と子どもの歯の健康づくり	
5			(5) 小児医療・小児救急医療の充実	
6			(6) 妊産婦・女性の健康支援	
7		2 教育・保育サービスの充実		(1) 就学前の教育・保育の充実
8				(2) 多様な保育サービスの充実
9				(3) 認定こども園での健康づくりの推進
10				(4) 教育・保育施設の整備
11				(5) 子育てのための施設等利用給付の円滑な実施
12-①		3 身近な地域での子育て支援の充実		(1) 子育て支援の拠点施設の充実
13-①				(2) 子育て相談・情報提供の充実
14-①				(3) 地域における子育て支援体制の充実
15				(4) 家庭教育の支援
16	2 学齢期の子どもを健やかに育む環境づくり	1 子どもの心身の健康づくり	(1) 健康教育の推進	
17-①			(2) 学校や地域での食育の推進	
18-①			(3) 学校体育の充実	
19			(4) 地域での運動機会の拡充	
20			(5) 思春期保健の推進	
21-①			(6) 飲酒・喫煙・薬物乱用等の防止対策の推進	
22			(7) 中学生のメディカルチェック	
23		2 子どもの居場所・体験機会の提供		(1) 放課後児童健全育成事業（学童保育）の充実
24-①				(2) 子ども会やスポーツ少年団活動の充実
25				(3) 児童及び生徒の体験活動事業の推進
26				(4) ボランティア活動等の推進
27				(5) 読書活動の推進
28				(6) 身近な公園の維持管理
29	3 青少年の健全育成に向けた取り組みの推進		(7) 放課後子ども教室（土曜スクール）の推進	
30			(1) 青少年健全育成に関する啓発活動の推進	
31			(2) 多彩な青少年活動の推進	
32			(3) 非行の未然防止	
33			(4) いじめ・不登校への対応の充実	
			自殺対策の推進	
34	3 困難を抱える子どもや家庭への支援	1 障害のある子どもへの支援の充実	(1) 障害のある子どもの保育・療育の充実	
35			(2) 特別支援教育の推進	
36			(3) 障害のある子どもの地域生活への支援	
37		2 児童虐待・DV等への対応		(1) 児童虐待防止対策の推進
38				(2) DV被害者の相談・支援の推進
				ヤングケアラーへの支援
				ひきこもりの子ども・若者への支援
39			(3) 子どもの権利擁護・人権教育の推進	
40	4 安心して子育てできる環境づくり	1 安心して子育てできる地域環境の整備	(1) 子どもの安全・地域防犯対策の推進	
41-①			(2) 安全な地域環境の整備	
42			(3) 交通安全対策の推進	
43		2 仕事と子育ての両立支援		(1) 事業所等に対する広報・啓発
44				(2) 男女共同参画の推進
45				(3) 雇用の場の確保に向けた支援
46				(4) 女性の再就職の支援
47		3 多様な子育て家庭への経済的支援		(1) 経済的支援の充実
48				(2) ひとり親家庭等への支援
49	(3) 障害のある子どもや家庭への支援			
	5 子ども・若者の権利と意見の尊重			

すでに市計画に位置付けられている
市計画にないが、市計画への掲載に検討が必要な施策
市計画になく、できれば市計画に掲載したい施策
市計画になく、市計画に掲載したほうがよいと思われる施策

県計画との突合結果

No	基本施策	施策の柱	施策の方向 (タイトル)	市計画での位置づけ		
				通番	施策の方向と具体策	
1	1 親と子の健康づくりに向けた支援	1 親と子の健康づくりに向けた支援	(1) 子育て世代包括支援センターの充実	39	こども・若者が権利の主体であること社会全体での共有	
2			(2) 妊婦・乳幼児健康診査等の充実	1	こども・若者の権利に関する普及啓発	
3			(3) 妊産婦期・乳幼児期の食育の推進	2	こども・若者の意見表明の環境づくり	
4			(4) 妊産婦と子どもの歯の健康づくり	25	社会を生き抜く力の育成	
5			(5) 小児医療・小児救急医療の充実	26	3 体験活動の充実	
6			(6) 妊産婦・女性の健康支援	27	4 社会貢献活動の推進	
7		2 教育・保育サービスの充実	2 教育・保育サービスの充実	(1) 就学前の教育・保育の充実	17	5 こどもの読書活動の推進
8				(2) 多様な保育サービスの充実	6	生活習慣の形成・定着
9				(3) 認定こども園での健康づくりの推進	7	郷土と国を愛する心の育成と国際交流の推進
10				(4) 教育・保育施設の整備	8	SDGs の考え方の理解促進
11				(5) 子育てのための施設等利用給付の円滑な実施	9	世界を舞台に活躍する能力の育成
12-①				(1) 子育て支援の拠点施設の充実	10	こどもたちの可能性を引き出す教育の実現
12-②				(2) 子育て支援の拠点施設の充実	11	多様性を尊重する社会づくり
13-①				(1) 子育て相談・情報提供の充実	12	誰もがその人らしく生きていくことができる千葉の実現
13-②				(2) 子育て相談・情報提供の充実	13	男女共同参画社会の実現に向けた意識の変革と情報発信
13-③	3 身近な地域での子育て支援の充実	3 身近な地域での子育て支援の充実	(1) 子育て相談・情報提供の充実	14	言語、文化、習慣等にかかわらず安心して暮らせる社会づくり	
14-①			(2) 子育て相談・情報提供の充実	15	「こどもまんなかまちづくり」の推進	
14-②			(2) 子育て相談・情報提供の充実	16	健康で安心な妊娠・出産に向けた環境づくり	
14-③	(3) 地域における子育て支援体制の充実	17	妊婦・出産などライフデザインの形成支援			
14-④	(3) 地域における子育て支援体制の充実	18	子どもの健康の保持増進			
14-⑤	(3) 地域における子育て支援体制の充実	19	小児医療体制の充実			
14-⑥	(3) 地域における子育て支援体制の充実	20	慢性疾患・難病を抱えるこども・若者への支援			
15	(4) 家庭教育の支援	21	慢性的な貧困対策			
16	1 子どもの心身の健康づくり	1 子どもの心身の健康づくり	(1) 健康教育の推進	45, 46	18 生活の安定に資するための支援	
17-①			(2) 学校や地域での食育の推進	19	教育の支援	
17-②			(2) 学校や地域での食育の推進	20	保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援	
17-③			(2) 学校や地域での食育の推進	21	経済的支援	
18-①			(3) 学校体育の充実	22	支援につなぐ体制整備	
18-②			(3) 学校体育の充実	23	こどもの貧困に対する社会の理解促進	
19			(4) 地域での運動機会の拡充	24	障害のあるこどもの療育支援体制の充実	
20		(5) 思春期保健の推進	25	障害のあるこども・若者の学びの充実		
21-①		(6) 飲酒・喫煙・薬物乱用等の防止対策の推進	26	児童虐待防止対策の充実		
21-②		(6) 飲酒・喫煙・薬物乱用等の防止対策の推進	27	母子保健施策と連携した、児童虐待の未然防止		
22		(7) 中学生のメディカルチェック	28	児童相談所の体制・機能の強化		
23		(7) 中学生のメディカルチェック	29	市町村や関係機関との連携推進		
24-①		2 学齢期の子どもを健やかに育む環境づくり	2 学齢期の子どもを健やかに育む環境づくり	(1) 放課後児童健全育成事業（学童保育）の充実	30, 40	30 社会的養護を必要とするこども・若者に対する支援
24-②	(2) 子ども会やスポーツ少年団活動の充実			31	家庭と同様の養育環境の整備	
25	(2) 子ども会やスポーツ少年団活動の充実			32	社会的養護経験者に対する支援	
26	(3) 児童及び生徒の体験活動事業の推進			33	ヤングケアラーへの支援	
27	(4) ボランティア活動等の推進			34	総合的な自殺対策の推進	
28	(5) 読書活動の推進			35	総合的な自殺対策の推進	
29	(6) 身近な公園の維持管理			36	ヤングケアラーへの支援	
30	(7) 放課後子ども教室（土曜スクール）の推進		37	総合的な自殺対策の推進		
31	3 青少年の健全育成に向けた取り組みの推進		3 青少年の健全育成に向けた取り組みの推進	(1) 青少年健全育成に関する啓発活動の推進	38	情報化社会への対応とこども・若者を守る環境整備
32				(2) 多彩な青少年活動の推進	39	こども・若者の性犯罪・性暴力対策
33		(3) 非行の未然防止		40	生命（いのち）の安全教育の推進	
34	1 障害のある子どもへの支援の充実	1 障害のある子どもへの支援の充実	(1) 障害のある子どもの保育・療育の充実	41	児童対象性暴力の防止（日本版DBS）	
35			(2) 特別支援教育の推進	42	こども・若者が相談しやすい体制の整備	
36			(3) 障害のある子どもの地域生活への支援	43	有害環境対策、防犯・交通安全対策、製品事故防止、防災対策等の推進	
37			(1) 児童虐待防止対策の推進	44	体系的な安全教育の推進	
38			(2) DV被害者の相談・支援の推進	45	妊娠前から妊娠、出産、産後までの切れ目ない保健・医療の確保	
39			(3) 子どもの権利擁護・人権教育の推進	46	出産に関する正しい知識の普及や相談体制の強化	
40	2 児童虐待・DV等への対応	2 児童虐待・DV等への対応	ヤングケアラーへの支援	47	出産に関する支援等の更なる強化	
41			ひきこもりのこども・若者への支援	48	産前産後の支援の充実と体制強化	
42			ひきこもりのこども・若者への支援	49	妊娠前から子育て期を通じた切れ目ない支援体制の提供	
43			ひきこもりのこども・若者への支援	50	予期せぬ妊娠に悩む若年妊婦等への支援	
44			ひきこもりのこども・若者への支援	51	乳幼児健康診査等の推進	
45			ひきこもりのこども・若者への支援	52	妊娠・出産・子育て環境の整備	
46	3 困難を抱える子どもや家庭への支援	3 困難を抱える子どもや家庭への支援	(1) 児童虐待・DV等への対応	53	保育所等の待機児童を解消し、その後もゼロを維持するために、保育所等の整備の推進	
47			(2) 児童虐待・DV等への対応	54	こども誰でも通園制度に関する施策	
48			(2) DV被害者の相談・支援の推進	55	保育士が働きやすい環境の整備	
49			ヤングケアラーへの支援	56	保育士等の資格取得・新規就業の支援	
50			ひきこもりのこども・若者への支援	57	保育士資格を有しているが保育士として働いていない方（潜在保育士）等の保育現場への就職支援	
51			ひきこもりのこども・若者への支援	58	保育士等の資質の向上や育成を支援	
52			ひきこもりのこども・若者への支援	59	保育教諭に係る特例制度の周知及び資格取得の支援	
53			ひきこもりのこども・若者への支援	60	幼児教育の質の向上と初等教育への円滑な接続	
54			ひきこもりのこども・若者への支援	61	幼児教育の質の向上と小学校教育への円滑な接続	
55			ひきこもりのこども・若者への支援	62	良好な教育環境を確保するため、私立幼稚園への助成	
56	3 困難を抱える子どもや家庭への支援	3 困難を抱える子どもや家庭への支援	(3) 子どもの権利擁護・人権教育の推進	63	保護者の就労状況等、ニーズにあわせた保育環境の充実	
57			(3) 子どもの権利擁護・人権教育の推進	64	幼稚園や保育所等を地域における子育て支援の拠点としての整備の推進	
58			(3) 子どもの権利擁護・人権教育の推進	65	豊かな心を育む教育の推進	

すでに市計画に位置付けられている
市計画にないが、市計画への掲載に検討が必要な施策
市計画にないが、できれば市計画に掲載したい施策
市計画にないが、市計画に掲載したほうがよいと思われる施策

県計画との突合結果

No.	基本施策	施策の柱	施策の方向 (タイトル)	市計画での位置づけ	通番	施策の方向と具体策		
34	3 困難を抱える子どもや家庭への支援	1 障害のある子どもへの支援の充実	(1) 障害のある子どもの保育・療育の充実	6	45 妊娠・出産に関する正しい知識の普及や相談体制の強化	妊産前から妊娠期、出産、幼児期までの切れ目ない保健・医療の確保		
35			(2) 特別支援教育の推進				46 出産に関する支援等の更なる強化	
36			(3) 障害のある子どもの地域生活への支援				47 産前産後の支援の充実と体制強化	
37		2 児童虐待・DV等への対応	(1) 児童虐待防止対策の推進				1	48 妊娠前から子育て期を通じた切れ目ない支援体制の提供
38			(2) DV被害者の相談・支援の推進					
39	(3) 子どもの権利擁護・人権教育の推進	49 予期せぬ妊娠に悩む若年妊婦等への支援	2	50 乳幼児健康診査等の推進				
40	4 安心して子育てできる環境づくり	1 安心して子育てできる地域環境の整備	(1) 子どもの安全・地域防犯対策の推進	7, 8	51 保育所等の待機児童を解消し、その後もゼロを維持するために、保育所等の整備の推進	妊産・出産・子育て環境の整備		
41-①			(2) 安全な地域環境の整備				52 こども誰でも通園制度に関する施策	
41-②			(2) 安全な地域環境の整備				53 保育士が働きやすい環境の整備	
41-③		(3) 交通安全対策の推進	54 保育士等の資格取得・新規就業の支援					
42		2 仕事と子育ての両立支援	(1) 事業所等に対する広報・啓発				55 保育士資格を有しているが保育士として働いていない方（潜在保育士）等の保育現場への就職支援	
43			(2) 男女共同参画の推進				56 保育士等の資質の向上や育成を支援	
44			(3) 雇用の場の確保に向けた支援				57 保育教諭に係る特例制度の周知及び資格取得の支援	
45		3 多様な子育て家庭への経済的支援	(1) 経済的支援の充実				(4) 女性の再就職の支援	58 幼児教育の質の向上と初等教育への円滑な接続
46							(2) ひとり親家庭等への支援	59 幼児教育の質の向上と小学校教育への円滑な接続
47							(3) 障害のある子どもや家庭への支援	60 良好な教育環境を確保するため、私立幼稚園への助成
48	(3) 障害のある子どもや家庭への支援			61 保護者の就労状況等、ニーズにあわせた保育環境の充実				
49	(3) 障害のある子どもや家庭への支援	(3) 障害のある子どもや家庭への支援	62 幼稚園や保育所等を地域における子育て支援の拠点としての整備の推進					
	5 こども・若者の権利と意見の尊重		63 豊かな心を育む教育の推進	63	63 豊かな心を育む教育の推進			
			14 こどもたちの自信を育む教育の土台づくり	64 教育現場の重視と教職員の質・教育力の向上	64	64 教育現場の重視と教職員の質・教育力の向上		
				65 改訂版生徒指導要領の周知	65	65 改訂版生徒指導要領の周知		
				66 家庭・地域と学校との協働により地域全体でこどもを育てる体制の構築	66	66 家庭・地域と学校との協働により地域全体でこどもを育てる体制の構築		
				67 千葉の特徴・歴史を生かした文化・スポーツ振興	67	67 千葉の特徴・歴史を生かした文化・スポーツ振興		
				68 よりよく生きるための道徳教育の充実	68	68 よりよく生きるための道徳教育の充実		
				69 生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進	69	69 生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進		
				70 学校保健の推進	70	70 学校保健の推進		
			71 食育の推進	71	71 食育の推進			
			30 青少年の健全育成	72 多様な主体による取組と関係機関の機能強化	72	72 多様な主体による取組と関係機関の機能強化		
				73 非行・犯罪防止	73	73 非行・犯罪防止		
				74 立ち直り支援	74	74 立ち直り支援		
			23, 29 居場所づくり	75 こども・若者の視点に立った多様な居場所づくり	75	75 こども・若者の視点に立った多様な居場所づくり		
				76 放課後児童児童対策	76	76 放課後児童児童対策		
	39 社会的・職業的自立に向けた教育・啓発	77 性と健康に関する教育や普及啓発・相談支援	77	77 性と健康に関する教育や普及啓発・相談支援				
		78 予期せぬ妊娠、性感染症等への適切な相談支援等	78	78 予期せぬ妊娠、性感染症等への適切な相談支援等				
		79 主権者教育の推進	79	79 主権者教育の推進				
	33 いじめ防止対策の推進	80 ライフステージに応じた学習機会の確保と消費者教育の推進	80	80 ライフステージに応じた学習機会の確保と消費者教育の推進				
		81 ライフデザインに関する意識啓発・情報提供	81	81 ライフデザインに関する意識啓発・情報提供				
		82 社会的・職業的自立に向けた学習、社会保障教育	82	82 社会的・職業的自立に向けた学習、社会保障教育				
		83 いじめ防止対策の強化	83	83 いじめ防止対策の強化				
	33 不登校の子どもへの支援	84 地域におけるいじめ防止対策の体制構築・連携強化	84	84 地域におけるいじめ防止対策の体制構築・連携強化				
		85 いじめの重大事態の収集・分析等	85	85 いじめの重大事態の収集・分析等				
	33 校則の見直し	86 教育機会確保法等の趣旨や施策の周知	86	86 教育機会確保法等の趣旨や施策の周知				
		87 不登校の子どもへの支援体制の整備・強化	87	87 不登校の子どもへの支援体制の整備・強化				
	33 ハラスメント等の防止	88 不登校傾向を含めた不登校のこどもの数の増加に係る要因分析	88	88 不登校傾向を含めた不登校のこどもの数の増加に係る要因分析				
		89 校則の見直し	89	89 校則の見直し				
	43, 44 子育てや教育に関する経済的負担の軽減	90 児童生徒への啓発、教職員向け研修資料の作成、各種相談窓口の周知	90	90 児童生徒への啓発、教職員向け研修資料の作成、各種相談窓口の周知				
		91 高校中退の予防	91	91 高校中退の予防				
	47 ひとり親家庭等への自立支援の促進	92 高校中退後の支援	92	92 高校中退後の支援				
		93 高等教育段階の修学支援	93	93 高等教育段階の修学支援				
	48 ひとり親家庭等への自立支援の促進	94 高等教育の充実	94	94 高等教育の充実				
		95 生涯学習社会を目指した取組の推進	95	95 生涯学習社会を目指した取組の推進				
	48 ひとり親家庭等への自立支援の促進	96 若者の自立・就労支援	96	96 若者の自立・就労支援				
		97 若者にとって魅力ある地域づくり	97	97 若者にとって魅力ある地域づくり				
	48 ひとり親家庭等への自立支援の促進	98 「賃上げ」に向けた取組	98	98 「賃上げ」に向けた取組				
		99 人生を主体的に切り拓くための学びの確立	99	99 人生を主体的に切り拓くための学びの確立				
	48 ひとり親家庭等への自立支援の促進	100 結婚の希望をかなえるための支援	100	100 結婚の希望をかなえるための支援				
		101 悩みや不安を抱える若者やその家族に対する相談体制の充実	101	101 悩みや不安を抱える若者やその家族に対する相談体制の充実				
	48 ひとり親家庭等への自立支援の促進	102 こころの健康や病気、相談支援やサービスに関する情報等の周知	102	102 こころの健康や病気、相談支援やサービスに関する情報等の周知				
		103 多様な子育て支援サービスの充実	103	103 多様な子育て支援サービスの充実				
	48 ひとり親家庭等への自立支援の促進	104 企業参画による子育て支援	104	104 企業参画による子育て支援				
		105 全ての教育の出発点である家庭教育への支援	105	105 全ての教育の出発点である家庭教育への支援				
	48 ひとり親家庭等への自立支援の促進	106 子育てや教育に関する経済的負担の軽減	106	106 子育てや教育に関する経済的負担の軽減				
		107 幼児期から高等教育段階まで切れ目のない負担軽減	107	107 幼児期から高等教育段階まで切れ目のない負担軽減				
	48 ひとり親家庭等への自立支援の促進	108 高等教育費の負担軽減	108	108 高等教育費の負担軽減				
		109 児童手当	109	109 児童手当				
	48 ひとり親家庭等への自立支援の促進	110 医療費等の負担軽減	110	110 医療費等の負担軽減				
		111 ひとり親家庭が抱える様々な課題への支援	111	111 ひとり親家庭が抱える様々な課題への支援				
	48 ひとり親家庭等への自立支援の促進	112 ひとり親家庭に対する相談支援の強化	112	112 ひとり親家庭に対する相談支援の強化				
		113 親子交流の推進と養育費に関する相談支援や取決めの促進	113	113 親子交流の推進と養育費に関する相談支援や取決めの促進				

鴨川市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
報告書

追加分析版

令和6年11月

鴨川市

目次

保護者アンケートのクロス分析.....	4
1 就学前児童保護者.....	4
1-1 鴨川市の子育てのしやすさ（経済的な状況別クロス分析）.....	4
1-2 子育てしやすいと思わない理由（経済的な状況別クロス分析）.....	5
1-3 理想の子どもの数が持てない理由（経済的な状況別クロス分析）.....	6
2 小学生児童保護者.....	7
2-1 鴨川市の子育てのしやすさ（経済的な状況別クロス分析）.....	7
2-2 子育てしやすいと思わない理由（経済的な状況別クロス分析）.....	8
小学生・中学生アンケートのクロス分析.....	9
3 自己肯定感.....	9
3-1 自分のことが好き（経済的な状況別クロス分析）.....	9
3-2 自分なりの考えをもった人間だと思う（経済的な状況別クロス分析）.....	10
3-3 まわりの人から大切にされている（経済的な状況別クロス分析）.....	11
4 生活満足度.....	12
4-1 生活の満足度（経済的な状況別クロス分析）.....	12
5 夢の有無.....	13
5-1 夢の有無（経済的な状況別クロス分析）.....	13

<クロス分析での注意点>

この追加分析編での「経済的な状況別クロス分析」とは、それぞれの調査で以下のような設問を用い分析しています。

保護者アンケート（就学前児童保護者と小学生保護者）では、「現在の家庭の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。」という問に対し、「とてもゆとりがある」「ややゆとりがある」「普通」「やや苦しい」「とても苦しい」という選択肢から回答してもらい、この回答結果を再分類し、経済的に「ゆとりがある」「普通」「苦しい」という3区分を構成し、分析しています。

小中学生アンケートでは、以下の14項目について「使うことができるものがあるか」と尋ねて○をつけて回答してもらい、この14項目の数が多いほど「使えるもの多い」とし、経済的に恵まれていると解釈します。一方その数が少ないほど「使えるもの少ない」とし、経済的に恵まれていないと解釈し、分析しています。

具体的には、クロス分析のために、14項目の多寡により、「使えるもの少ない」「使えるもの普通」「使えるもの多い」の3つの分類に、できるだけ均等に分布するように構成しています。小学5年生と中学2年生では、中学2年生のほうが使えるものが多い傾向があるので、小学5年生では、使えるものが7項目以下の場合「使えるものが少ない」とし、使えるものが8～10項目の場合は「使えるもの普通」、11項目以上の場合は「使えるもの多い」としています。同様に、中学2年生では、10項目以下の場合「使えるもの少ない」、11～12項目の場合「使えるもの普通」、13項目以上の場合「使えるもの多い」としています。

<小中学生アンケートでの使用できる（所有している）14項目リスト>

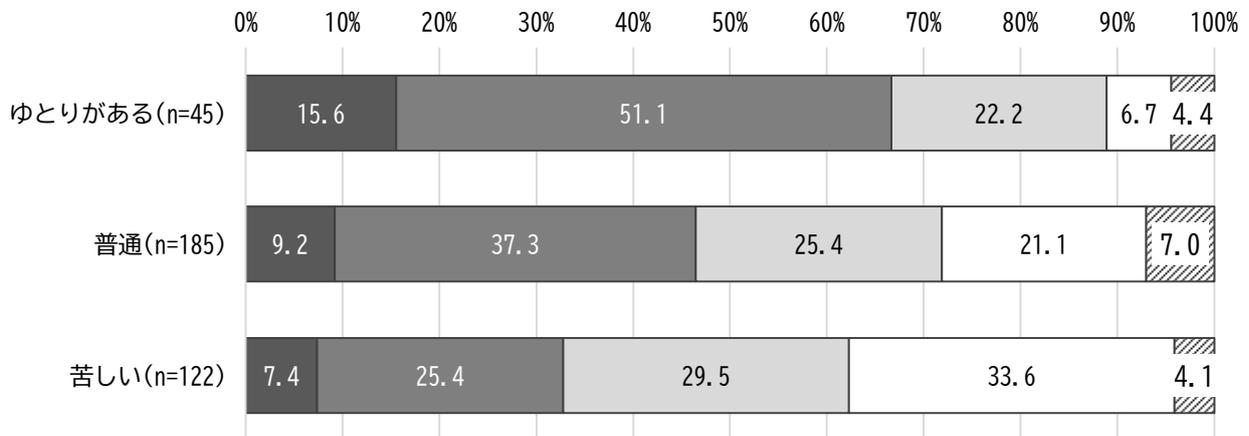
1. 自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）
2. 子ども部屋（きょうだいと使っている場合もふくみます）
3. （自宅で）インターネットにつながるパソコン（学校用タブレットを除く）
4. 自宅で宿題をすることができる場所
5. 自分専用の勉強机
6. スポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）
7. ゲーム機
8. たいていの友だちが持っているおもちゃ
9. 自転車
10. おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい
11. 友だちが着ているのと同じような服
12. 2足以上のサイズのあった靴
13. けいたい電話、スマートフォン
14. けいたい音楽プレーヤーなど

保護者アンケートのクロス分析

1 就学前児童保護者

1-1 鴨川市の子育てのしやすさ（経済的な状況別クロス分析）

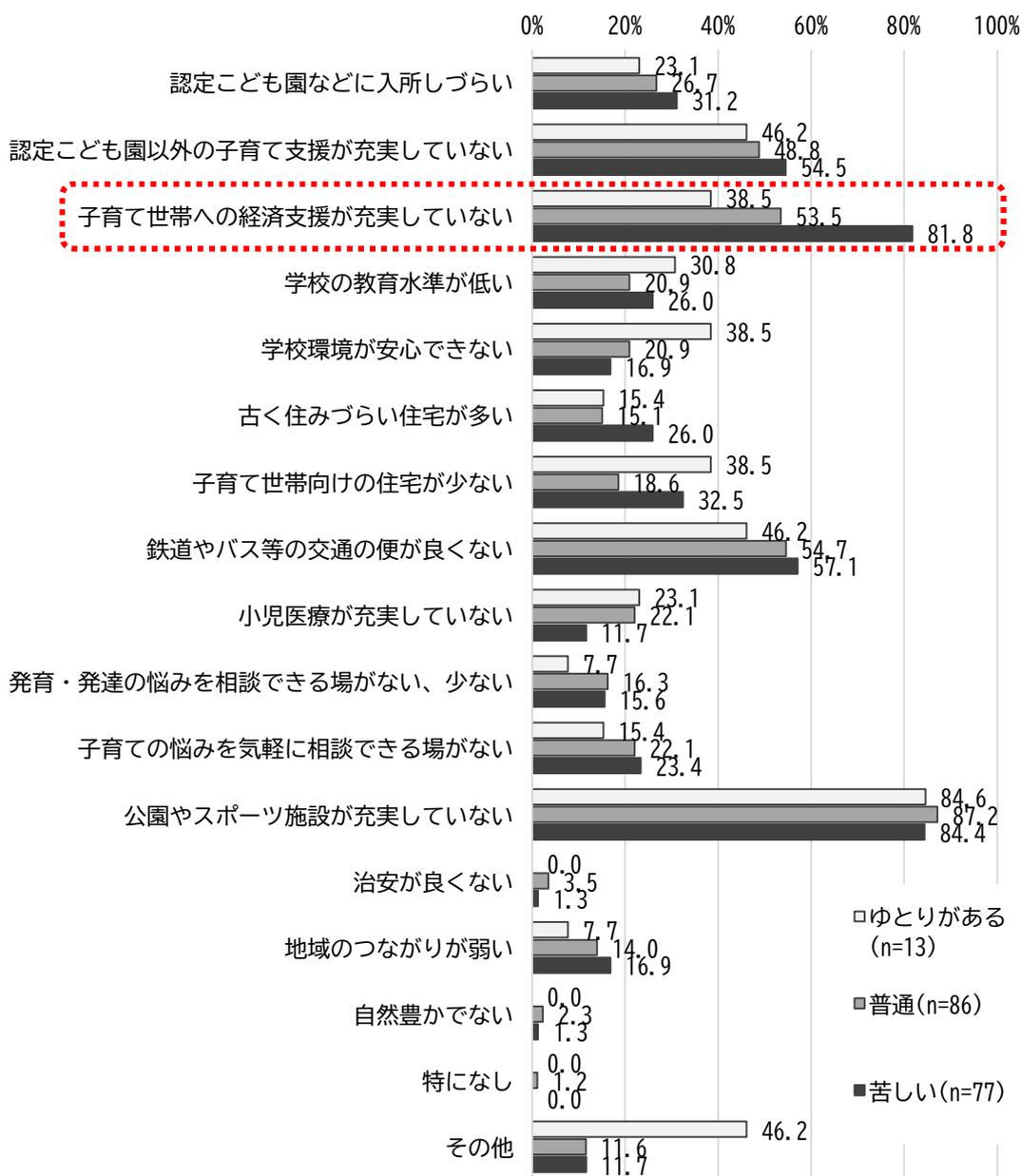
経済的な状況別に、鴨川市の子育てのしやすさへの意見をみると、「苦しい（「やや苦しい」＋「とても苦しい」の合計、以下同じ）」と回答した世帯は、「ゆとりがある（「とてもゆとりがある」＋「まあゆとりがある」の合計、以下同じ）」や「普通」と回答した世帯よりも、「そうは思わない」の割合が高くなっています。経済的に苦しい世帯の方が、鴨川市は子育てがしにくい、と評価しているといえます。



■ 思う ■ どちらかというと思う □ どちらかというと思わない □ そうは思わない □ わからない

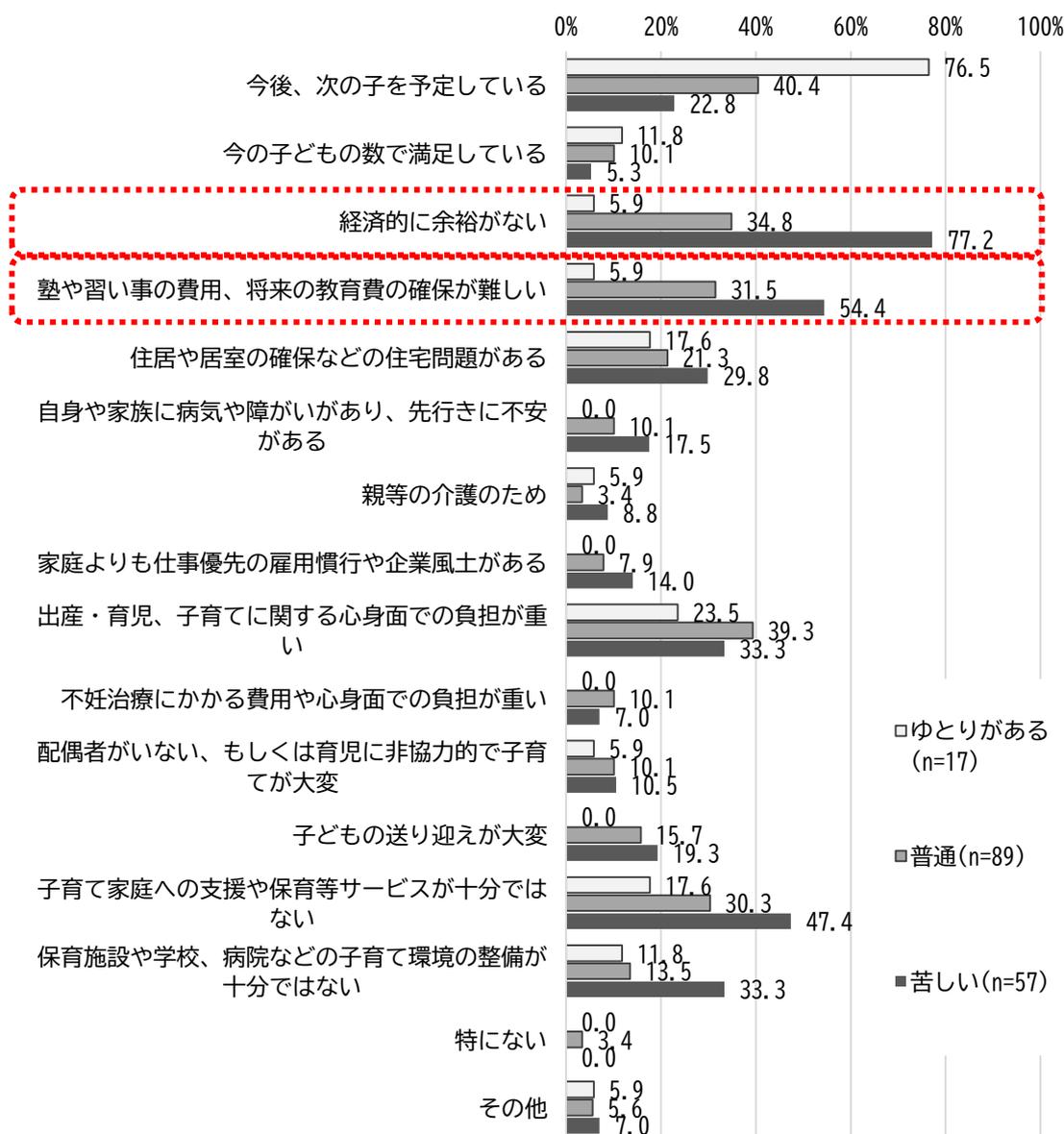
1-2 子育てしやすいと思わない理由（経済的な状況別クロス分析）

経済的な状況別に、鴨川市が子育てしやすいと思わない理由をみると、「子育て世帯への経済支援が充実していない」において、「苦しい」と回答した世帯は、「普通」と回答した世帯よりも割合が高くなっています。経済的に苦しい世帯は、経済的支援が充実していないことを1つの理由として、鴨川市は子育てがしやすすくないと考えています。（なお、「ゆとりがある」については、サンプル数が13と少ないため、分析では言及していません。）



1-3 理想の子どもの数が持てない理由（経済的な状況別クロス分析）

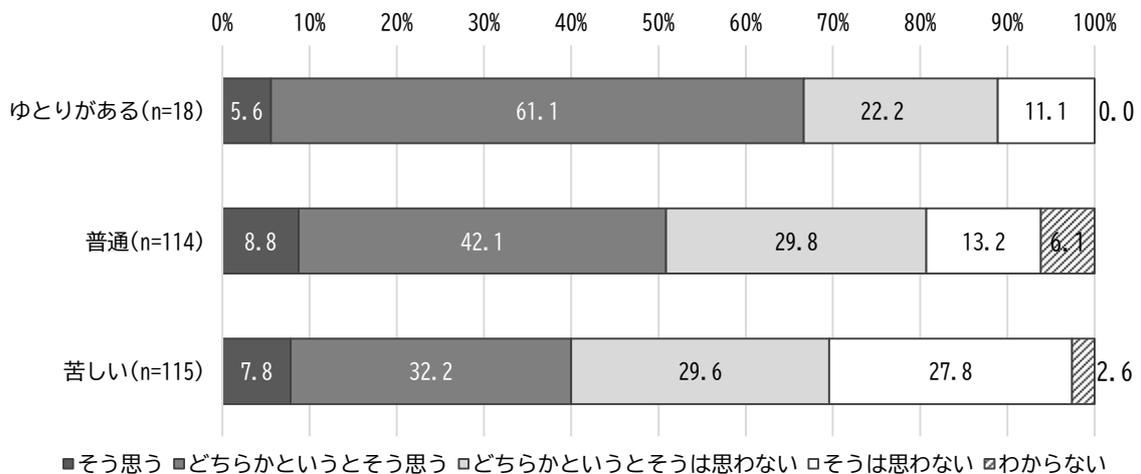
現在の子どもの数が理想の子どもの数より少ないと回答した世帯に、理想の子どもの数になっていない理由について尋ねた設問への回答を、経済的な状況別にみると、「経済的に余裕がない」や「塾や習い事の費用、将来の教育費の確保が難しい」においては「苦しい」世帯のほうが、「普通」の世帯より高い割合となっています。経済的に余裕がないために、理想の子どもの数を持てない世帯がいるという結果になっています。（なお、「ゆとりがある」については、サンプル数が17と少ないため、分析では言及していません。）



2 小学生児童保護者

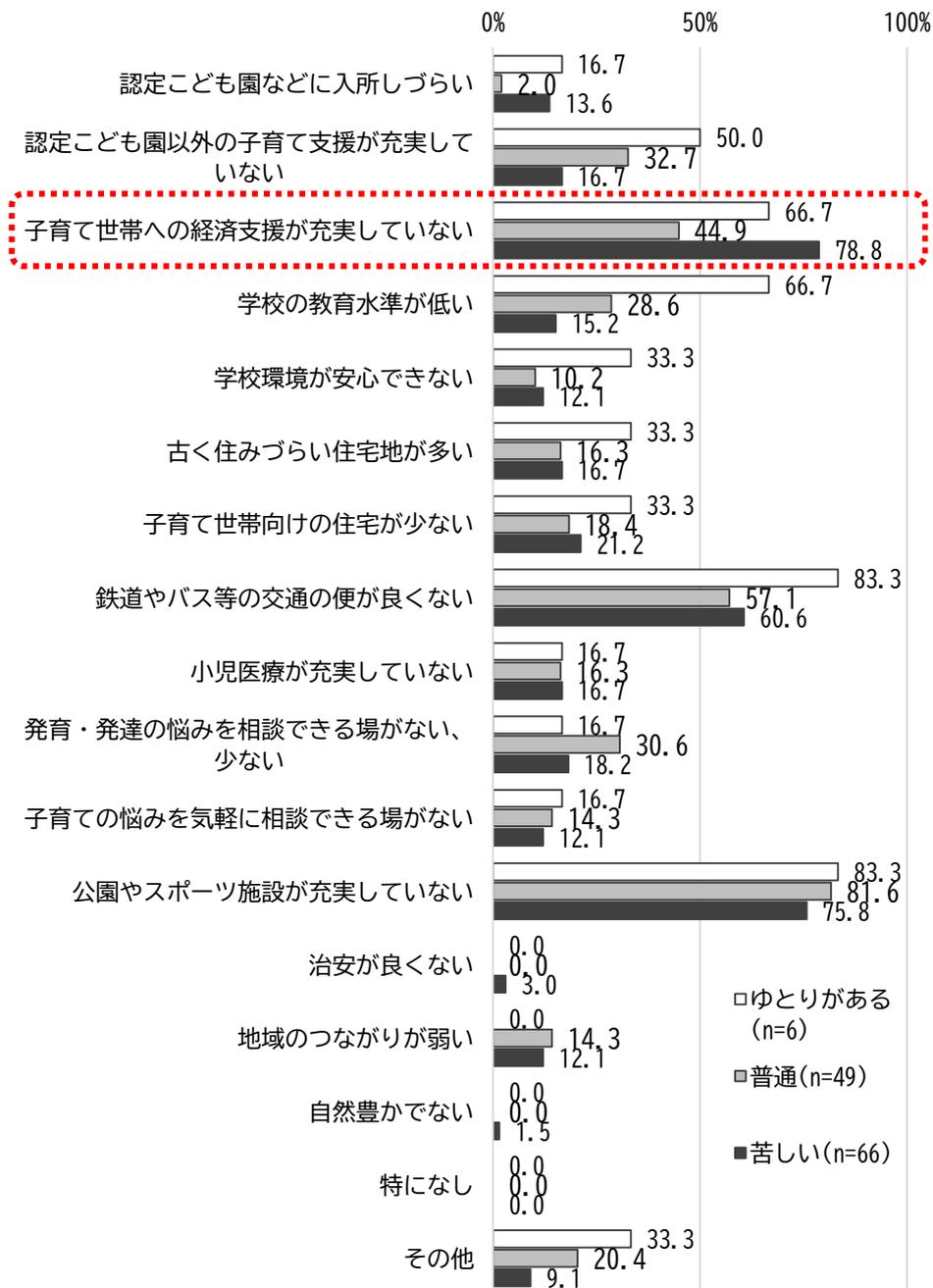
2-1 鴨川市の子育てのしやすさ（経済的な状況別クロス分析）

経済的な状況別に、鴨川市の子育てのしやすさへの意見をみると、「苦しい」と回答した世帯は、「普通」と回答した世帯よりも、「そうは思わない」の割合が高くなっています。経済的に苦しい世帯の方が、鴨川市は子育てがしにくい、と評価しているといえます。（なお、「ゆとりがある」については、サンプル数が18と少ないため、分析では言及していません。）



2-2 子育てしやすいと思わない理由（経済的な状況別クロス分析）

経済的な状況別に、鴨川市が子育てしやすいと思わない理由をみると、「子育て世帯への経済支援が充実していない」において、「苦しい」と回答した世帯は、「普通」と回答した世帯よりも割合が高くなっています。経済的に苦しい世帯は、経済的支援が充実していないことを1つの理由として、鴨川市は子育てがしやすすくないと考えています。（なお、「ゆとりがある」については、サンプル数が6と少ないため、分析では言及していません。）

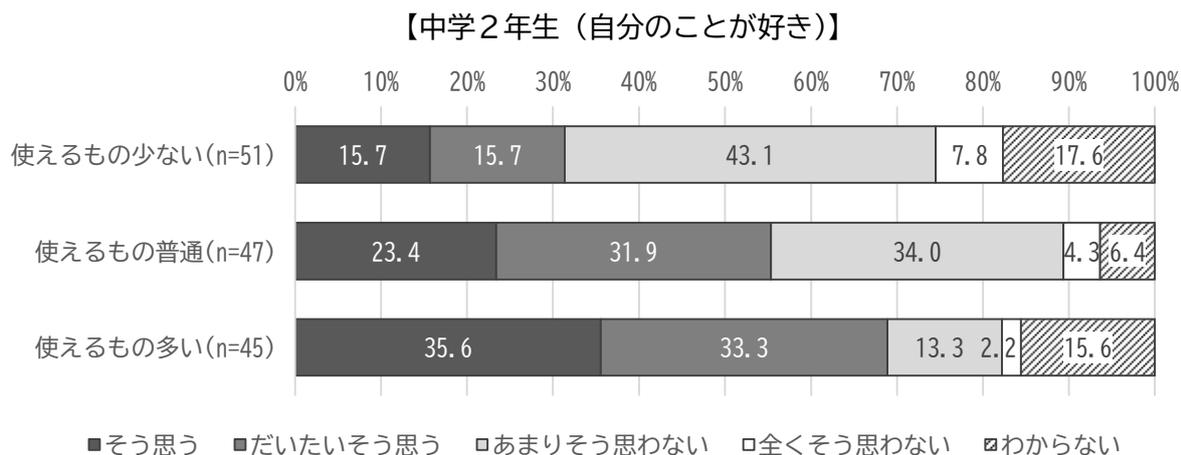
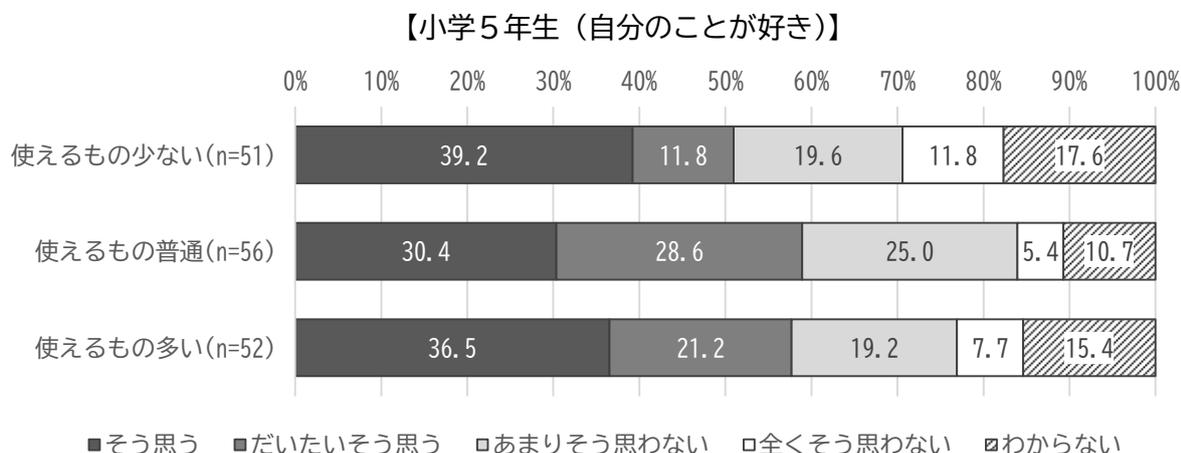


小学生・中学生アンケートのクロス分析

3 自己肯定感

3-1 自分のことが好き（経済的な状況別クロス分析）

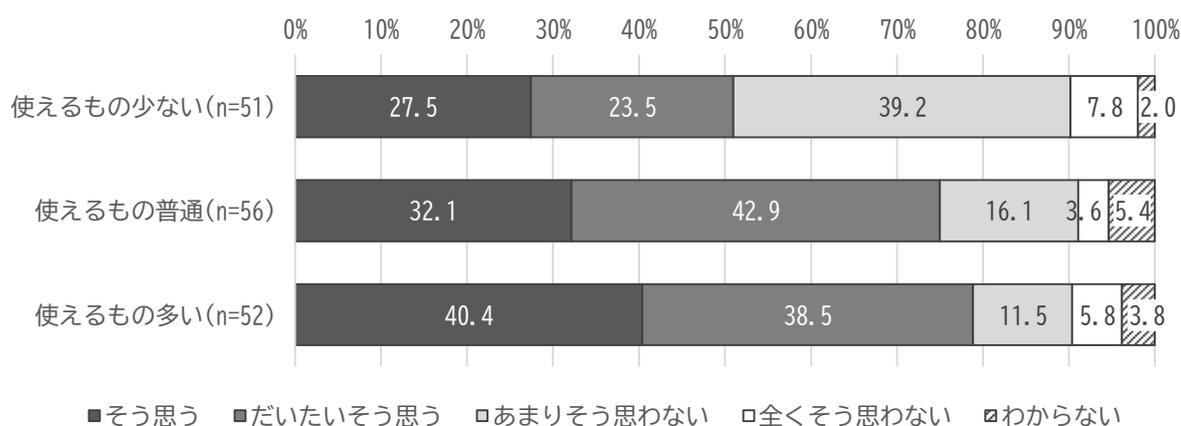
経済的な状況（使えるものの多寡）別に、「自分のことが好き」という項目についての回答をみると、小学5年生では特定の傾向は見いだせませんが、中学2年生では、「使えるものが少ない」生徒ほど、「さそう思う」や「だいたいさそう思う」の割合が低く、「使えるものが多い」生徒ほど、「さそう思う」や「だいたいさそう思う」の割合が高くなっています。中学2年生では、使えるものが多い（経済的に恵まれている）生徒ほど、自分のことが好きであると肯定的に思っている傾向にあります。



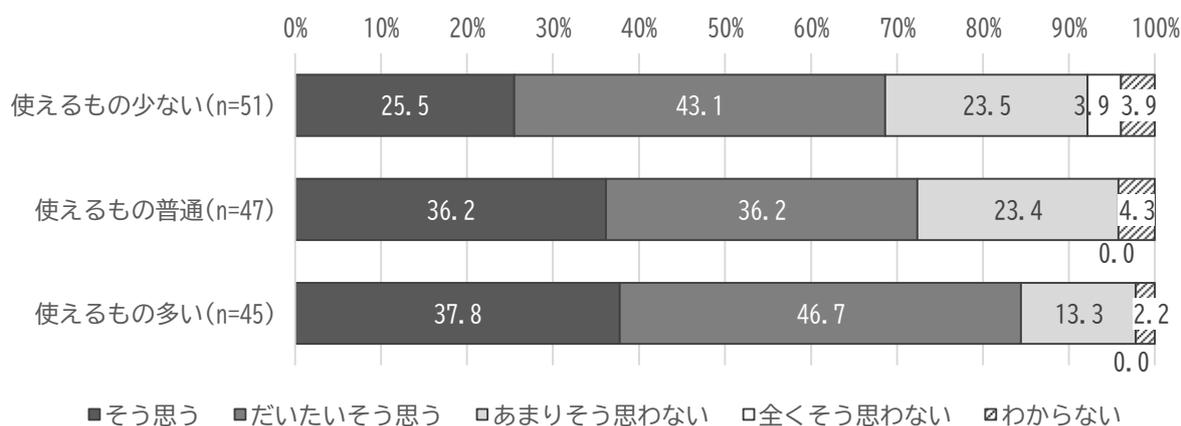
3-2 自分なりの考えをもった人間だと思う（経済的な状況別クロス分析）

経済的な状況（使えるものの多寡）別に、「自分のことを、自分なりの考えをもった人間だと思う」という項目についての回答をみると、小学5年生では、「使えるものが少ない」児童ほど「そう思う」や「だいたいそう思う」の割合が低く、「使えるものが多い」児童ほど「そう思う」や「だいたいそう思う」の割合が高くなっています。中学2年生でも、小学5年生ほど顕著ではないものの、同様の傾向がみとれます。小学5年生と中学2年生のいずれも、使えるものが多い（経済的に恵まれている）児童生徒ほど、自分のことを自分なりの考えをもった人間だと思う、と肯定的にとらえる傾向にあります。

【小学5年生（自分なりの考えをもった人間だと思う）】



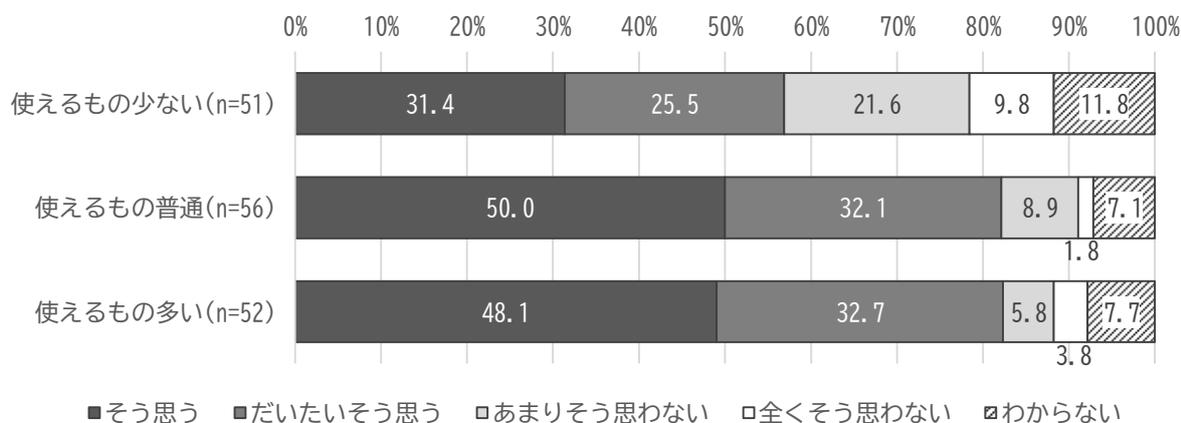
【中学2年生（自分なりの考えをもった人間だと思う）】



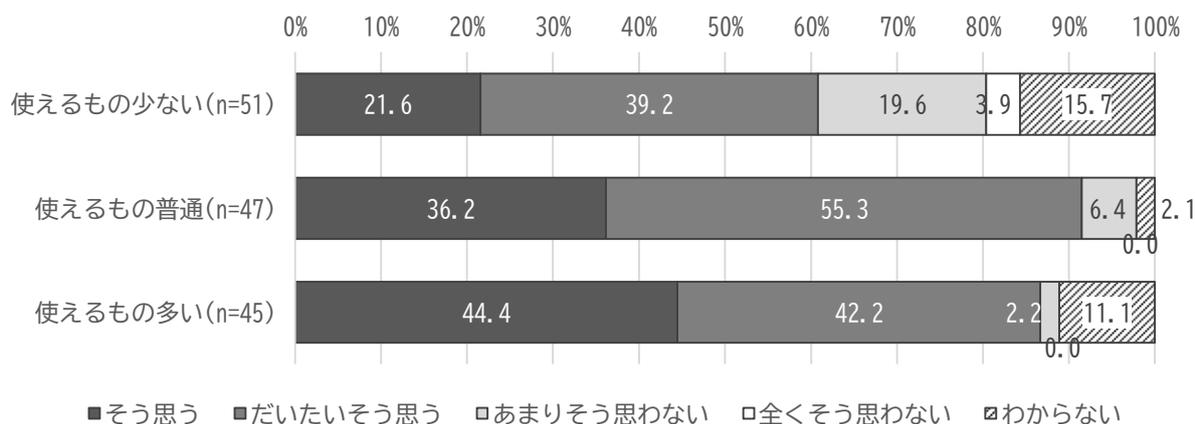
3-3 まわりの人から大切にされている（経済的な状況別クロス分析）

経済的な状況（使えるものの多寡）別に、「自分はまわりの人から大切にされていると思う」という項目についての回答をみると、小学5年生では、「使えるものが少ない」児童ほど「そう思う」や「だいたいそう思う」の割合が低くなっています。中学2年生でも、「使えるものが少ない」生徒ほど、「そう思う」や「だいたいそう思う」の割合が低くなっています。小学5年生と中学2年生のいずれも、使えるものが少ない（経済的に恵まれていない）児童生徒ほど、自分はまわりの人から大切にされていないと否定的にとらえる傾向にあります。

【小学5年生（まわりの人から大切にされている）】



【中学2年生（まわりの人から大切にされている）】



4 生活満足度

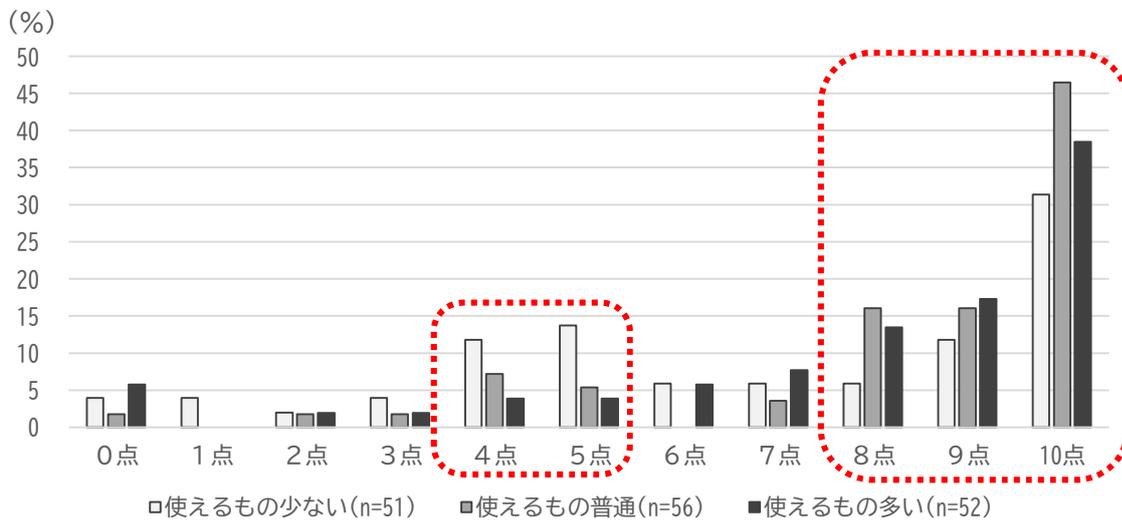
4—1 生活の満足度（経済的な状況別クロス分析）

経済的な状況（使えるものの多寡）別に、「生活の満足度」についての回答をみると、小学5年生では「使えるもの少ない」では4点、5点の割合が高くなっており、8点～10点では低くなっています。一方で「使えるもの普通」や「使えるもの多い」では8点～10点の割合が高くなっています。

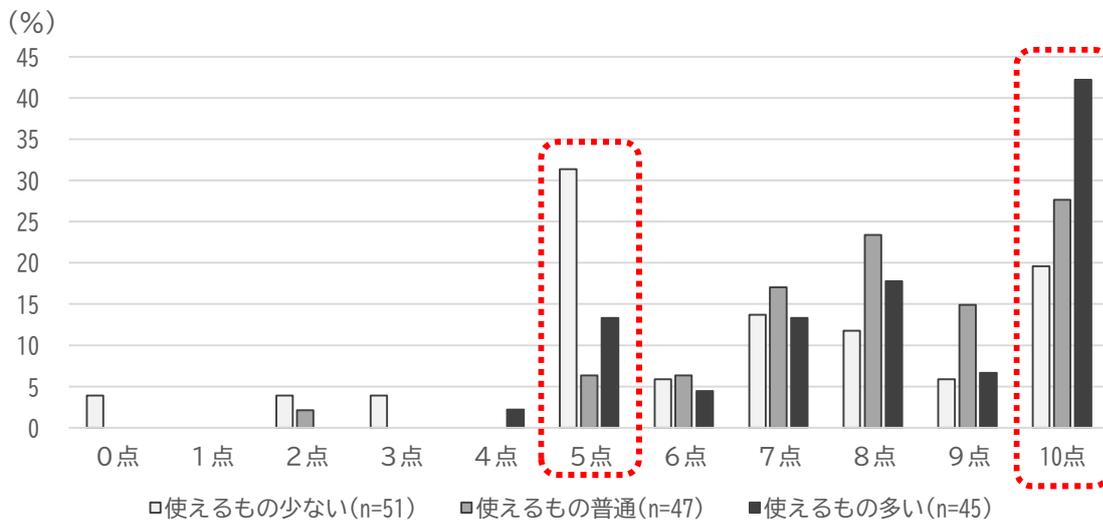
同様に、中学2年生では、「使えるもの少ない」では5点の割合が高く、「使えるもの多い」では10点の割合が高くなっています。

これらのことから、経済的に恵まれている児童生徒ほど、生活満足度が高い傾向にあると考えられます。

【小学5年生（生活満足度）】



【中学2年生（生活満足度）】



5 夢の有無

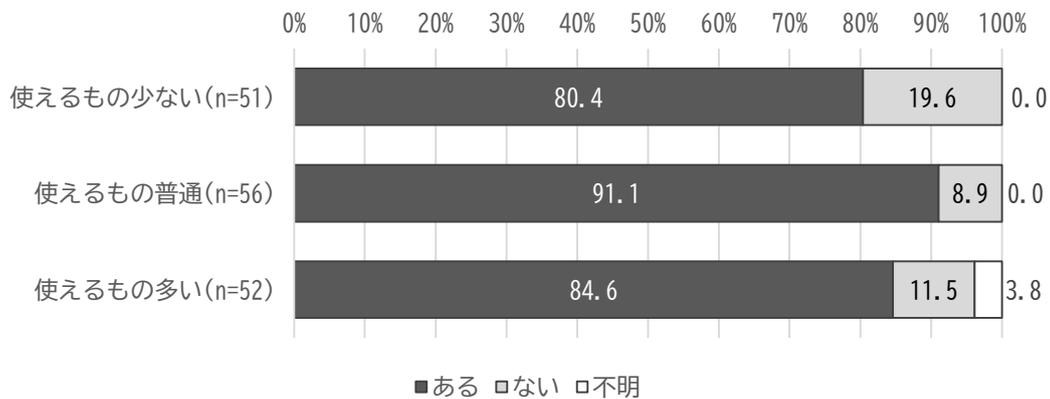
5—1 夢の有無（経済的な状況別クロス分析）

経済的な状況（使えるものの多寡）別に、「夢の有無」についての回答をみると、小学5年では、「使えるもの少ない」では夢がない児童の割合がやや高くなっています。

中学2年生では、大きな差はみられませんが、「使えるもの少ない」では夢がない生徒の割合がやや高くなっています。

明確な傾向はでていないものの、経済的に恵まれていないほど、夢を持ちにくくなっている可能性があり、今後の推移に注意が必要です。

【小学5年生（夢の有無）】



【中学2年生（夢の有無）】



